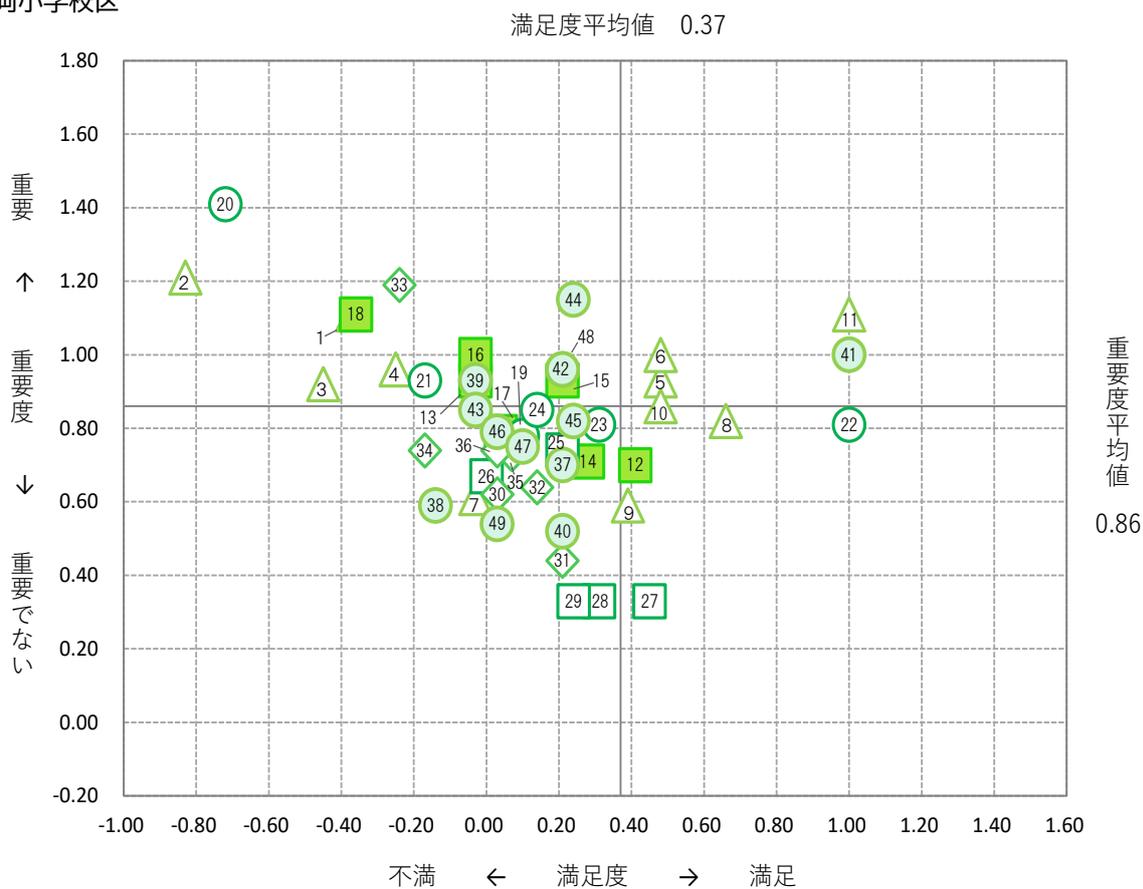
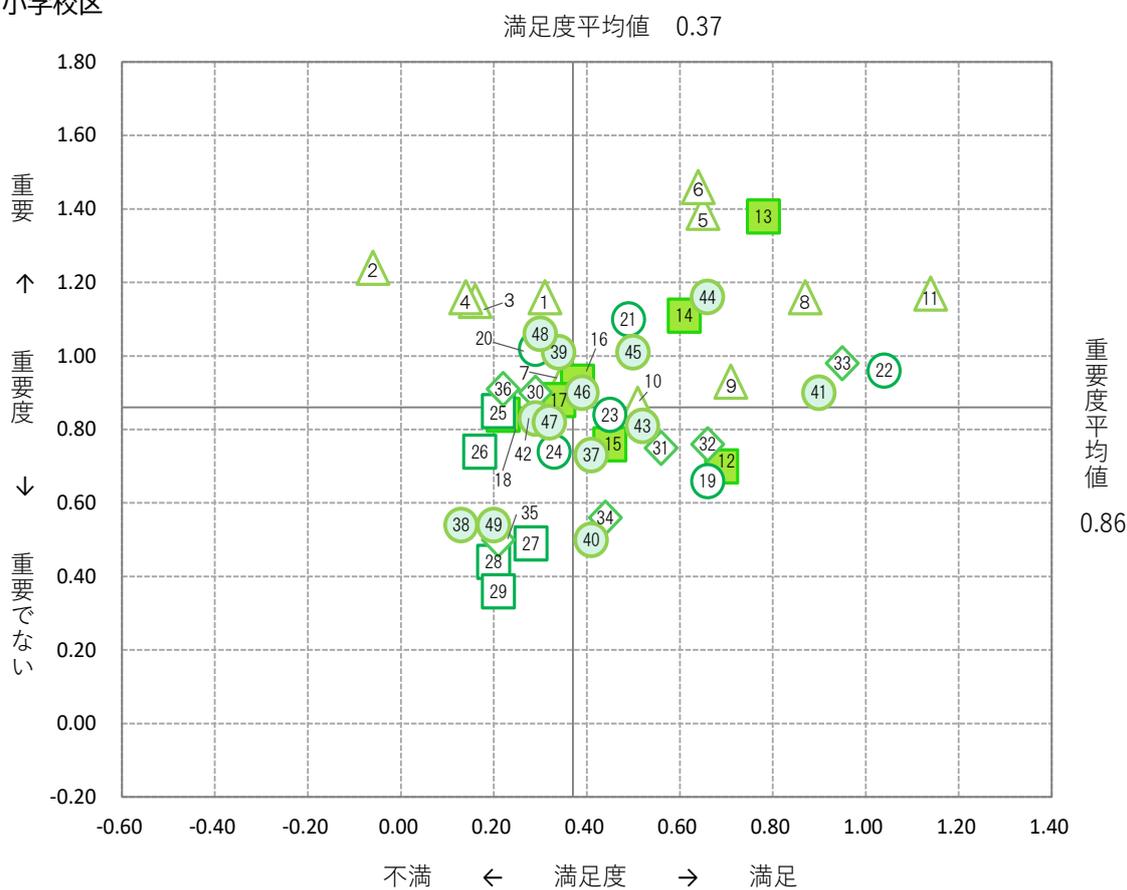


図表 152 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(6)

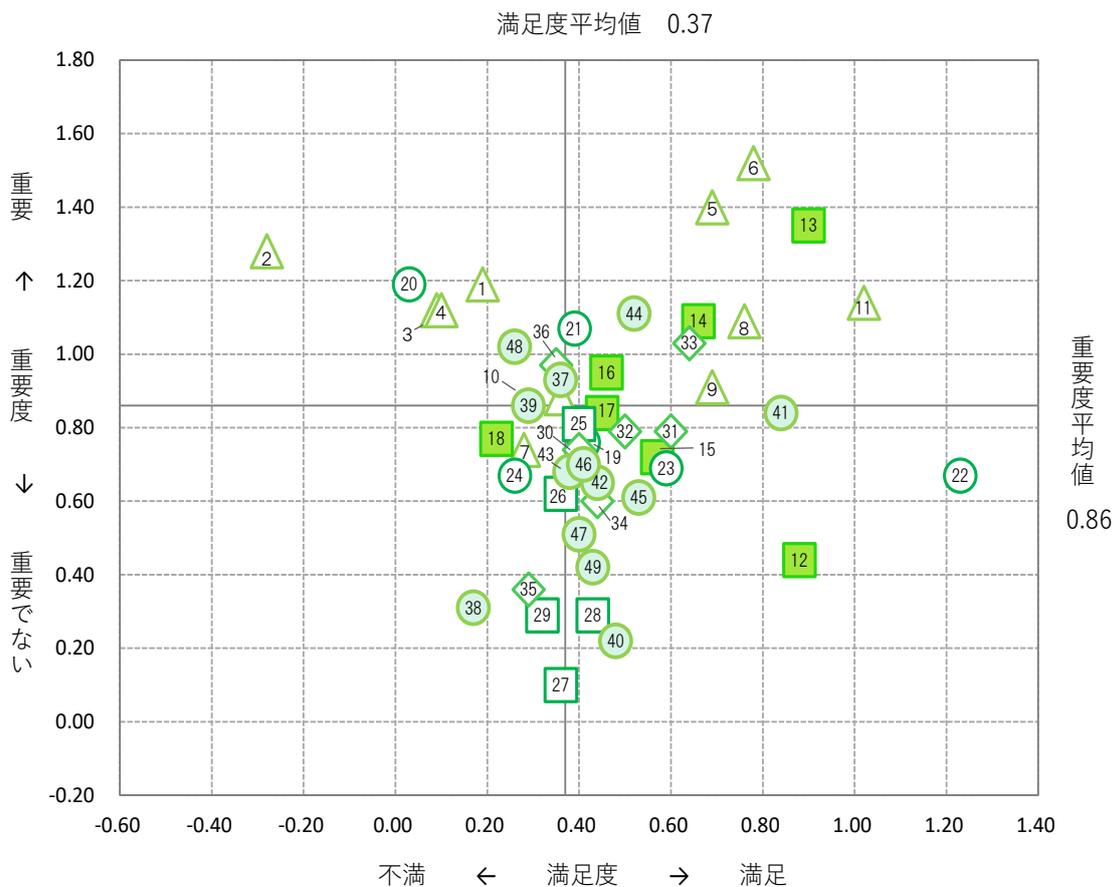
○千両小学校区



○八南小学校区



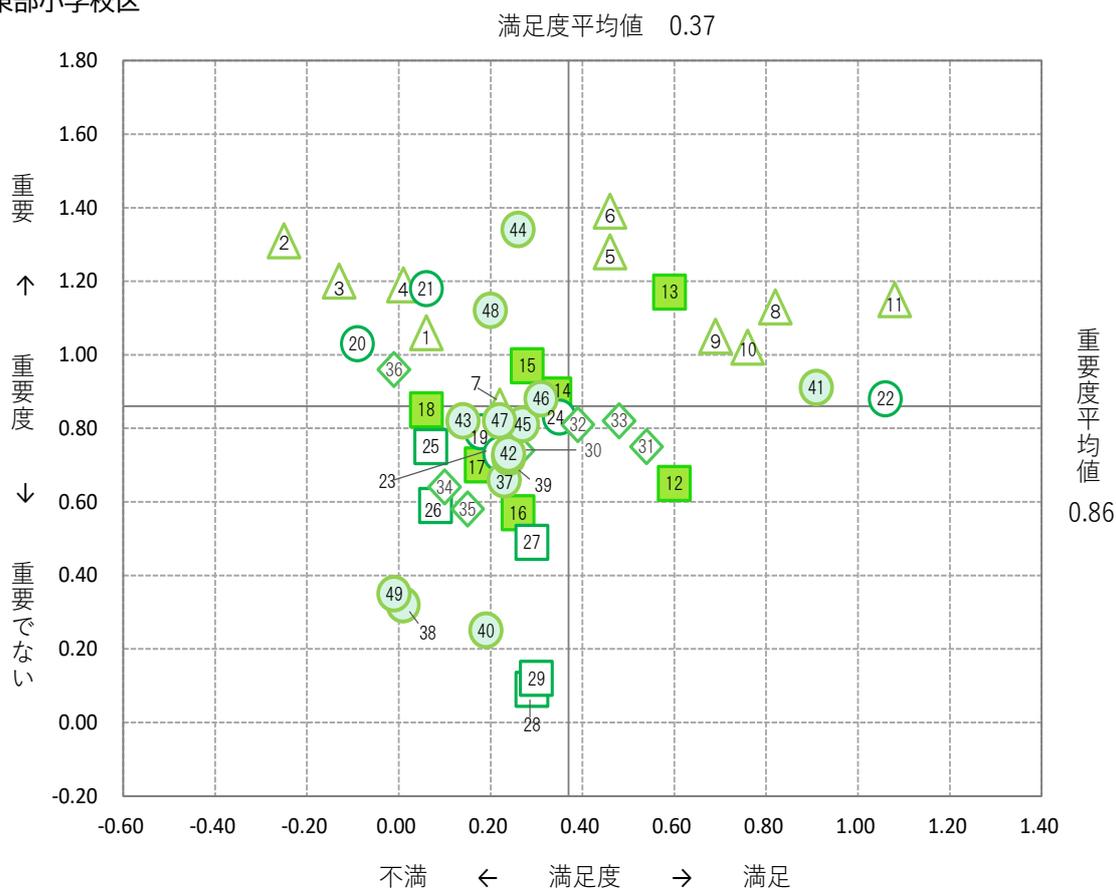
○平尾小学校区



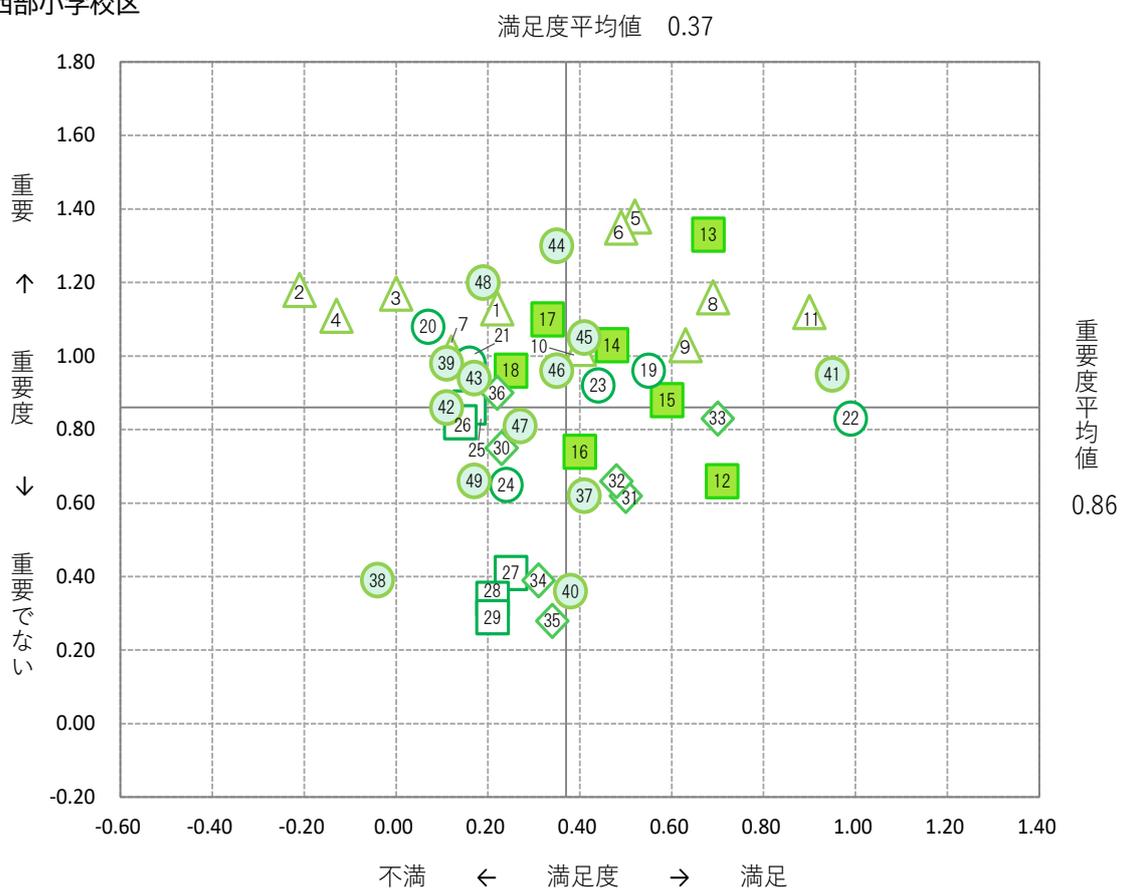
凡 例				
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	
	2	歩行者にとっての道路の安全性		
	3	防犯対策		
	4	地震などに対する防災対策		
	5	消防体制		
	6	救急体制		
	7	地球環境の保全		
	8	ごみ処理対策		
	9	生活における衛生環境		
	10	生活排水対策		
	11	水道水の安全・安定供給		
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	
	13	医療環境		
	14	子どもを生み、育てる環境		
	15	高齢者福祉		
	16	障害者福祉		
	17	ひとり親家庭支援		
	18	経済的な自立支援		
	19	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）		● 地域・行政
	20	公共交通機関の利便性		
	21	道路の整備状況		
	22	緑・自然の豊かさ		
	23	公園の状況		
	24	河川の状況		
	25	学校の指導や取り組み		
	26	青少年の育成・支援		
	27	生涯学習の取り組み		
	28	スポーツの振興		
	29	文化芸術の振興		
30	農業の振興			
31	工業の振興			
32	商業の振興			
33	日用品などの買い物の利便性			
34	中心市街地の活性化			
35	観光の振興			
36	雇用の安定・勤労者支援			
	37	地域のつきあいや人間関係		
	38	男女共同参画		
	39	人権の尊重		
	40	国際交流活動・多文化共生		
	41	市からの情報提供・公表		
	42	地域の情報化		
	43	公共施設の適正配置		
	44	道路、橋などの適正な維持管理		
	45	行政サービス		
	46	職員の資質向上		
	47	職員の定員適正化		
	48	健全な財政運営		
	49	東三河広域連合の活用		

図表 153 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(7)

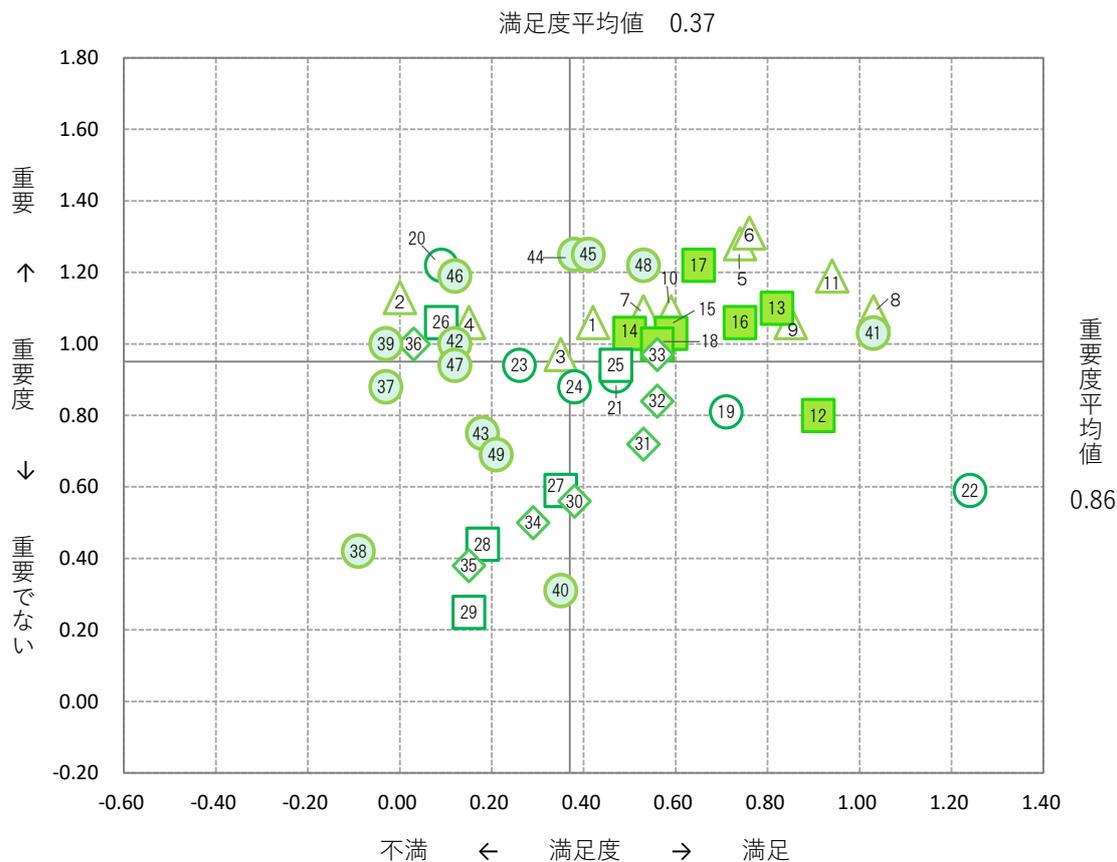
○一宮東部小学校区



○一宮西部小学校区



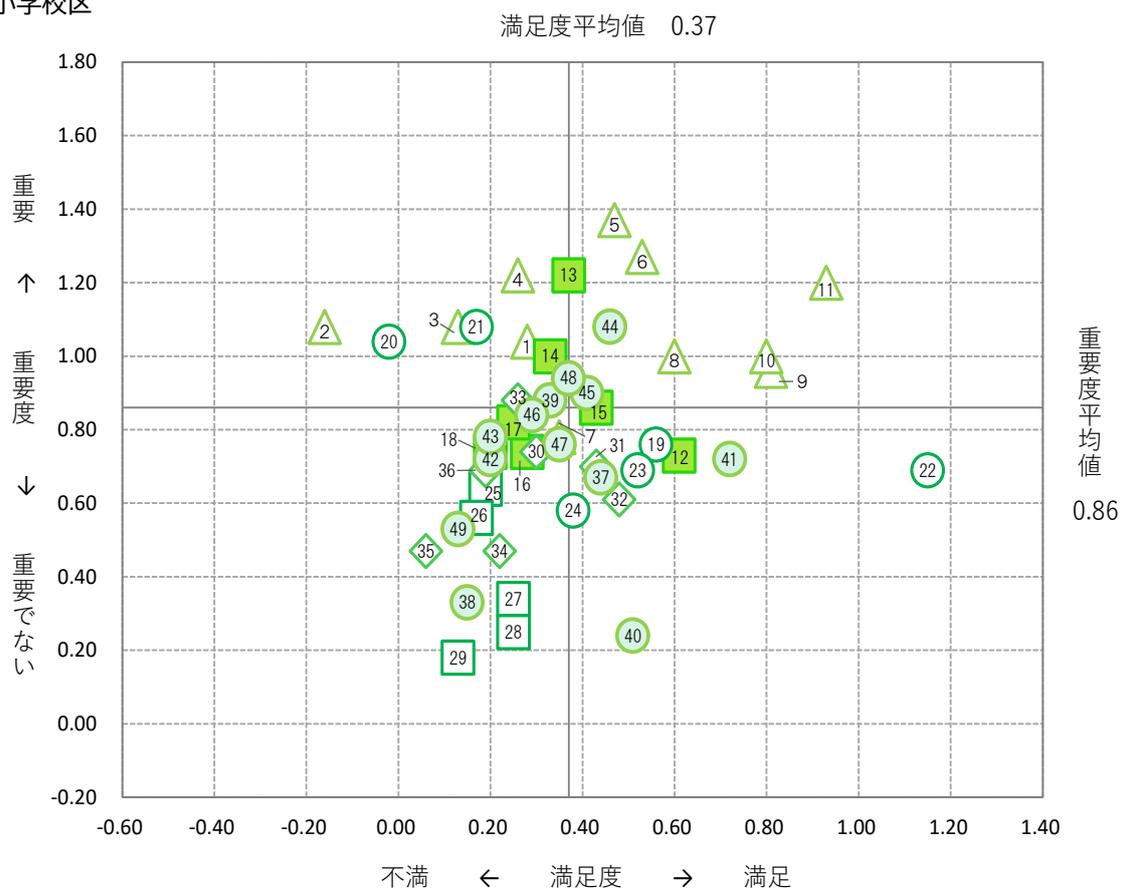
○一宮南部小学校区



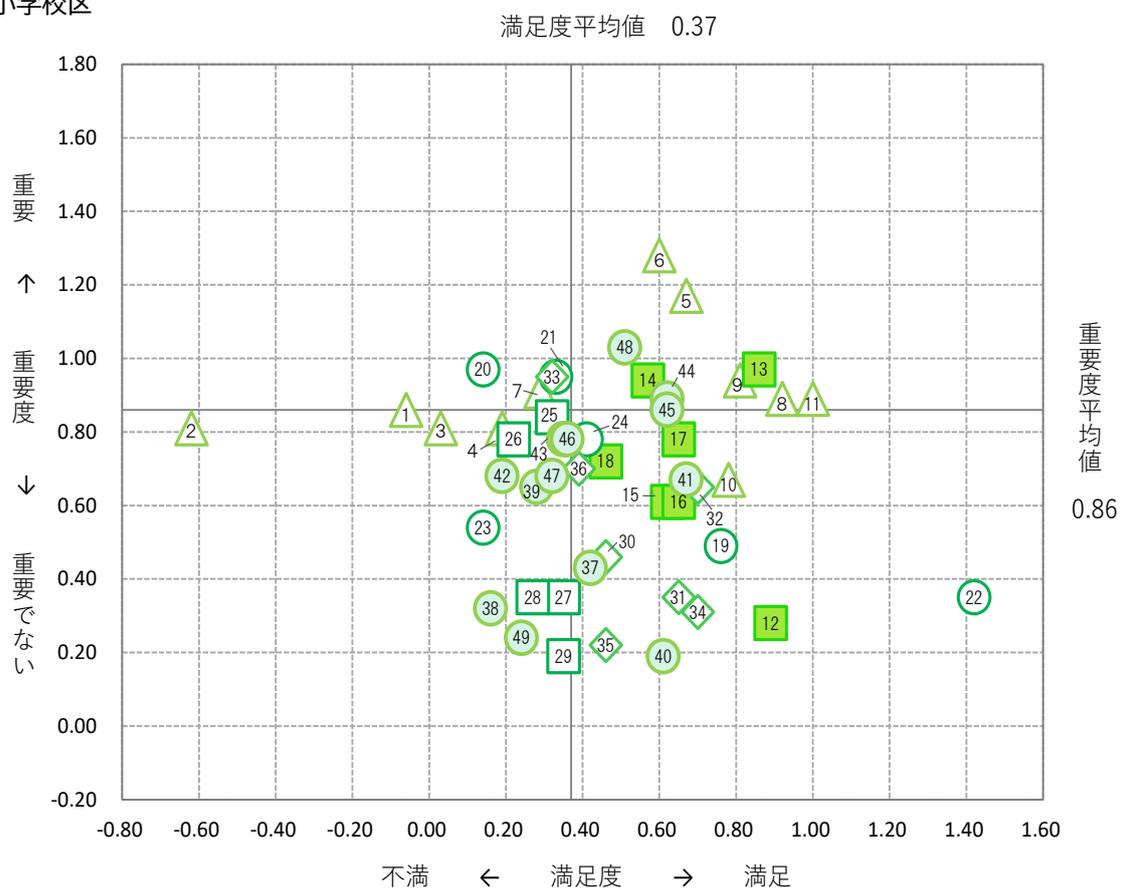
凡 例							
△ 安全・安心	1	交通安全対策	19	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	● 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性	20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策	21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策	22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制	24	河川の状況		42	地域の情報化
	7	地球環境の保全	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策	26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境	27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策	28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給	29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境	31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境	32	商業の振興			
	15	高齢者福祉	33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉	34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援	35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援	36	雇用の安定・勤労者支援			

図表 154 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(8)

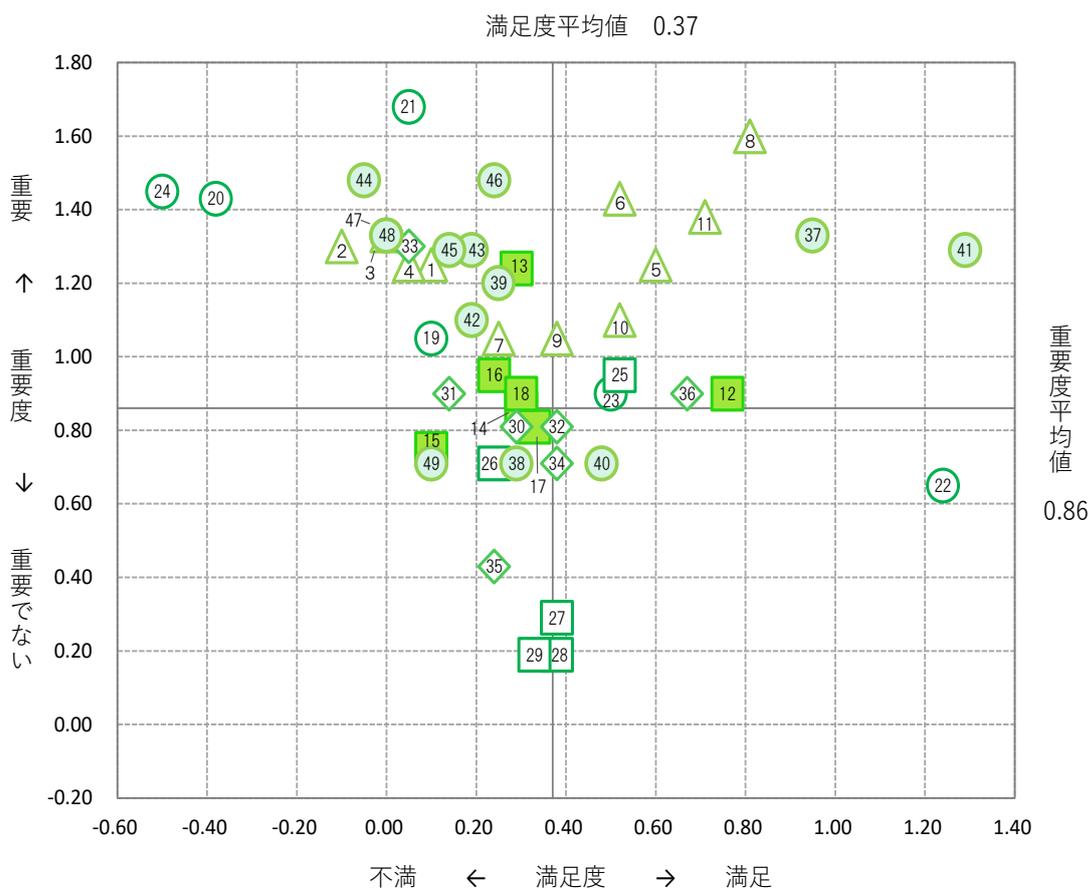
○赤坂小学校区



○長沢小学校区



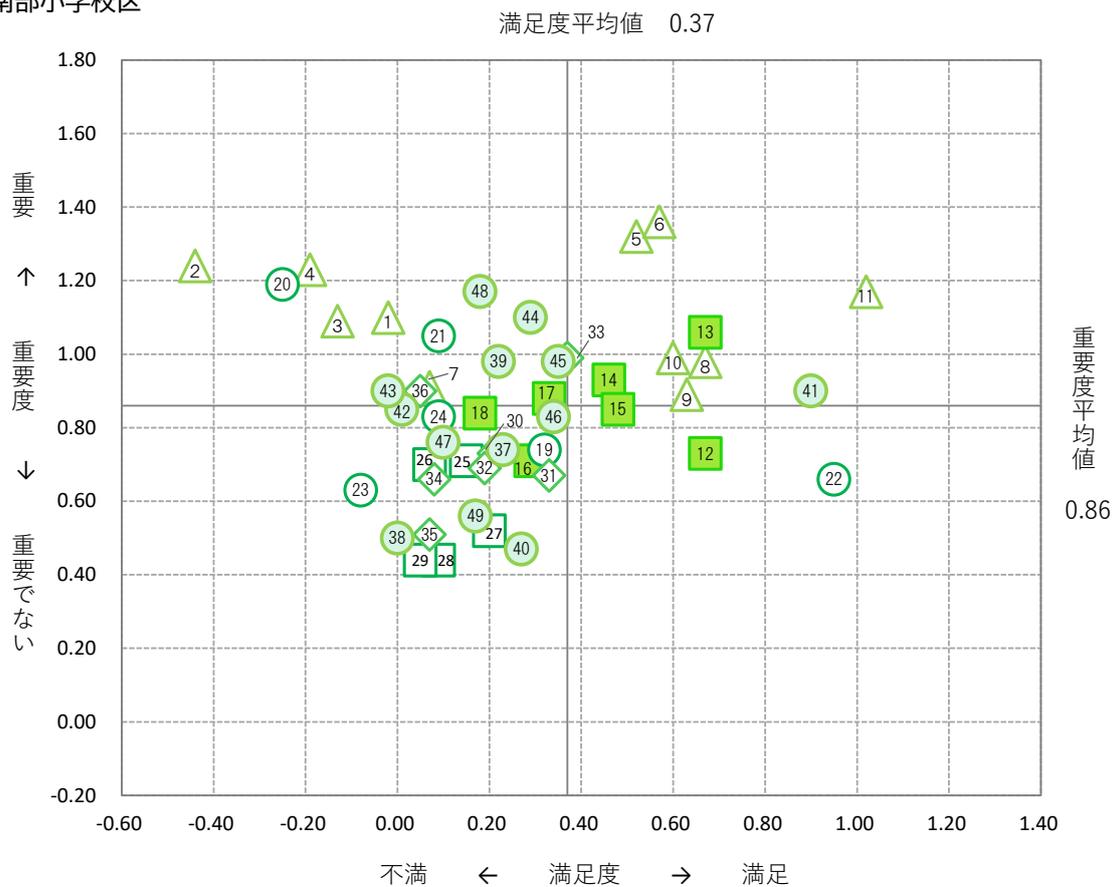
○萩小学校区



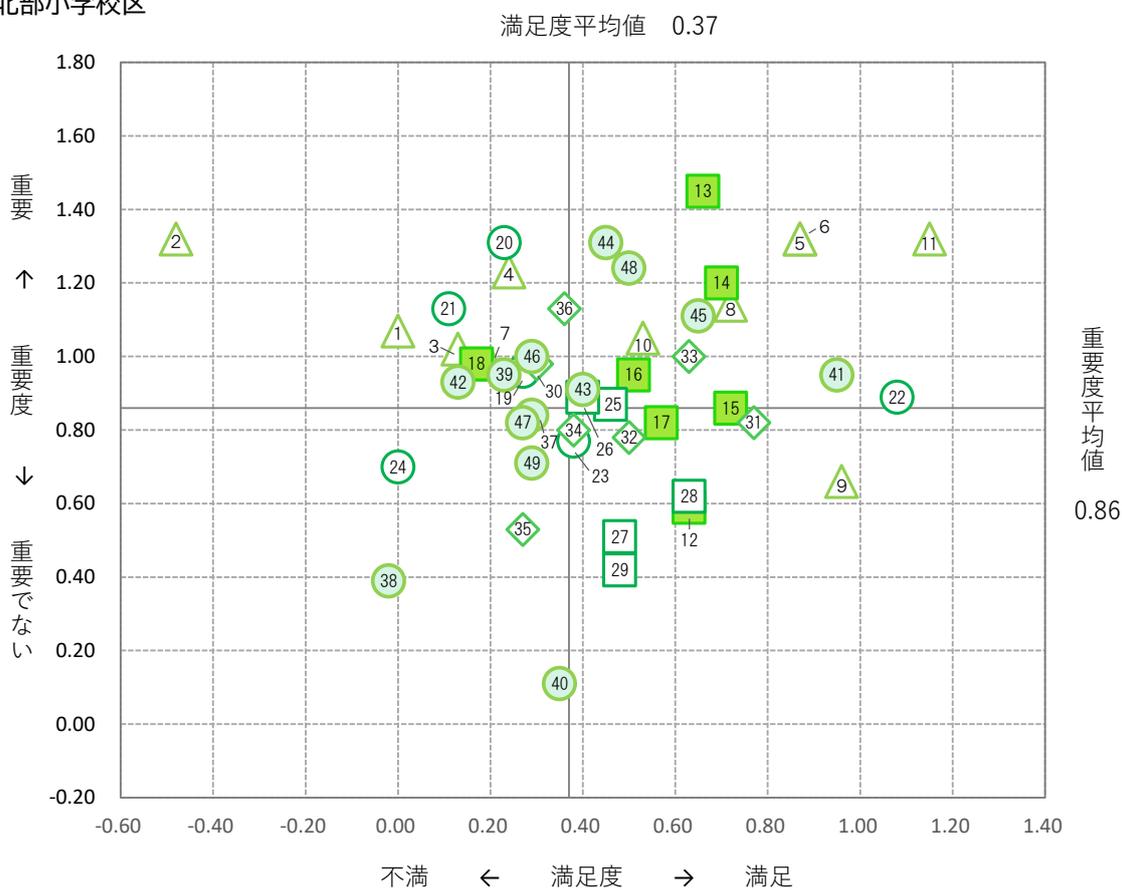
凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況	41		市からの情報提供・公表	
	6	救急体制	24	河川の状況	42		地域の情報化	
	7	地球環境の保全	25	学校の指導や取り組み	43		公共施設の適正配置	
	8	ごみ処理対策	26	青少年の育成・支援	44		道路、橋などの適正な維持管理	
	9	生活における衛生環境	27	生涯学習の取り組み	45		行政サービス	
	10	生活排水対策	28	スポーツの振興	46		職員の資質向上	
	11	水道水の安全・安定供給	29	文化芸術の振興	47		職員の定員適正化	
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

図表 155 小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(9)

○御津南部小学校区

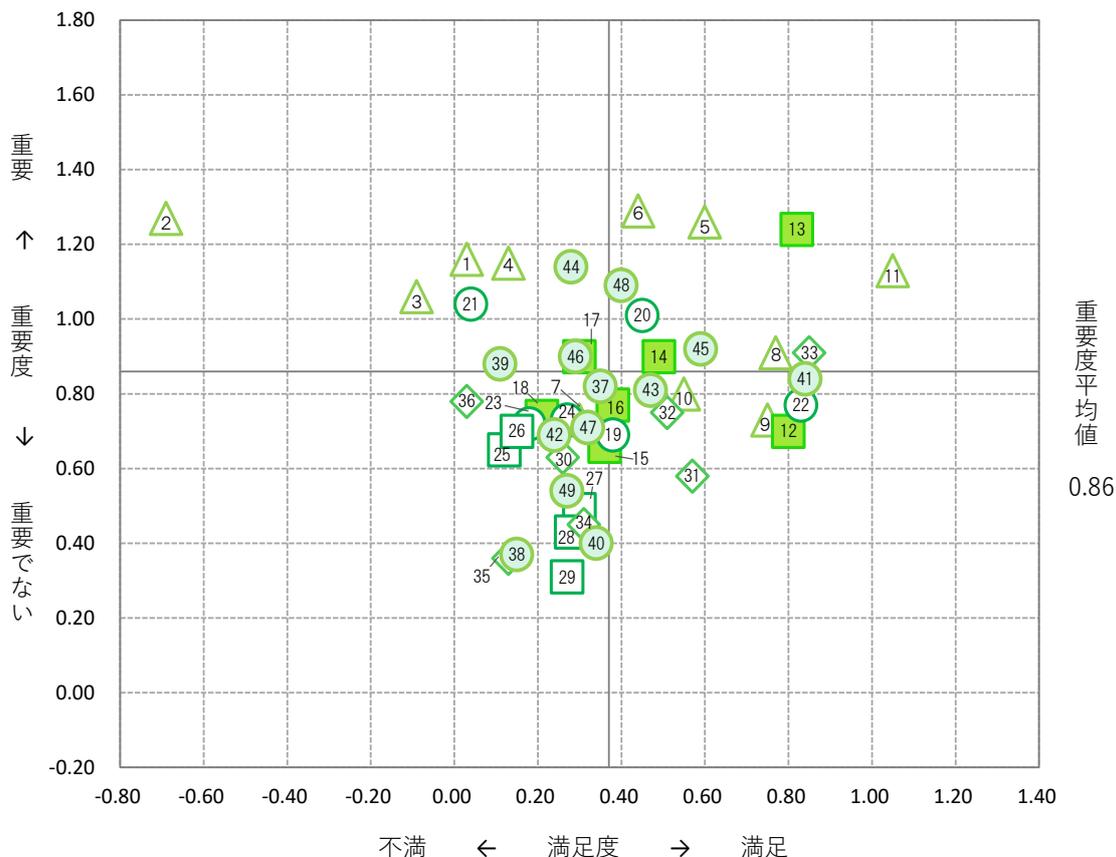


○御津北部小学校区



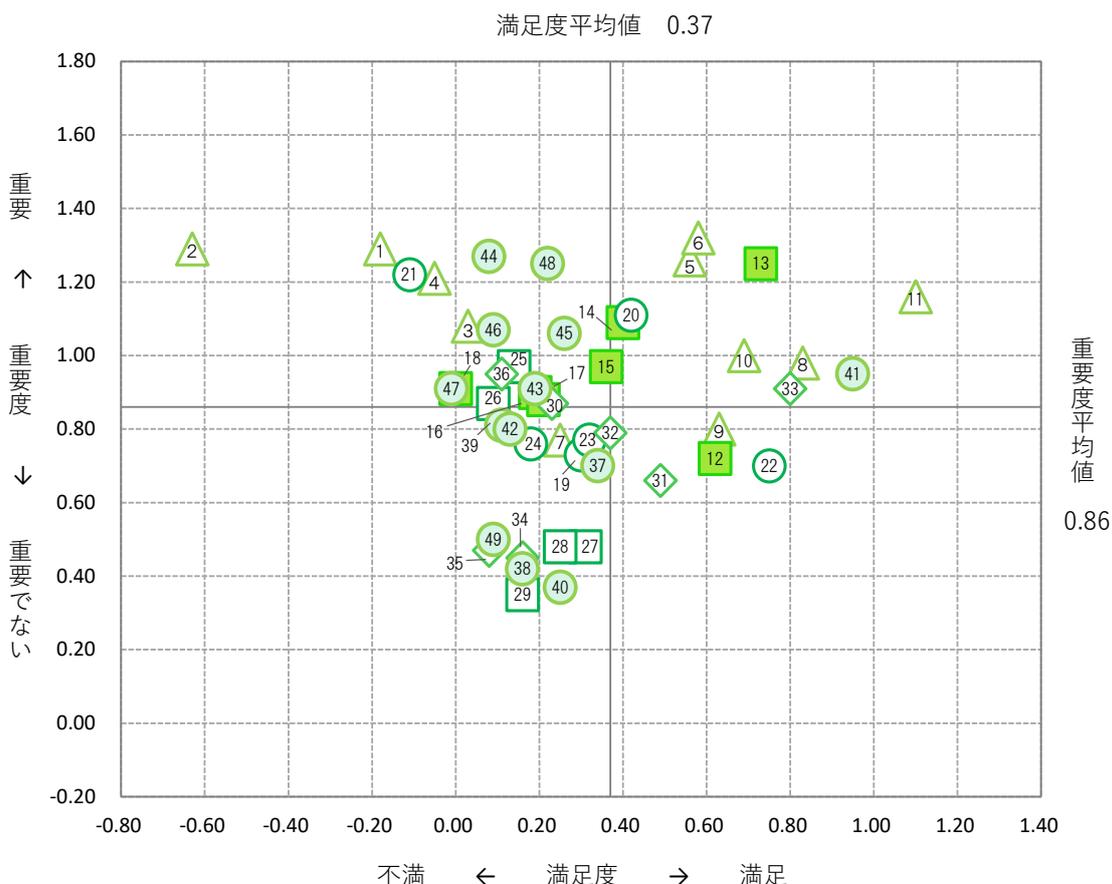
○小坂井東小学校区

満足度平均値 0.37



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備 (区画整理・住宅対策など)	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制	23	公園の状況	41		市からの情報提供・公表	
	6	救急体制	24	河川の状況	42		地域の情報化	
	7	地球環境の保全	□ 教育・文化	25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

○小坂井西小学校区



凡 例								
△ 安全・安心	1	交通安全対策	○ 建設・整備	19	住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	○ 地域・行政	37	地域のつきあいや人間関係
	2	歩行者にとっての道路の安全性		20	公共交通機関の利便性		38	男女共同参画
	3	防犯対策		21	道路の整備状況		39	人権の尊重
	4	地震などに対する防災対策		22	緑・自然の豊かさ		40	国際交流活動・多文化共生
	5	消防体制		23	公園の状況		41	市からの情報提供・公表
	6	救急体制		24	河川の状況		42	地域の情報化
	7	地球環境の保全		25	学校の指導や取り組み		43	公共施設の適正配置
	8	ごみ処理対策		26	青少年の育成・支援		44	道路、橋などの適正な維持管理
	9	生活における衛生環境		27	生涯学習の取り組み		45	行政サービス
	10	生活排水対策		28	スポーツの振興		46	職員の資質向上
	11	水道水の安全・安定供給		29	文化芸術の振興		47	職員の定員適正化
■ 健康・福祉	12	健康づくり	◇ 産業・雇用	30	農業の振興	48	健全な財政運営	
	13	医療環境		31	工業の振興	49	東三河広域連合の活用	
	14	子どもを生み、育てる環境		32	商業の振興			
	15	高齢者福祉		33	日用品などの買い物の利便性			
	16	障害者福祉		34	中心市街地の活性化			
	17	ひとり親家庭支援		35	観光の振興			
	18	経済的な自立支援		36	雇用の安定・勤労者支援			

### 3 安全・安心について

#### 1 交通安全・防犯対策等の行政への期待

問3 行政が実施している次の交通安全・防犯対策等について、行政にどのようなことを期待しますか。3つまで選んで○印をつけてください。

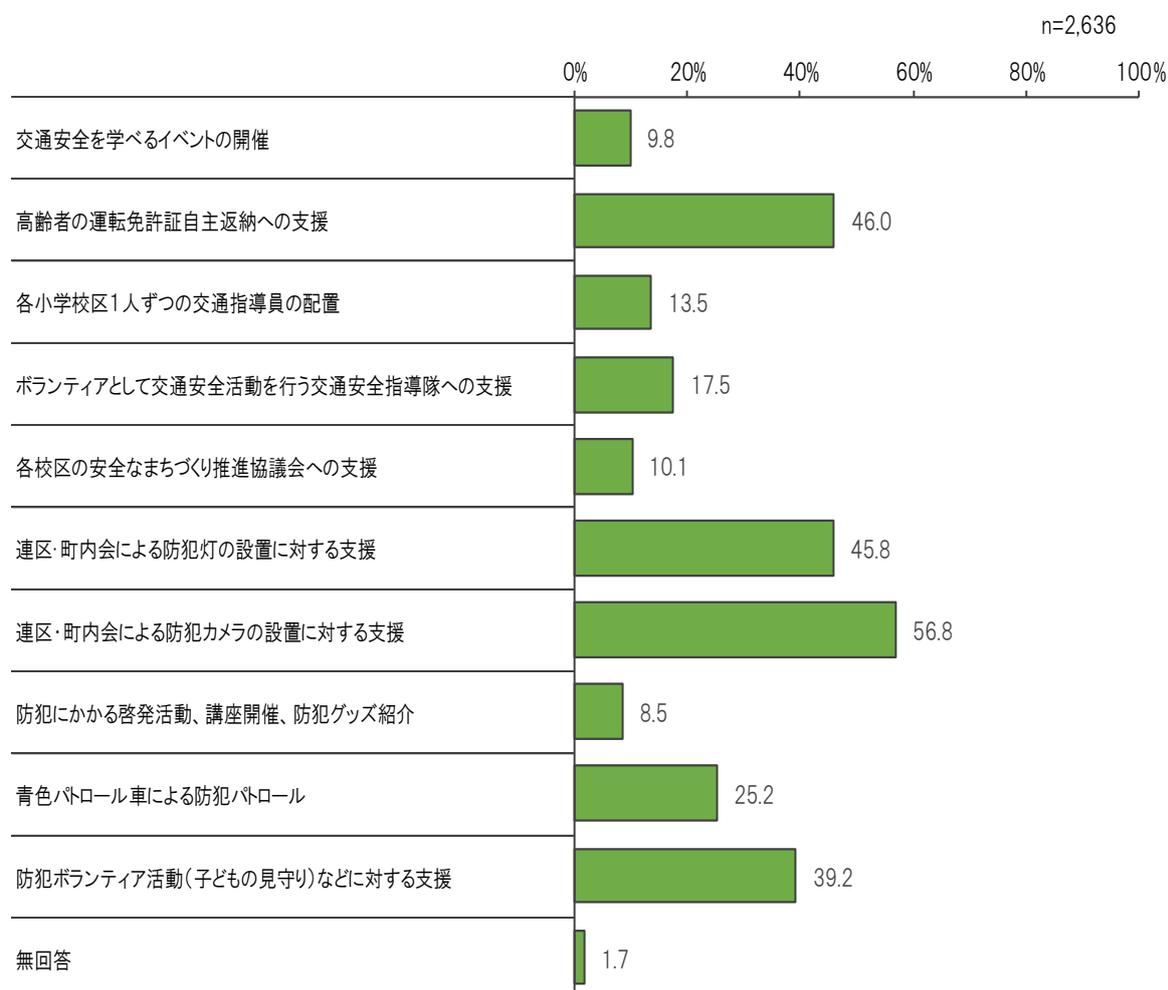
◆ **交通安全・防犯対策等で行政に期待することは「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」が56.8%**

交通安全・防犯対策等への期待では、「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」(56.8%)が最も高く、次いで「高齢者の運転免許証自主返納への支援」(46.0%)、「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」(45.8%)の順となっている。【図表 156】

性別でみると、「青色パトロール車による防犯パトロール」では、「女性」(27.8%)が「男性」(21.5%)を6.3ポイント上回り、「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では「女性」(48.0%)が「男性」(43.0%)を5.0ポイント上回っている。【図表 157】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援」では「牛久保小学校区」(63.9%)が最も高く、次いで「御津南部小学校区」(63.1%)、「豊川小学校区」(62.3%)、「東部小学校区」(61.7%)の順となっている。「高齢者の運転免許証自主返納への支援」では、「金屋小学校区」(56.9%)、「桜町小学校区」(55.7%)、「赤坂小学校区」(55.4%)、「連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援」では、「萩小学校区」(66.7%)、「一宮南部小学校区」(61.8%)、「一宮東部小学校区」(55.4%)で割合が高くなっている。【図表 157】

図表 156 交通安全・防犯対策等の行政への期待 (全体)



図表 157 交通安全・防犯対策等の行政への期待

(全体・性別・小学校区・交通安全の満足度・防犯対策の満足度別)

(%)

	件数	交通安全を学べるイベントの開催	高齢者の運転免許証自主返納への支援	各小学校区1人ずつの交通指導員の配置	ボランティアとして交通安全指導隊への支援	各校区の安全なまちづくり推進協議会への支援	設置に町内会による防犯灯の	ラ連区・町内会に対する支援	防犯にかかるとの啓発活動、講座	青色パトロール車による防犯	防犯ボランティアなどに活動(子ども見守り)に対する支	無回答	
全体	2,636	9.8	46.0	13.5	17.5	10.1	45.8	56.8	8.5	25.2	39.2	1.7	
性別	男性	1,078	11.2	45.7	15.2	19.6	10.6	43.0	56.8	8.1	21.5	37.9	1.7
	女性	1,451	9.0	46.5	12.1	16.1	9.9	48.0	57.5	8.8	27.8	41.1	1.0
居住小学校区別	豊川小学校区	114	12.3	53.5	14.9	12.3	10.5	47.4	62.3	11.4	17.5	27.2	0.0
	桜木小学校区	92	12.0	44.6	16.3	18.5	8.7	41.3	51.1	9.8	32.6	42.4	1.1
	豊小学校区	117	7.7	41.0	16.2	13.7	10.3	47.9	53.8	3.4	25.6	50.4	0.9
	東部小学校区	115	9.6	45.2	8.7	13.9	9.6	47.8	61.7	7.8	29.6	40.0	0.9
	金屋小学校区	72	9.7	56.9	11.1	20.8	12.5	29.2	58.3	9.7	26.4	34.7	2.8
	三蔵子小学校区	145	6.9	44.1	16.6	20.7	9.0	47.6	55.2	7.6	29.0	42.1	1.4
	桜町小学校区	79	6.3	55.7	3.8	15.2	7.6	40.5	59.5	8.9	32.9	38.0	1.3
	代田小学校区	106	11.3	43.4	13.2	20.8	15.1	38.7	55.7	13.2	23.6	46.2	0.9
	中部小学校区	169	9.5	52.1	18.3	12.4	8.9	42.0	56.8	8.9	26.0	43.8	0.6
	牛久保小学校区	108	12.0	50.9	12.0	14.8	13.0	44.4	63.9	5.6	18.5	40.7	0.9
	天王小学校区	50	8.0	40.0	18.0	28.0	12.0	42.0	60.0	6.0	22.0	36.0	2.0
	国府小学校区	183	10.4	43.2	12.6	23.5	7.7	51.4	54.1	6.0	22.4	38.3	2.2
	御油小学校区	134	6.0	53.7	13.4	17.9	7.5	47.0	60.4	10.4	20.1	32.8	2.2
	千両小学校区	29	6.9	51.7	17.2	10.3	6.9	51.7	48.3	17.2	31.0	41.4	0.0
	八南小学校区	146	8.2	40.4	13.0	19.2	13.7	41.1	55.5	8.9	25.3	41.8	1.4
	平尾小学校区	58	15.5	43.1	20.7	22.4	6.9	44.8	53.4	5.2	31.0	46.6	0.0
	一宮東部小学校区	74	13.5	41.9	8.1	20.3	5.4	55.4	60.8	2.7	28.4	40.5	0.0
	一宮西部小学校区	118	7.6	38.1	16.9	19.5	8.5	44.9	53.4	10.2	25.4	44.1	2.5
	一宮南部小学校区	34	8.8	47.1	5.9	20.6	5.9	61.8	58.8	8.8	8.8	44.1	0.0
	赤坂小学校区	56	5.4	55.4	7.1	12.5	7.1	51.8	53.6	10.7	33.9	37.5	0.0
	長沢小学校区	37	16.2	51.4	10.8	18.9	2.7	51.4	51.4	13.5	21.6	27.0	0.0
	菟小学校区	21	14.3	38.1	33.3	9.5	4.8	66.7	52.4	9.5	4.8	33.3	0.0
	御津南部小学校区	130	9.2	43.8	11.5	16.2	13.8	50.0	63.1	8.5	26.2	37.7	2.3
御津北部小学校区	49	16.3	46.9	12.2	16.3	14.3	40.8	61.2	8.2	22.4	38.8	0.0	
小坂井東小学校区	134	12.7	45.5	14.9	14.9	11.9	49.3	56.0	7.5	23.1	39.6	3.0	
小坂井西小学校区	163	11.0	39.9	12.9	20.9	12.9	47.2	57.1	7.4	29.4	35.6	0.0	
「交通安全」の満足度	満足	101	10.9	51.5	23.8	19.8	11.9	43.6	43.6	6.9	25.7	37.6	1.0
	まあ満足	1,222	9.8	46.1	12.3	17.6	10.7	47.1	56.3	9.2	25.5	40.3	0.9
	やや不満	682	11.0	46.2	14.8	18.3	8.9	45.7	60.4	7.3	24.0	39.4	1.6
	不満	224	12.1	45.5	13.8	17.0	8.9	45.1	58.9	9.8	25.9	33.9	2.2
	わからない	335	6.9	47.2	13.4	13.1	10.7	43.6	56.4	8.1	25.1	40.0	2.7
「防犯対策」の満足度	満足	82	11.0	50.0	15.9	20.7	9.8	40.2	48.8	12.2	28.0	37.8	1.2
	まあ満足	1,007	11.1	44.7	14.6	19.4	11.2	44.2	54.5	7.7	22.7	43.3	1.2
	やや不満	667	9.9	46.0	12.0	15.7	10.2	50.7	60.4	8.5	28.9	35.5	0.9
	不満	208	8.7	49.0	13.9	14.9	6.7	55.3	68.3	9.1	24.0	32.7	1.0
	わからない	600	8.7	47.7	13.3	15.3	9.7	42.2	54.7	9.0	24.7	39.3	2.7

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

## 2 自転車の安全な利用のための心掛け

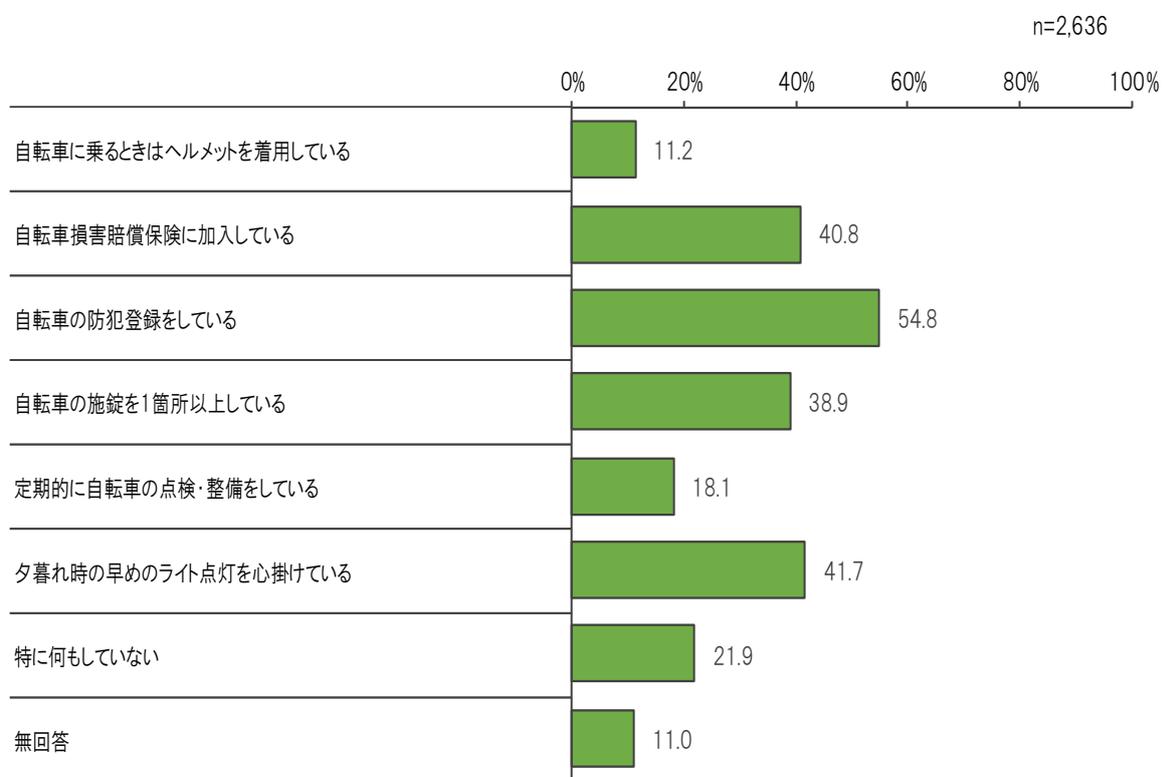
問4 あなたは、自転車の安全な利用について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。  
次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

### ◆ 自転車の安全な利用のための心掛けでは、「自転車の防犯登録をしている」が54.8%

自転車の安全な利用のための心掛けでは、「自転車の防犯登録をしている」(54.8%)が最も高く、次いで「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」(41.7%)、「自転車損害賠償保険に加入している」(40.8%)の順となっている。【図表 158】

年齢別で見ると、全体平均と比較して、「自転車損害賠償保険に加入している」、「自転車の防犯登録をしている」、「自転車の施錠を1箇所以上している」「定期的に自転車の点検・整備をしている」「夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている」では、「10代(18・19歳)」の割合が最も高くなっている。【図表 159】

図表 158 自転車の安全な利用のための心掛け (全体)



図表 159 自転車の安全な利用のための心掛け（全体・年齢別・小学校区別）

		件数	自転車に乗るときはヘルメットを着用している	自転車の損害賠償保険に加入している	自転車の防犯登録をしている	自転車の施錠を1箇所以上している	定期的に自転車の点検・整備をしている	夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている	特に何もしていない	無回答
全体		2,636	11.2	40.8	54.8	38.9	18.1	41.7	21.9	11.0
年齢別	10代(18・19歳)	35	2.9	74.3	88.6	88.6	45.7	65.7	5.7	0.0
	20代	227	7.9	31.7	49.8	48.9	19.8	47.1	30.0	1.8
	30代	308	14.9	43.2	55.5	37.7	13.0	39.0	28.9	4.5
	40代	456	12.3	56.8	66.9	50.0	25.9	50.0	17.8	2.4
	50代	509	10.0	45.0	58.2	40.9	17.7	44.0	21.8	7.5
	60代	484	9.5	36.4	51.0	32.9	13.4	36.0	23.1	15.1
	70歳以上	558	12.7	29.7	45.3	26.9	16.1	36.7	18.8	24.2
居住小学校区別	豊川小学校区	114	14.0	43.0	57.9	43.9	18.4	37.7	18.4	9.6
	桜木小学校区	92	8.7	44.6	55.4	38.0	16.3	48.9	19.6	12.0
	豊小学校区	117	12.0	39.3	53.0	39.3	12.0	44.4	23.9	11.1
	東部小学校区	115	15.7	47.8	59.1	44.3	23.5	45.2	19.1	7.8
	金屋小学校区	72	18.1	48.6	62.5	48.6	22.2	41.7	18.1	9.7
	三蔵子小学校区	145	11.7	43.4	55.2	41.4	17.9	46.2	17.2	11.0
	桜町小学校区	79	12.7	43.0	60.8	43.0	22.8	50.6	19.0	10.1
	代田小学校区	106	12.3	49.1	56.6	42.5	26.4	41.5	22.6	6.6
	中部小学校区	169	9.5	49.1	69.2	43.2	20.7	50.3	17.2	8.3
	牛久保小学校区	108	8.3	41.7	59.3	46.3	16.7	50.0	16.7	11.1
	天王小学校区	50	10.0	48.0	62.0	42.0	22.0	52.0	14.0	12.0
	国府小学校区	183	9.8	39.9	53.6	38.3	17.5	44.8	21.9	10.4
	御油小学校区	134	13.4	35.1	50.7	37.3	15.7	37.3	23.9	14.9
	千両小学校区	29	17.2	20.7	44.8	31.0	31.0	44.8	31.0	13.8
	八南小学校区	146	11.6	41.1	52.1	35.6	17.8	38.4	25.3	8.9
	平尾小学校区	58	13.8	39.7	50.0	34.5	17.2	31.0	25.9	10.3
	一宮東部小学校区	74	9.5	27.0	35.1	25.7	13.5	29.7	31.1	20.3
	一宮西部小学校区	118	8.5	40.7	48.3	35.6	11.0	37.3	26.3	10.2
	一宮南部小学校区	34	17.6	38.2	47.1	29.4	20.6	44.1	26.5	11.8
	赤坂小学校区	56	8.9	39.3	46.4	23.2	16.1	25.0	25.0	19.6
	長沢小学校区	37	10.8	32.4	43.2	35.1	13.5	35.1	29.7	10.8
	萩小学校区	21	9.5	19.0	33.3	23.8	0.0	33.3	38.1	14.3
	御津南部小学校区	130	10.0	44.6	54.6	47.7	23.1	43.1	20.8	8.5
御津北部小学校区	49	10.2	34.7	57.1	32.7	18.4	28.6	24.5	12.2	
小坂井東小学校区	134	11.2	39.6	59.7	32.8	17.2	42.5	21.6	11.2	
小坂井西小学校区	163	9.2	42.9	59.5	42.9	17.8	41.7	17.8	9.2	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

### 3 日ごろの地震に備えた対策

問5 あなたのご家庭では、日ごろ地震に備えてどのような対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

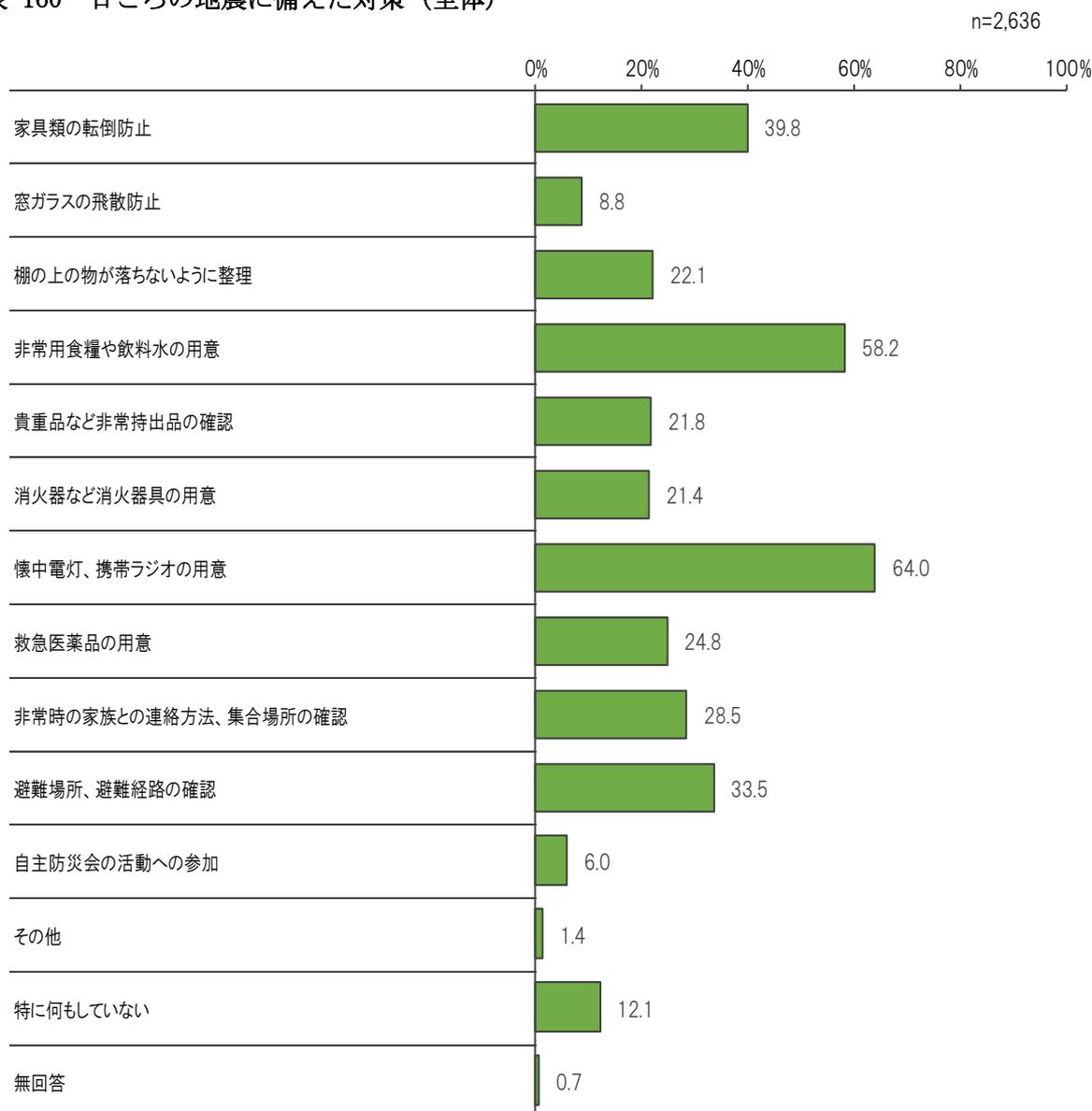
#### ◆ 日ごろの地震に備えた対策は「懐中電灯、携帯ラジオの用意」が64.0%

日ごろの地震に備えた対策は、「懐中電灯、携帯ラジオの用意」(64.0%)が最も高く、次いで「非常用食糧や飲料水の用意」(58.2%)、「家具類の転倒防止」(39.8%)の順となっている。

【図表 160】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「棚の上の物が落ちないように整理」「貴重品など非常持出品の確認」「消火器など消火器具の用意」「懐中電灯、携帯ラジオの用意」は「70歳以上」の割合が最も高くなっている。「10代(18・19歳)」は「非常用食糧や飲料水の用意」(80.0%)、「救急医薬品の用意」(40.0%)、「非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認」(60.0%)、「避難場所、避難経路の確認」(68.6%)の割合が他の年齢に比べて高くなっている。【図表 161】

図表 160 日ごろの地震に備えた対策（全体）



図表 161 日ごろの地震に備えた対策（全体・年齢別）

(%)

		件数	家具類の転倒防止	窓ガラスの飛散防止	棚の上の物が落ちないように整理	非常用食糧や飲料水の用意	貴重品など非常持出品の確認	消火器など消火器具の用意	懐中電灯、携帯ラジオの用意	救急医薬品の用意	非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認	避難場所、避難経路の確認	自主防災会の活動への参加	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		2,636	39.8	8.8	22.1	58.2	21.8	21.4	64.0	24.8	28.5	33.5	6.0	1.4	12.1	0.7
年齢別	10代(18・19歳)	35	37.1	8.6	22.9	80.0	25.7	14.3	60.0	40.0	60.0	68.6	11.4	0.0	5.7	0.0
	20代	227	37.0	7.9	17.2	56.8	24.2	18.5	47.6	30.4	30.0	36.6	2.2	0.9	16.3	0.0
	30代	308	27.9	7.5	14.9	54.2	18.8	13.0	50.6	25.3	26.0	28.2	1.6	1.3	17.2	0.3
	40代	456	39.5	9.0	20.0	63.4	24.1	16.7	63.8	24.1	33.3	35.5	4.8	1.5	10.5	0.2
	50代	509	43.2	9.8	17.7	61.7	18.3	19.4	60.7	22.0	28.5	30.8	6.3	1.4	11.4	0.6
	60代	484	42.6	10.3	21.9	57.2	18.6	23.8	68.0	21.5	26.4	35.3	5.8	1.2	10.7	0.2
	70歳以上	558	42.7	7.9	34.4	53.6	26.5	31.4	78.5	27.6	25.3	32.6	10.8	2.0	10.9	0.5

全体より10%以上

全体より5%以上

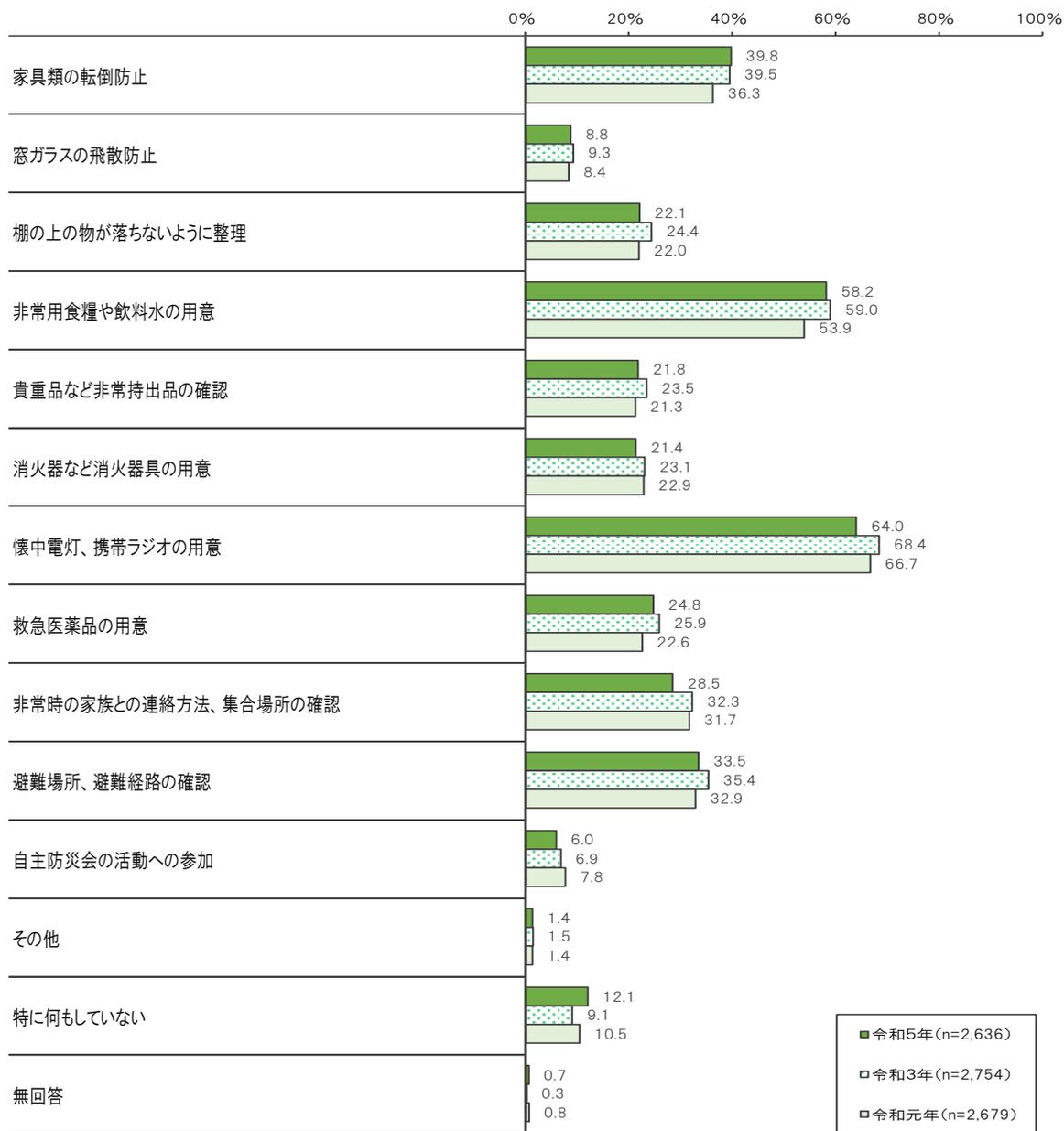
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して多くの項目で減少し、「懐中電灯、携帯ラジオの用意」(4.4ポイント減)、「非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認」(3.8ポイント減)、「避難場所、避難経路の確認」(1.9ポイント減)となっている。一方、前回調査と比較して増加した項目は、「特に何もしていない」(3.0ポイント増)となっている。【図表 162】

図表 162 日ごろの地震に備えた対策（経年比較）



## 4 防災対策の行政への期待

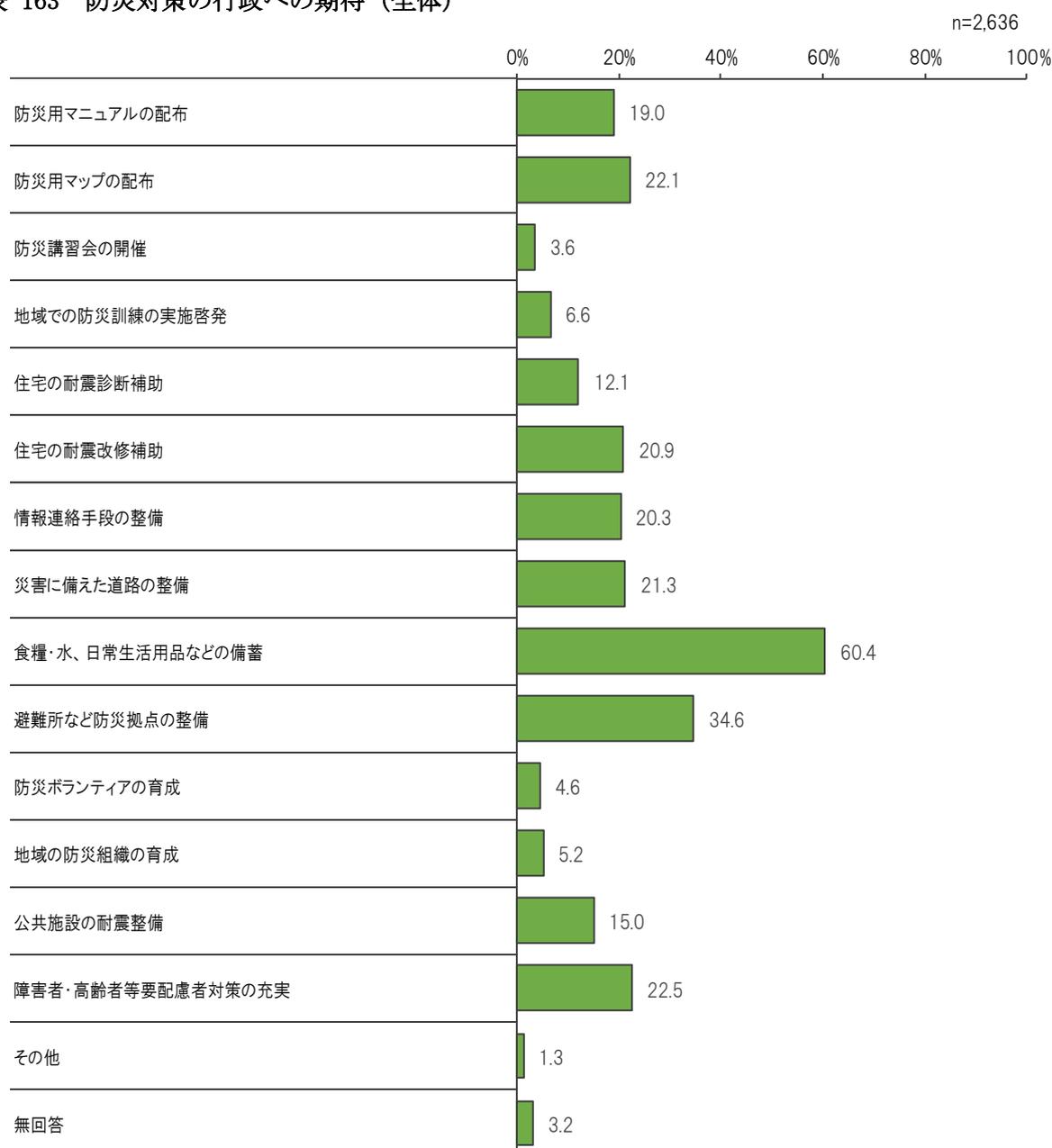
問6 あなたは、防災対策として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

### ◆ 防災対策で行政に期待することは「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」が60.4%

防災対策で行政に期待することは、「食糧・水、日常生活用品などの備蓄」(60.4%)が最も高く、次いで「避難所など防災拠点の整備」(34.6%)、「障害者・高齢者等要配慮者対策の充実」(22.5%)の順となっている。【図表 163】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「住宅の耐震改修補助」は「10代(18・19歳)」(42.9%)、「公共施設の耐震整備」は「10代(18・19歳)」(25.7%)、「障害者・高齢者等要配慮者対策の充実」は「70歳以上」(36.6%)で割合が高くなっている。【図表 164】

図表 163 防災対策の行政への期待 (全体)



図表 164 防災対策の行政への期待（全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別）

		件数	防災用マニュアルの配布	防災用マップの配布	防災講習会の開催	地域での防災訓練の実施啓発	住宅の耐震診断補助	住宅の耐震改修補助	情報連絡手段の整備	災害に備えた道路の整備	食糧・水、日常生活用品などの備蓄	避難所など防災拠点の整備	防災ボランティアの育成	地域の防災組織の育成	公共施設の耐震整備	障害者・高齢者等要配慮者対策の充実	その他	無回答
全体		2,636	19.0	22.1	3.6	6.6	12.1	20.9	20.3	21.3	60.4	34.6	4.6	5.2	15.0	22.5	1.3	3.2
年齢別	10代(18・19歳)	35	8.6	17.1	2.9	5.7	17.1	42.9	14.3	17.1	68.6	42.9	2.9	8.6	25.7	2.9	0.0	0.0
	20代	227	23.3	21.6	3.5	4.4	12.8	28.6	14.1	21.1	69.2	38.3	2.2	4.8	17.6	9.3	1.8	1.8
	30代	308	20.8	23.1	2.9	4.9	17.2	26.3	16.9	23.1	67.9	34.7	2.6	1.9	18.8	12.7	1.3	2.6
	40代	456	22.6	23.7	1.1	5.3	13.2	20.6	22.4	23.0	63.2	35.3	2.6	2.6	17.8	18.4	1.8	2.6
	50代	509	17.5	19.4	2.9	5.1	12.2	22.4	19.1	22.0	61.3	37.1	6.3	5.3	15.7	18.9	1.4	3.3
	60代	484	16.9	22.3	4.8	6.4	8.5	18.6	23.3	22.3	59.7	33.9	5.2	5.4	13.2	26.9	0.8	3.1
	70歳以上	558	17.9	22.9	5.7	11.5	11.1	15.4	22.2	18.3	51.1	30.5	6.1	8.8	10.8	36.6	0.9	3.8
「地震などに対する防災対策」の満足度	満足	84	19.0	20.2	3.6	6.0	10.7	17.9	14.3	17.9	65.5	40.5	4.8	4.8	20.2	22.6	2.4	1.2
	まあ満足	931	21.9	24.3	3.1	7.1	11.3	20.2	22.2	21.7	60.5	35.1	4.2	4.2	15.0	21.4	1.0	2.3
	やや不満	578	17.5	18.7	5.0	7.1	14.2	23.0	21.5	23.4	56.9	37.0	4.5	6.6	14.5	23.4	0.9	3.8
	不満	200	14.0	22.0	4.0	10.0	16.0	27.0	24.0	20.0	56.5	32.5	6.0	6.0	13.5	23.5	3.5	2.5
わからない	774	19.0	22.7	3.0	4.9	10.9	19.6	17.6	20.2	64.7	32.8	4.7	5.2	15.8	22.1	1.2	3.4	

全体より10%以上

全体より5%以上

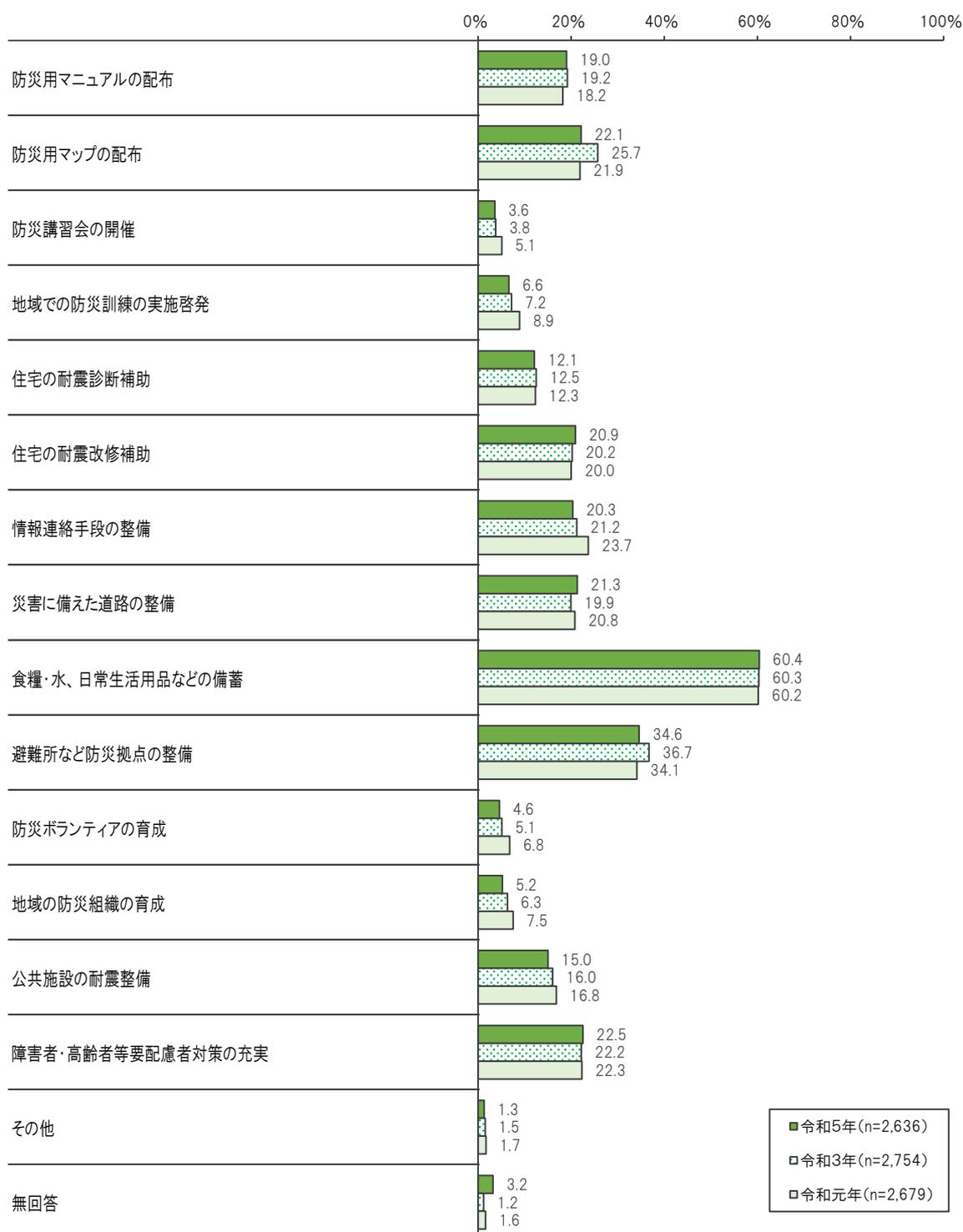
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「災害に備えた道路の整備」(1.4ポイント増)、「住宅の耐震改修補助」(0.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「防災用マップの配布」(3.6ポイント減)、「避難所など防災拠点の整備」(2.1ポイント減)などとなっている。【図表 165】

図表 165 防災対策の行政への期待（経年比較）



## 5 衛生環境の行政への期待

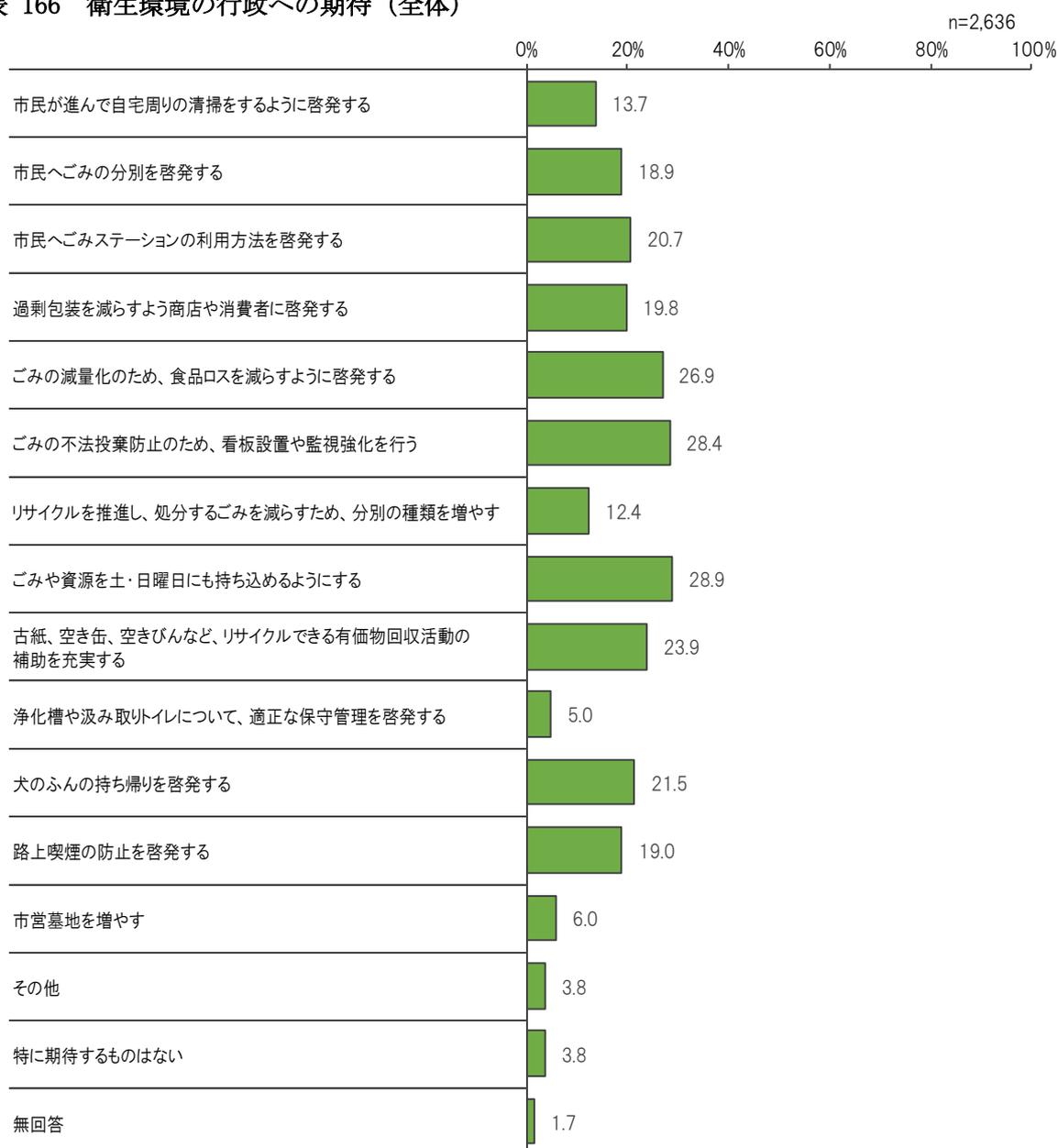
問7 あなたが生活する上での衛生環境について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ 衛生環境で行政に期待することは「ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする」が28.9%、「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」が28.4%

衛生環境で行政に期待することは、「ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする」(28.9%)が最も高く、次いで「ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う」(28.4%)、「ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する」(26.9%)の順となっている。【図表 166】

年齢別で見ると、全体平均と比較して「路上喫煙の防止を啓発する」は「10代(18・19歳)」(37.1%)、「ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する」では「20代」(32.6%)で割合が高くなっている。【図表 167】

図表 166 衛生環境の行政への期待 (全体)



図表 167 衛生環境の行政への期待（全体・年齢・ごみ処理対策の満足度・生活における衛生環境の満足度別）

		(%)																	
		件数	市民が進んで自宅周りの清掃をするように啓発する	市民へごみの分別を啓発する	市民へごみステーションの利用方法を啓発する	過剰包装を減らすよう商店や消費者に啓発する	ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する	ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う	分別の種類を増やす	リサイクルを推進し、処分するごみを減らすため、	ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする	古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する	浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する	犬のふんの持ち帰りを啓発する	路上喫煙の防止を啓発する	市営墓地を増やす	その他	特に期待するものはない	無回答
全体		2,636	13.7	18.9	20.7	19.8	26.9	28.4	12.4	28.9	23.9	5.0	21.5	19.0	6.0	3.8	3.8	1.7	
年齢別	10代(18・19歳)	35	11.4	14.3	5.7	28.6	28.6	31.4	11.4	42.9	25.7	0.0	14.3	37.1	2.9	0.0	2.9	0.0	
	20代	227	10.6	18.1	18.1	20.3	32.6	21.6	10.1	34.4	27.3	9.3	21.6	23.3	2.6	2.2	3.1	0.9	
	30代	308	7.8	17.2	17.9	19.8	27.6	23.1	8.8	39.0	26.6	7.1	20.1	25.6	2.9	4.9	4.2	1.0	
	40代	456	10.3	18.9	22.8	20.2	23.5	28.3	11.2	36.2	21.3	4.8	21.3	17.1	5.7	4.8	4.4	1.1	
	50代	509	11.2	16.7	18.5	19.4	23.6	28.1	11.8	30.1	26.5	4.3	19.1	18.3	6.9	4.9	3.5	1.0	
	60代	484	14.5	21.5	26.0	17.6	26.9	32.0	14.7	26.9	23.6	4.3	22.3	17.8	7.6	1.9	3.3	0.2	
	70歳以上	558	22.4	19.5	20.6	21.0	30.3	32.4	14.9	16.1	22.0	4.5	25.3	16.3	7.5	3.8	3.9	3.4	
「ごみ処理対策」の満足度	満足	524	13.9	20.0	19.7	22.3	27.1	26.5	10.9	26.9	24.8	5.5	21.0	20.8	6.5	4.6	3.2	2.3	
	まあ満足	1,441	14.7	18.4	20.5	20.0	27.5	28.4	11.4	29.6	24.8	4.9	21.7	18.7	6.0	2.3	4.1	1.0	
	やや不満	320	11.9	23.1	26.6	16.9	23.4	30.0	18.4	30.3	24.4	5.9	21.6	16.9	4.4	6.6	3.1	0.9	
	不満	100	13.0	19.0	20.0	10.0	18.0	38.0	22.0	28.0	21.0	3.0	25.0	22.0	7.0	10.0	2.0	3.0	
	わからない	197	7.1	13.7	14.7	21.3	29.4	27.9	9.1	32.5	15.7	4.6	20.8	20.3	6.1	5.6	5.1	2.0	
「生活における衛生環境」の満足度	満足	326	14.1	21.5	18.7	25.2	27.6	26.4	8.6	31.0	27.3	5.8	17.2	20.2	5.2	3.4	4.6	0.9	
	まあ満足	1,572	14.2	19.5	21.9	19.2	27.4	28.5	13.3	28.3	25.1	4.3	21.1	18.3	5.9	3.1	3.6	1.6	
	やや不満	277	13.7	16.6	20.6	20.2	23.8	33.6	13.4	31.0	22.0	6.5	26.0	18.8	5.4	7.9	3.6	1.4	
	不満	60	16.7	15.0	15.0	13.3	21.7	30.0	11.7	28.3	15.0	10.0	33.3	23.3	5.0	10.0	0.0	3.3	
	わからない	341	8.5	15.8	17.9	18.8	25.8	27.0	10.3	30.8	19.1	5.9	23.2	20.8	7.3	3.5	5.0	1.2	

全体より10%以上

全体より5%以上

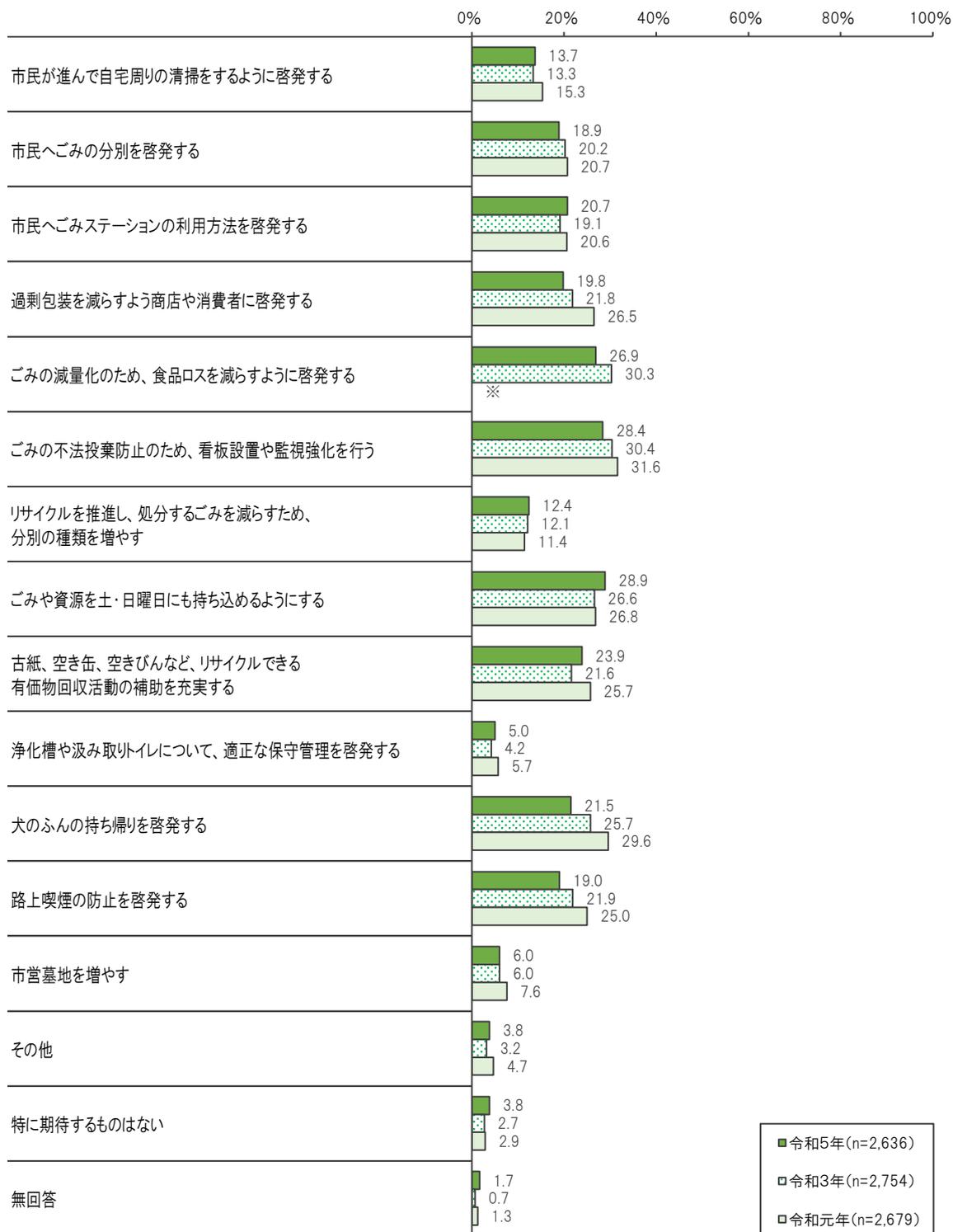
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする」「古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する」（いずれも2.3ポイント増）となっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「犬のふんの持ち帰りを啓発する」（4.2ポイント減）、「ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する」（3.4ポイント減）などとなっている。【図表 168】

図表 168 衛生環境の行政への期待（経年比較）



※調査項目に含まれず

## 6 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け

問8 あなたは、省エネや環境に負荷をかけないために、日ごろ生活の中でどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

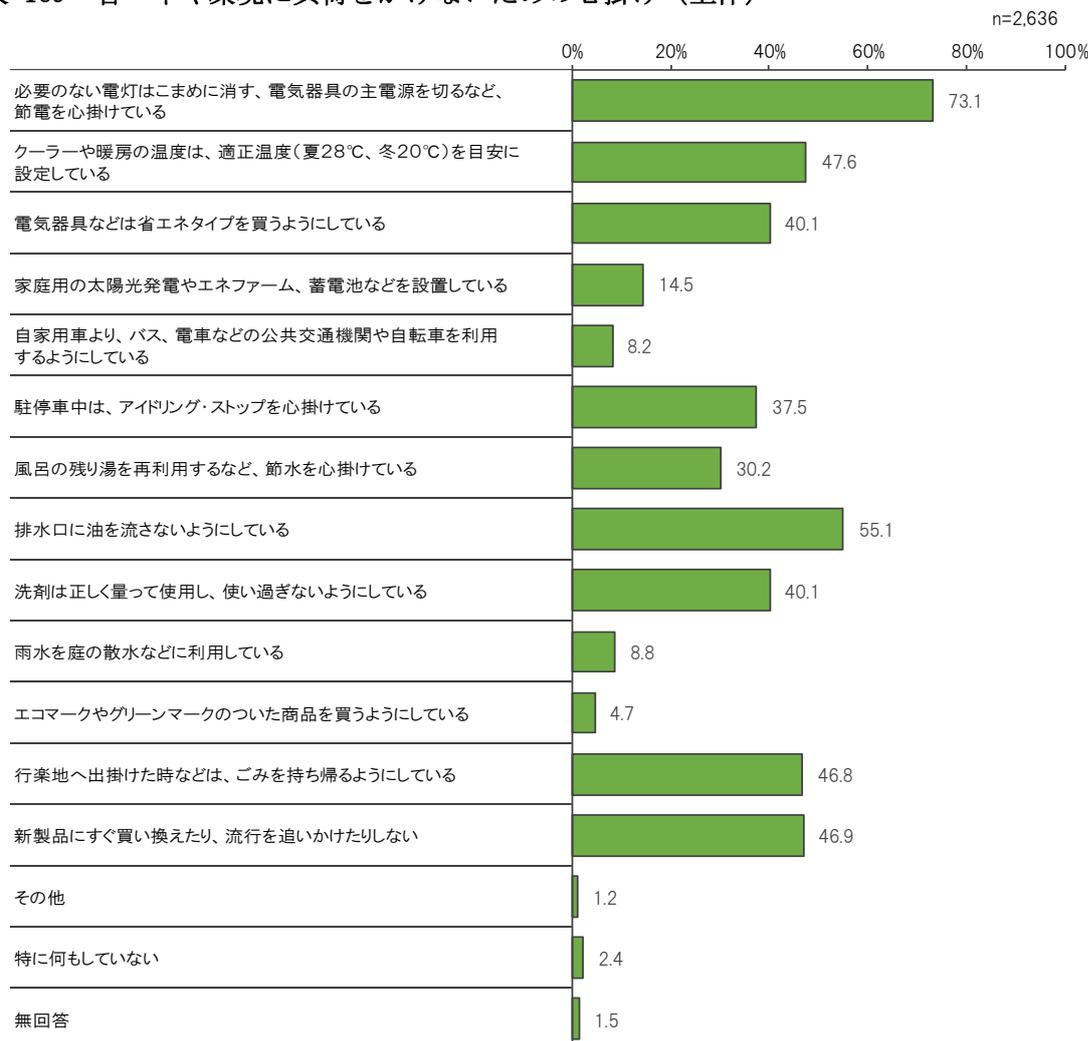
- ◆ 省エネや環境に負荷をかけないために日ごろ生活の中で心掛けていることは「必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている」が73.1%

省エネや環境に負荷をかけないために日ごろ生活の中で心掛けていることは、「必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている」(73.1%)が最も高く、次いで「排水口に油を流さないようにしている」(55.1%)、「クーラーや暖房の温度は、適正温度(夏28℃、冬20℃)を目安に設定している」(47.6%)の順となっている。【図表 169】

性別でみると、「女性」は多くの項目で「男性」を上回っており、特に「排水口に油を流さないようにしている」では「男性」(43.2%)と「女性」(64.6%)の差が20ポイント以上と大きくなっている。その他に「洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている」、「行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている」、「新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけたりしない」でも「男性」よりも「女性」の意識が高くなっている。【図表 170】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも割合が高い項目が多く、意識が高くなっている。特に「洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている」(53.8%)、「行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている」(61.6%)で、全体平均よりも10%以上割合が高くなっている。【図表 170】

図表 169 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け (全体)



図表 170 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体・性別・年齢別）

（％）

		件数	主電源を切るなど、節電を心掛けている	クーラーや暖房の温度は、適正温度（夏28℃、冬20℃）を目安に設定している	電気器具などは省エネタイプを買うようにしている	家庭用の太陽光発電やエネファーム、蓄電池などを設置している	自家用車より、バス、電車などの公共交通機関や自転車を利用するようにしている	駐停車中は、アイドリング・ストップを心掛けている	風呂の残り湯を再利用するなど、節水を心掛けている	排水口に油を流さないようにしている	洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている	雨水を庭の散水などに利用している	エコマークやグリーンマークのついた商品を買うようにしている	行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている	新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけたりしない	その他	特に何もしていない	無回答
全体		2,636	73.1	47.6	40.1	14.5	8.2	37.5	30.2	55.1	40.1	8.8	4.7	46.8	46.9	1.2	2.4	1.5
性別	男性	1,078	70.6	43.9	38.4	13.7	9.0	35.1	28.5	43.2	31.7	7.9	3.9	40.5	41.6	0.8	3.6	0.7
	女性	1,451	75.9	50.9	41.7	15.2	7.6	40.0	32.0	64.6	46.8	9.5	5.1	51.8	51.9	1.3	1.1	1.0
年齢別	10代(18・19歳)	35	68.6	40.0	31.4	25.7	31.4	14.3	40.0	40.0	31.4	8.6	2.9	40.0	51.4	0.0	2.9	0.0
	20代	227	69.6	42.7	21.1	10.6	14.1	33.5	24.2	44.1	30.0	6.2	2.6	37.0	40.1	0.0	6.2	0.9
	30代	308	73.1	44.5	32.1	24.0	8.1	30.5	21.4	51.0	33.4	4.9	2.6	42.2	46.8	1.3	3.2	0.6
	40代	456	74.1	42.1	41.7	25.2	7.0	31.1	25.4	53.5	32.2	5.7	2.2	37.7	46.7	1.3	2.4	0.7
	50代	509	75.6	44.8	44.8	11.0	6.9	39.5	32.2	53.6	37.1	6.7	3.5	41.5	46.0	1.2	2.0	0.8
	60代	484	71.1	52.1	47.3	11.0	6.8	42.8	33.7	58.1	45.0	8.3	7.6	52.9	46.9	0.8	1.0	1.0
	70歳以上	558	74.7	55.2	42.3	8.4	7.9	44.6	36.2	64.3	53.8	16.3	7.2	61.6	51.6	1.6	1.8	1.6

全体より10%以上

全体より5%以上

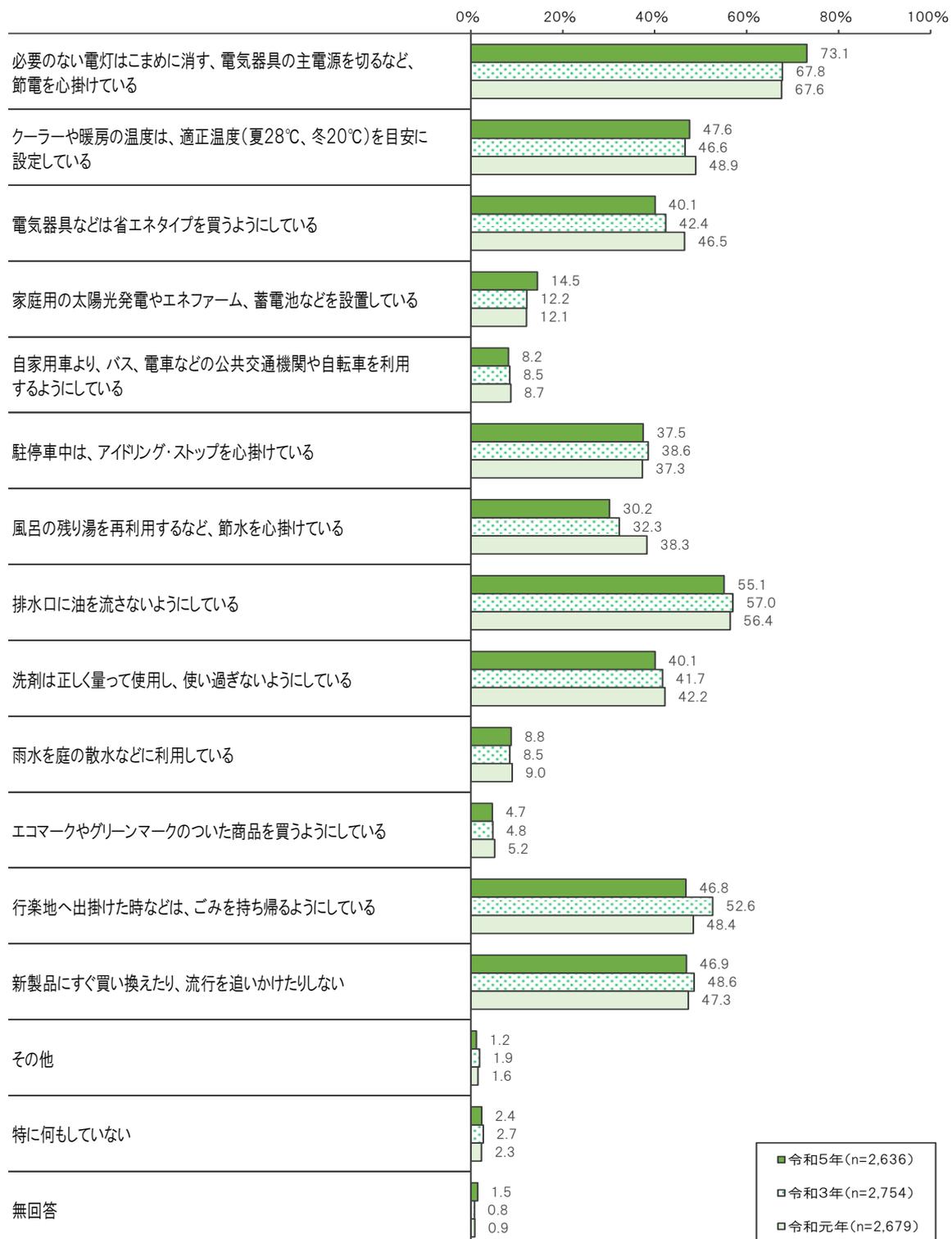
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている」(5.3ポイント増)、「家庭用の太陽光発電やエネファーム、蓄電池などを設置している」(2.3ポイント増) などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている」(5.8ポイント減)、「電気器具などは省エネタイプを買うようにしている」(2.3ポイント減) などとなっている。【図表 171】

図表 171 省エネや環境に負荷をかけないための心掛け (経年比較)



## 4 健康・福祉について

### 1 健康の維持・増進のための心掛け

問9 あなたは、健康維持や増進のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

#### ◆ 健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」が51.4%

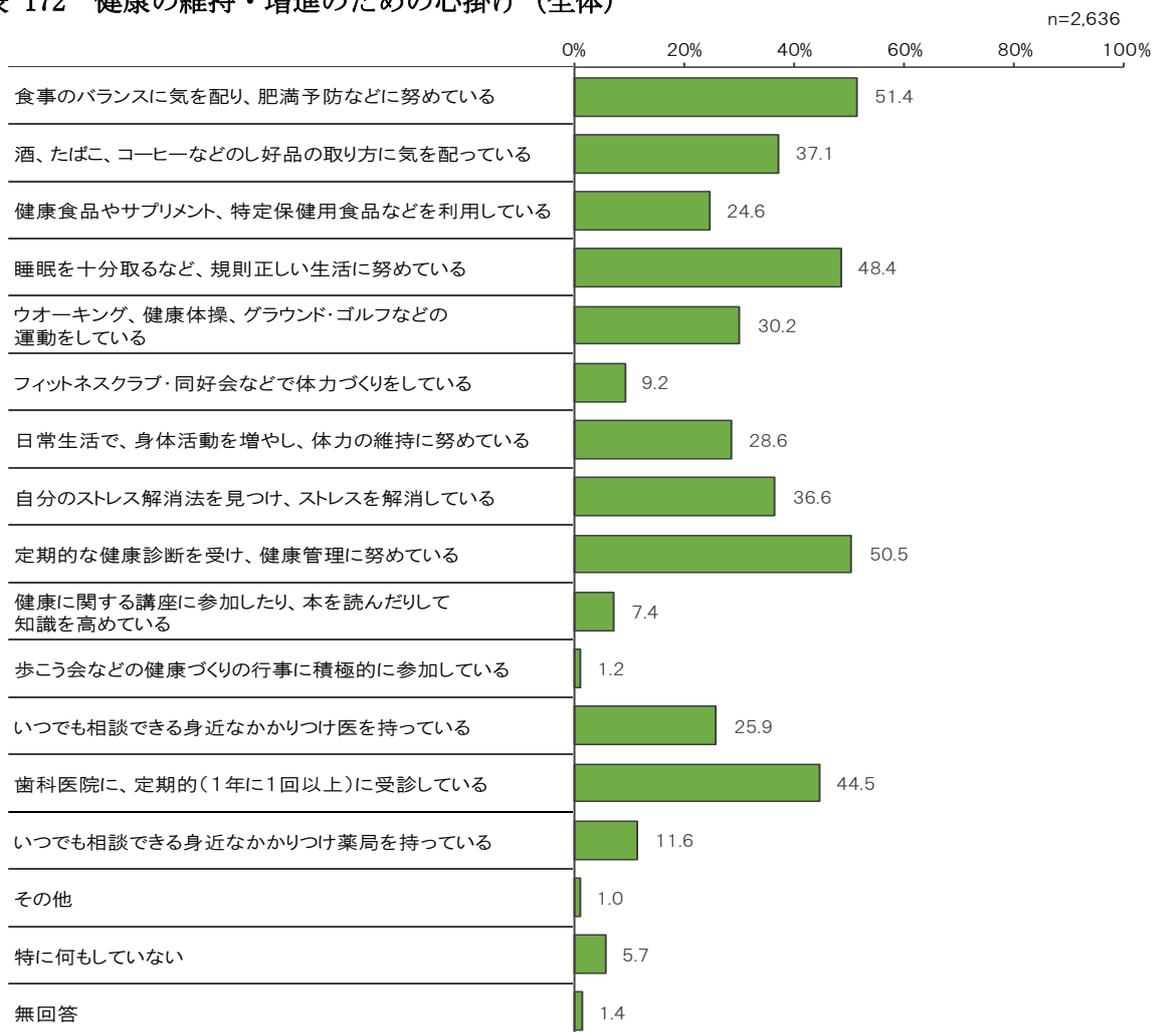
健康維持や増進のために日ごろから心掛けていることは、「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」(51.4%)が最も高く、次いで「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」(50.5%)、「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」(48.4%)の順となっている。【図表 172】

性別でみると、「歯科医院に、定期的(1年に1回以上)に受診している」では、「女性」(51.6%)が「男性」(35.3%)を16.3ポイント上回っている。【図表 173】

年齢別でみると、「70歳以上」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、健康への意識が高くなっている。【図表 173】

職業別でみると、全体平均と比較して「食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている」「酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている」「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」「フィットネスクラブ・同好会などで体力づくりをしている」などでは「自由業」の割合が全体平均と比較して10%以上高くなっている。【図表 173】

図表 172 健康の維持・増進のための心掛け (全体)



図表 173 健康の維持・増進のための心掛け（全体・性別・年齢・職業別）

		件数	食事 のバ ラン スに 気を 配り 、肥 満予 防な どに 努 め て い る	酒、 たば こ、 コー ヒー など のし 好品 の取 り方 に 気 を 配 っ て い る	健康 食品 やサ プリ メン ト、 特定 保健 用食 品な どを 利 用し て い る	睡眠 を十 分取 るな ど、 規則 正しい 生活 に努 めて い る	ウオ ーキ ング 、健 康体 操、 グラ ウン ド・ ゴル フな ど の運 動を して い る	フィ ット ネス クラ ブ・ 同好 会な どで 体力 づく りを して い る	日常 生活 で、 身体 活動 を増 やし 、体 力の 維持 に 努 め て い る	自分 のス トレ ス解 消法 を見 つけ 、ス トレ スを 解消 し て い る	定期 的な 健康 診断 を受 け、 健康 管理 に努 めて い る	健康 に関 する 講座 に参 加し たり 、本 を読 んだ りし て 知 識を 高め て い る	参加 して い る 歩 こう 会な どの 健康 づく りの 行事 に積 極的 に 参 加 し て い る	いつ でも 相談 でき る身 近な かり つけ 医を 持 っ て い る	歯科 医院 に、 定期 的（ 1年 に1 回以 上） に 受診 して い る	特 に何 もし て い な い	無 回 答		
全 体		2,636	51.4	37.1	24.6	48.4	30.2	9.2	28.6	36.6	50.5	7.4	1.2	25.9	44.5	11.6	1.0	5.7	1.4
性別	男性	1,078	46.4	36.2	20.6	46.9	34.7	8.3	28.6	33.0	49.3	4.6	1.7	24.2	35.3	9.4	1.2	7.6	0.7
	女性	1,451	55.8	38.3	28.0	50.4	27.3	9.9	29.3	40.0	52.2	9.1	0.8	27.2	51.6	13.3	0.9	4.0	0.9
年齢別	10代(18・19歳)	35	57.1	40.0	25.7	54.3	28.6	5.7	37.1	51.4	34.3	2.9	2.9	14.3	37.1	11.4	0.0	2.9	0.0
	20代	227	45.4	41.4	19.8	46.3	22.5	10.1	27.3	47.1	34.4	4.4	1.3	9.3	34.8	7.9	0.4	8.4	0.0
	30代	308	47.4	38.3	29.9	45.1	19.2	7.5	22.1	38.3	38.0	7.5	0.6	11.7	39.9	4.2	0.0	8.1	0.6
	40代	456	45.2	31.4	19.3	43.2	21.5	9.6	22.8	37.9	56.4	6.4	1.1	14.7	43.6	9.4	0.9	7.2	0.4
	50代	509	51.3	33.2	25.1	44.4	27.9	8.8	25.5	35.2	57.0	6.5	0.4	20.2	39.7	10.6	1.0	5.3	0.8
	60代	484	55.0	38.0	29.5	48.3	36.2	11.4	30.2	35.1	54.5	8.5	1.0	32.0	49.6	12.2	1.4	4.3	1.0
	70歳以上	558	58.4	42.7	24.4	60.6	43.4	8.6	39.2	33.5	51.6	9.1	2.2	50.5	52.5	19.4	1.6	3.8	1.6
職業別	事務系勤労者	412	49.8	32.5	25.2	43.0	30.8	10.9	21.8	36.7	55.6	6.1	0.7	15.8	43.2	8.7	0.7	5.1	0.2
	労働系勤労者	411	42.3	33.1	21.7	40.6	23.8	9.2	23.4	34.3	48.7	4.6	1.0	14.6	30.7	6.1	0.7	8.5	0.7
	管理職・会社経営	135	48.1	33.3	18.5	46.7	33.3	12.6	23.7	39.3	54.8	8.1	1.5	25.2	36.3	11.1	0.7	8.1	0.7
	商店・サービス業の個人経営	85	48.2	31.8	28.2	52.9	30.6	9.4	28.2	42.4	38.8	7.1	1.2	28.2	42.4	16.5	0.0	5.9	1.2
	自由業	27	66.7	51.9	33.3	66.7	37.0	25.9	33.3	44.4	48.1	18.5	0.0	11.1	40.7	7.4	7.4	7.4	0.0
	農林水産業	76	40.8	38.2	30.3	55.3	21.1	6.6	31.6	26.3	46.1	5.3	0.0	32.9	47.4	9.2	2.6	5.3	1.3
	主婦(夫)	329	62.6	43.8	28.6	54.1	33.7	7.9	33.7	38.0	48.0	10.0	2.1	37.7	52.6	17.9	0.3	3.6	1.5
	パートタイマー・アルバイト	482	51.2	39.2	27.2	47.9	23.9	8.7	31.1	42.1	57.5	8.7	0.0	23.4	51.7	10.6	0.6	4.8	0.6
	学生	69	49.3	40.6	20.3	44.9	26.1	5.8	37.7	44.9	27.5	2.9	0.0	17.4	36.2	8.7	0.0	7.2	0.0
	無職	397	56.9	39.0	22.4	56.7	42.1	9.1	33.8	31.2	45.8	8.3	2.0	42.3	50.1	18.1	1.5	5.3	1.5
	その他	135	52.6	41.5	26.7	54.8	28.1	8.9	29.6	40.7	59.3	6.7	3.0	23.7	43.7	8.1	1.5	5.9	0.7

全体より10%以上

全体より5%以上

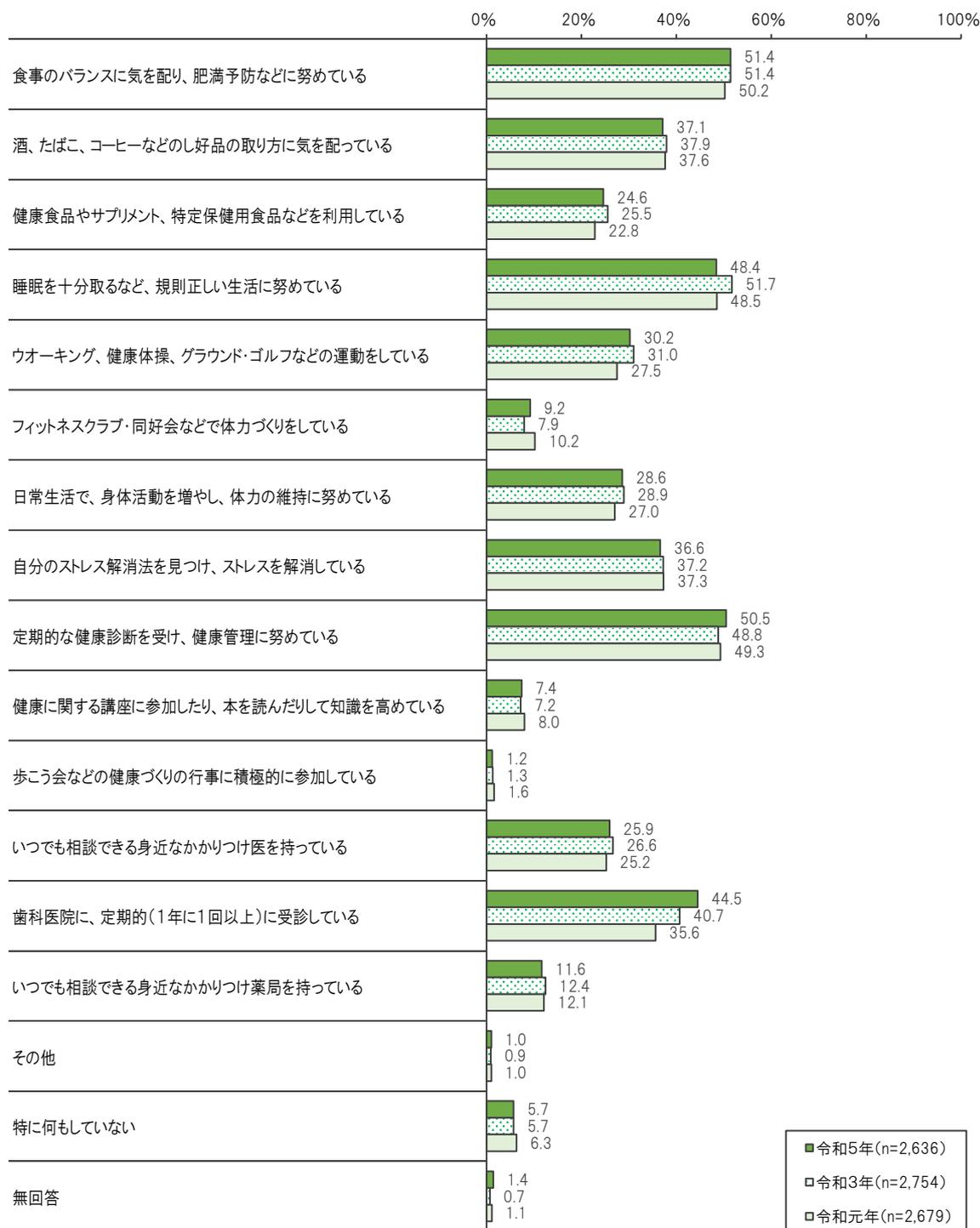
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している」（3.8ポイント増）、「定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている」（1.7ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている」（3.3ポイント減）などとなっている。【図表 174】

図表 174 健康の維持・増進のための心掛け（経年比較）



## 2 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと

問 10 あなたは、子どもを生み、育てる環境を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

### ◆ 子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは「子育てに掛かる費用負担を減らす」が51.1%

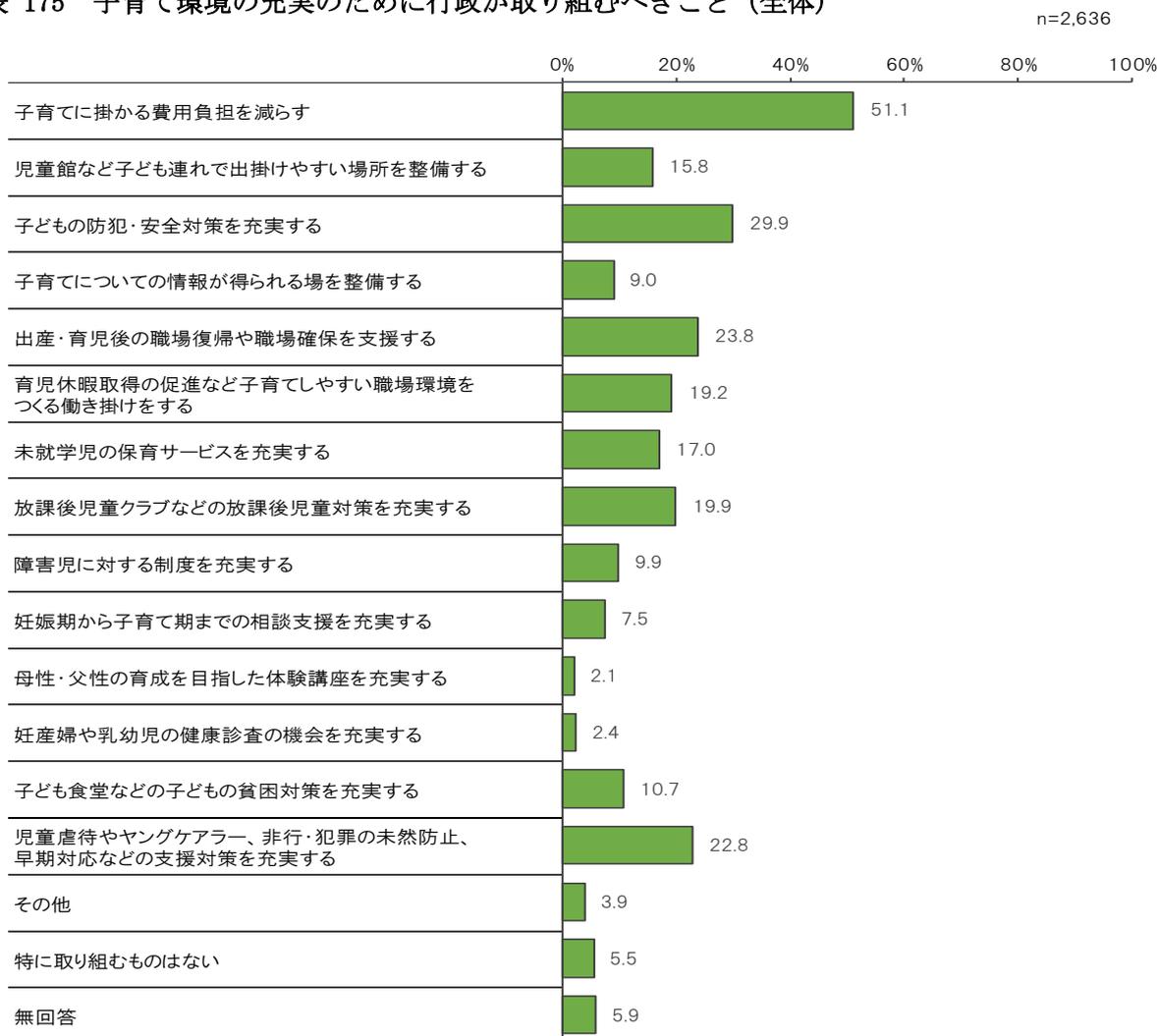
子どもを生み、育てる環境を充実させるために行政が取り組むべきことは、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(51.1%)が最も高く、次いで「子どもの防犯・安全対策を充実する」(29.9%)、「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」(23.8%)の順となっている。【図表 175】

性別でみると、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「男性」(57.8%)が「女性」(47.3%)を10ポイント以上上回っている。【図表 176】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育てに掛かる費用負担を減らす」では、「20代」(74.4%)、「30代」(69.8%)、「10代(18・19歳)」(68.6%)の割合が高くなっている。また「出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する」では「20代」(38.3%)、「10代(18・19歳)」(34.3%)の割合も高くなっている。【図表 176】

職業別でみると、全体平均と比較して「子育てに掛かる費用負担を減らす」では「学生」(66.7%)と「労働系勤労者」(61.6%)、「児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」では「自由業」(33.3%)の割合が高くなっている。【図表 176】

図表 175 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 176 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと

(全体・性別・年齢・職業・子どもを生子、育てる環境の満足度別)

		件数	子育てに掛かる費用負担を減らす	児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する	子どもの防犯・安全対策を充実する	子育てについての情報が得られる場を整備する	出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する	育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする	未就学児の保育サービスを充実する	放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する	障害児に対する制度を充実する	妊娠前から子育て期までの相談支援を充実する	母性・父性の育成を目指した体験講座を充実する	妊産婦や乳幼児の健康診査の機会を充実する	子ども食堂などの子どもの貧困対策を充実する	未然防止、早期対応などの支援対策を充実する	児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,636	51.1	15.8	29.9	9.0	23.8	19.2	17.0	19.9	9.9	7.5	2.1	2.4	10.7	22.8	3.9	5.5	5.9	
性別	男性	1,078	57.8	14.2	28.9	8.9	24.3	15.8	16.7	16.9	9.6	6.7	1.5	2.4	12.0	19.9	3.9	7.0	5.6	
	女性	1,451	47.3	17.0	31.2	9.2	23.6	21.6	17.5	22.6	10.4	8.3	2.7	2.4	9.6	25.2	3.9	4.1	5.1	
年齢別	10代(18・19歳)	35	68.6	14.3	28.6	2.9	34.3	22.9	14.3	17.1	11.4	11.4	2.9	0.0	5.7	31.4	2.9	0.0	2.9	
	20代	227	74.4	15.9	23.3	8.8	38.3	28.2	15.0	7.5	8.8	11.0	4.4	4.8	9.3	14.5	0.4	3.5	1.3	
	30代	308	69.8	22.7	32.8	8.1	23.4	19.8	22.4	21.1	4.9	8.1	2.3	1.9	8.8	13.0	6.8	5.2	2.3	
	40代	456	57.0	15.4	35.7	7.7	23.0	15.4	14.0	22.8	12.5	7.0	1.8	1.1	7.2	22.8	7.0	5.5	3.3	
	50代	509	49.1	13.6	29.5	7.9	21.0	18.7	16.3	19.3	10.6	7.7	1.0	2.9	14.1	25.3	3.9	5.9	4.7	
	60代	484	42.4	16.5	28.1	10.1	24.8	18.8	20.9	24.8	9.5	7.0	2.9	2.7	12.8	26.0	2.7	5.4	4.5	
	70歳以上	558	36.6	14.5	28.9	10.8	19.7	18.6	15.2	18.6	11.1	6.5	1.8	2.3	10.6	26.5	2.3	7.0	12.0	
職業別	事務系勤労者	412	60.4	17.2	30.3	4.9	24.0	20.1	20.4	24.8	8.7	8.5	1.7	1.5	9.5	18.2	3.6	4.1	1.5	
	労働系勤労者	411	61.6	16.1	30.2	7.5	25.8	20.7	16.1	16.5	6.8	8.0	2.2	1.9	11.7	16.5	3.4	6.1	3.4	
	管理職・会社経営	135	56.3	15.6	22.2	8.9	26.7	14.8	19.3	21.5	12.6	3.7	0.7	3.0	11.1	23.7	5.2	7.4	4.4	
	商店・サービス業の個人経営	85	52.9	21.2	31.8	7.1	15.3	10.6	15.3	21.2	9.4	4.7	3.5	1.2	12.9	22.4	9.4	4.7	7.1	
	自由業	27	44.4	7.4	22.2	18.5	48.1	22.2	18.5	29.6	3.7	3.7	0.0	0.0	18.5	33.3	3.7	3.7	0.0	
	農林水産業	76	50.0	13.2	28.9	9.2	23.7	25.0	22.4	17.1	14.5	5.3	1.3	0.0	15.8	26.3	1.3	1.3	5.3	
	主婦(夫)	329	41.3	16.7	36.5	10.3	19.5	18.2	17.9	17.6	11.6	6.7	2.4	3.0	9.4	30.1	4.0	6.4	7.3	
	パートタイマー・アルバイト	482	50.6	16.8	30.9	10.4	24.9	18.9	17.4	23.9	10.4	8.7	2.3	3.5	10.4	26.1	4.1	3.1	4.4	
	学生	69	66.7	8.7	26.1	8.7	36.2	26.1	8.7	10.1	11.6	13.0	4.3	2.9	10.1	30.4	1.4	1.4	4.3	
	無職	397	37.5	12.6	28.0	10.3	20.7	19.4	14.6	17.6	10.8	7.3	1.5	3.0	10.6	24.2	2.5	9.3	11.3	
	その他	135	53.3	20.0	26.7	11.9	26.7	16.3	17.0	18.5	10.4	6.7	4.4	1.5	10.4	16.3	6.7	5.9	5.9	
「子どもを生子、育てる環境」の満足度	満足	458	59.4	17.7	35.2	6.8	28.4	20.7	16.6	17.5	9.8	8.7	3.3	3.9	9.8	22.3	3.3	3.5	1.7	
	まあ満足	1,012	50.8	16.5	31.2	10.8	23.3	18.9	17.8	22.2	10.7	6.5	1.6	2.4	9.5	25.4	3.0	3.9	5.8	
	やや不満	372	54.0	18.8	30.9	10.2	25.3	22.3	16.1	23.4	9.7	7.5	2.2	3.0	9.1	20.4	6.2	2.2	5.6	
	不満	140	64.3	17.9	21.4	5.0	26.4	10.7	26.4	23.6	9.3	9.3	2.9	1.4	15.0	18.6	10.0	2.9	5.7	
	わからない	589	42.4	11.7	26.1	8.0	21.4	19.4	14.9	15.3	9.2	8.1	1.7	1.4	12.4	21.7	2.7	12.6	7.3	

全体より10%以上

全体より5%以上

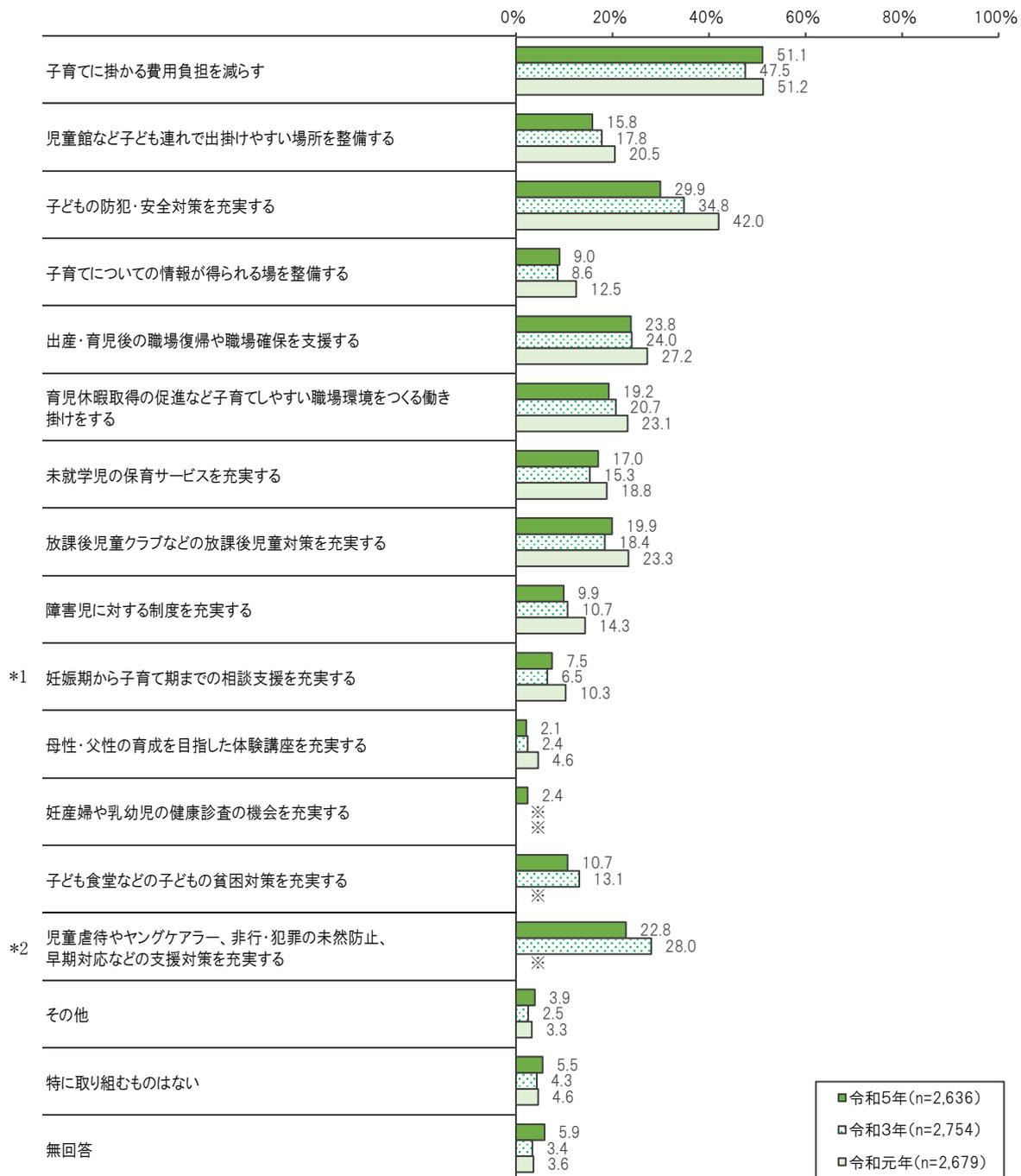
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「子育てに掛かる費用負担を減らす」(3.6ポイント増)、などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」(5.2ポイント減)、「子どもの防犯・安全対策を充実する」(4.9ポイント減)などとなっている。【図表 177】

図表 177 子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



※調査項目に含まれず

- \*1 「妊娠期から子育て期までの相談支援を充実する」は、前回まで「妊娠期からの子育て支援相談を充実する」と表記。  
 \*2 「児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」は、前は「児童虐待や非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する」と表記。

## 5 建設・整備について

### 1 公共交通機関の利便性の行政への期待

問 11 あなたは、公共交通機関（電車・バス）の利便性を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ **公共交通機関の利便性向上のために行政に期待することは「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」が33.1%**

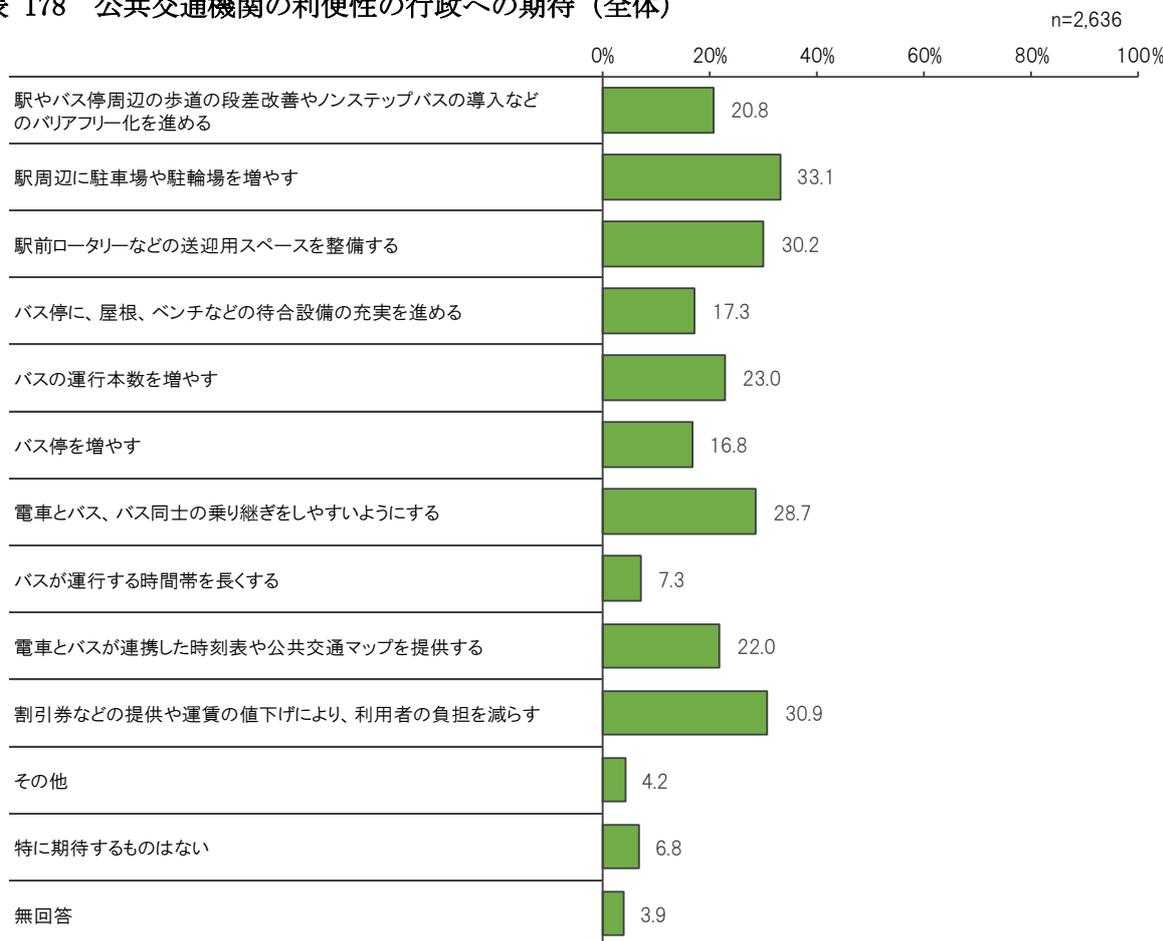
公共交通機関の利便性を向上させるために行政に期待することは、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」（33.1%）が最も高く、次いで「割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす」（30.9%）、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」（30.2%）の順となっている。【図表 178】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」では、「10代（18・19歳）」（51.4%）の割合が高くなっており、「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では「20代」（40.5%）の割合が高くなっている。【図表 179】

通勤・通学先別でみると、全体平均と比較して「バスの運行本数を増やす」では「名古屋市」の割合が10%以上高く、「バス停に、屋根、ベンチなどの待合設備の充実を進める」などでは「田原市」の割合が10%以上高くなっている。【図表 179】

居住小学校区別でみると、全体平均と比較して、「バスの運行本数を増やす」では「千両小学校区」（51.7%）、「萩小学校区」（47.6%）、「平尾小学校区」（41.4%）の割合が高く「駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす」では「平尾小学校区」（44.8%）、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」では「国府小学校区」（44.3%）、「豊小学校区」（42.7%）の割合が高くなっている。【図表 179】

図表 178 公共交通機関の利便性の行政への期待（全体）



図表 179 公共交通機関の利便性の行政への期待

(全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別)

		(%)														
件数		駅やバス停周辺の歩道の段差改善やアフリケーションを進める	駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす	駅前ロータリーなどの送迎スペースを整備する	設備の充実を進める	バス停に、屋根、ベンチなどの待合	バスの運行本数を増やす	バス停を増やす	バス停を増やす	電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする	バスが運行する時間帯を長くする	電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する	割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす	その他	特に期待するものはない	無回答
全 体		2,636	20.8	33.1	30.2	17.3	23.0	16.8	28.7	7.3	22.0	30.9	4.2	6.8	3.9	
年齢別	10代(18・19歳)	35	17.1	34.3	51.4	17.1	25.7	11.4	45.7	5.7	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	
	20代	227	20.3	40.5	31.3	17.6	18.9	15.0	30.4	7.5	18.9	34.4	3.1	6.6	0.4	
	30代	308	23.7	33.1	32.1	16.6	20.1	15.9	26.3	8.4	21.1	31.8	4.9	8.8	1.3	
	40代	456	15.8	35.3	36.2	13.4	23.5	20.0	29.2	9.2	20.6	30.7	4.4	5.5	2.4	
	50代	509	19.4	31.6	32.6	14.1	25.3	17.3	29.9	8.6	21.8	33.0	5.3	5.7	2.2	
	60代	484	25.8	34.9	27.1	17.8	21.7	16.1	30.8	4.8	25.0	32.0	2.5	7.9	2.7	
	70歳以上	558	21.0	29.0	24.7	23.7	26.0	17.2	26.2	6.8	22.8	27.2	5.4	7.2	8.1	
通勤・通学先	通勤・通学していない	531	24.5	32.4	30.1	18.8	26.7	15.4	27.7	6.4	21.7	30.3	4.5	5.5	4.1	
	豊川市内	1,161	19.6	33.9	31.0	17.8	21.0	17.5	29.9	6.6	22.1	31.8	3.8	7.4	3.1	
	豊橋市	258	16.3	38.0	34.1	12.8	24.4	19.8	28.7	9.3	20.9	33.7	3.1	6.6	0.8	
	蒲郡市	29	20.7	27.6	34.5	3.4	31.0	20.7	24.1	10.3	27.6	20.7	13.8	3.4	3.4	
	新城市	64	21.9	31.3	26.6	20.3	23.4	10.9	32.8	4.7	28.1	40.6	1.6	4.7	0.0	
	田原市	25	16.0	40.0	28.0	28.0	24.0	12.0	36.0	8.0	28.0	28.0	0.0	0.0	0.0	
	岡崎市	71	15.5	39.4	35.2	11.3	22.5	19.7	33.8	8.5	14.1	25.4	2.8	12.7	1.4	
	名古屋市	82	19.5	28.0	34.1	14.6	35.4	17.1	31.7	14.6	22.0	26.8	3.7	3.7	1.2	
	上記以外の愛知県	95	26.3	30.5	31.6	12.6	20.0	15.8	33.7	6.3	22.1	30.5	8.4	7.4	0.0	
県外	54	18.5	33.3	31.5	18.5	24.1	18.5	33.3	13.0	22.2	38.9	3.7	5.6	1.9		
居住小学校区別	豊川小学校区	114	18.4	21.9	30.7	18.4	23.7	11.4	28.1	12.3	21.1	29.8	2.6	7.9	7.0	
	桜木小学校区	92	29.3	33.7	33.7	22.8	23.9	16.3	27.2	7.6	20.7	31.5	3.3	5.4	2.2	
	豊小学校区	117	24.8	36.8	42.7	15.4	20.5	14.5	22.2	3.4	20.5	34.2	2.6	8.5	1.7	
	東部小学校区	115	16.5	30.4	39.1	17.4	20.0	19.1	27.0	5.2	22.6	29.6	4.3	8.7	4.3	
	金屋小学校区	72	15.3	25.0	34.7	15.3	16.7	15.3	30.6	4.2	31.9	30.6	2.8	4.2	2.8	
	三蔵子小学校区	145	13.1	29.7	31.0	18.6	28.3	20.7	28.3	9.7	18.6	41.4	2.8	6.2	2.8	
	桜町小学校区	79	12.7	36.7	13.9	16.5	35.4	21.5	32.9	5.1	30.4	26.6	3.8	5.1	5.1	
	代田小学校区	106	17.9	36.8	26.4	15.1	19.8	17.9	32.1	9.4	24.5	32.1	6.6	5.7	3.8	
	中部小学校区	169	24.3	30.8	19.5	22.5	25.4	14.8	29.6	8.3	19.5	32.0	3.0	9.5	2.4	
	牛久保小学校区	108	25.9	37.0	32.4	20.4	14.8	15.7	27.8	3.7	25.9	30.6	5.6	5.6	1.9	
	天王小学校区	50	28.0	28.0	16.0	20.0	16.0	30.0	24.0	2.0	18.0	40.0	4.0	8.0	4.0	
	国府小学校区	183	27.9	38.3	44.3	13.7	16.9	13.1	31.7	7.1	21.9	23.0	4.9	5.5	3.3	
	御油小学校区	134	20.9	37.3	35.8	14.2	20.9	21.6	35.1	8.2	22.4	38.8	3.7	3.7	0.7	
	千両小学校区	29	10.3	31.0	20.7	13.8	51.7	31.0	24.1	13.8	13.8	27.6	10.3	10.3	0.0	
	八南小学校区	146	20.5	31.5	32.2	24.7	19.9	13.0	31.5	8.2	21.2	32.2	4.1	4.1	3.4	
	平尾小学校区	58	17.2	44.8	39.7	10.3	41.4	19.0	17.2	12.1	15.5	22.4	3.4	6.9	1.7	
	一宮東部小学校区	74	14.9	28.4	16.2	23.0	16.2	9.5	40.5	6.8	24.3	31.1	4.1	12.2	4.1	
	一宮西部小学校区	118	20.3	35.6	33.1	14.4	26.3	14.4	25.4	6.8	28.8	27.1	5.1	5.1	4.2	
	一宮南部小学校区	34	8.8	29.4	14.7	11.8	20.6	29.4	26.5	2.9	17.6	41.2	8.8	5.9	8.8	
	赤坂小学校区	56	25.0	30.4	30.4	12.5	28.6	8.9	28.6	7.1	25.0	30.4	3.6	8.9	3.6	
	長沢小学校区	37	24.3	18.9	16.2	8.1	35.1	10.8	37.8	18.9	13.5	24.3	10.8	8.1	0.0	
	萩小学校区	21	9.5	33.3	38.1	23.8	47.6	19.0	33.3	4.8	33.3	14.3	0.0	4.8	4.8	
	御津南部小学校区	130	24.6	35.4	40.8	8.5	22.3	16.2	31.5	6.2	22.3	23.8	6.2	7.7	2.3	
御津北部小学校区	49	10.2	40.8	28.6	24.5	26.5	14.3	22.4	8.2	24.5	38.8	0.0	8.2	2.0		
小坂井東小学校区	134	17.9	30.6	20.9	15.7	22.4	20.1	33.6	6.7	17.9	31.3	3.0	11.2	4.5		
小坂井西小学校区	163	28.2	39.3	25.8	18.4	24.5	24.5	22.1	9.2	21.5	33.7	5.5	4.3	2.5		
「公共交通機関の利便性」の満足度	満足	386	23.3	39.9	36.0	16.8	16.3	16.3	30.6	8.5	18.1	32.1	3.6	6.7	1.3	
	まあ満足	1,002	21.6	32.6	32.7	18.4	18.3	12.5	27.7	5.4	24.2	32.1	3.2	6.8	3.1	
	やや不満	597	21.4	34.3	32.2	17.6	29.6	21.9	29.8	7.2	22.8	30.0	4.4	4.9	2.8	
	不満	364	13.2	27.7	21.4	15.1	39.0	27.2	29.9	12.4	21.7	32.7	7.7	3.6	5.2	
	わからない	227	22.5	29.5	18.5	17.2	14.5	8.8	26.0	7.0	16.3	24.7	3.5	17.2	8.8	

全体より10%以上

全体より5%以上

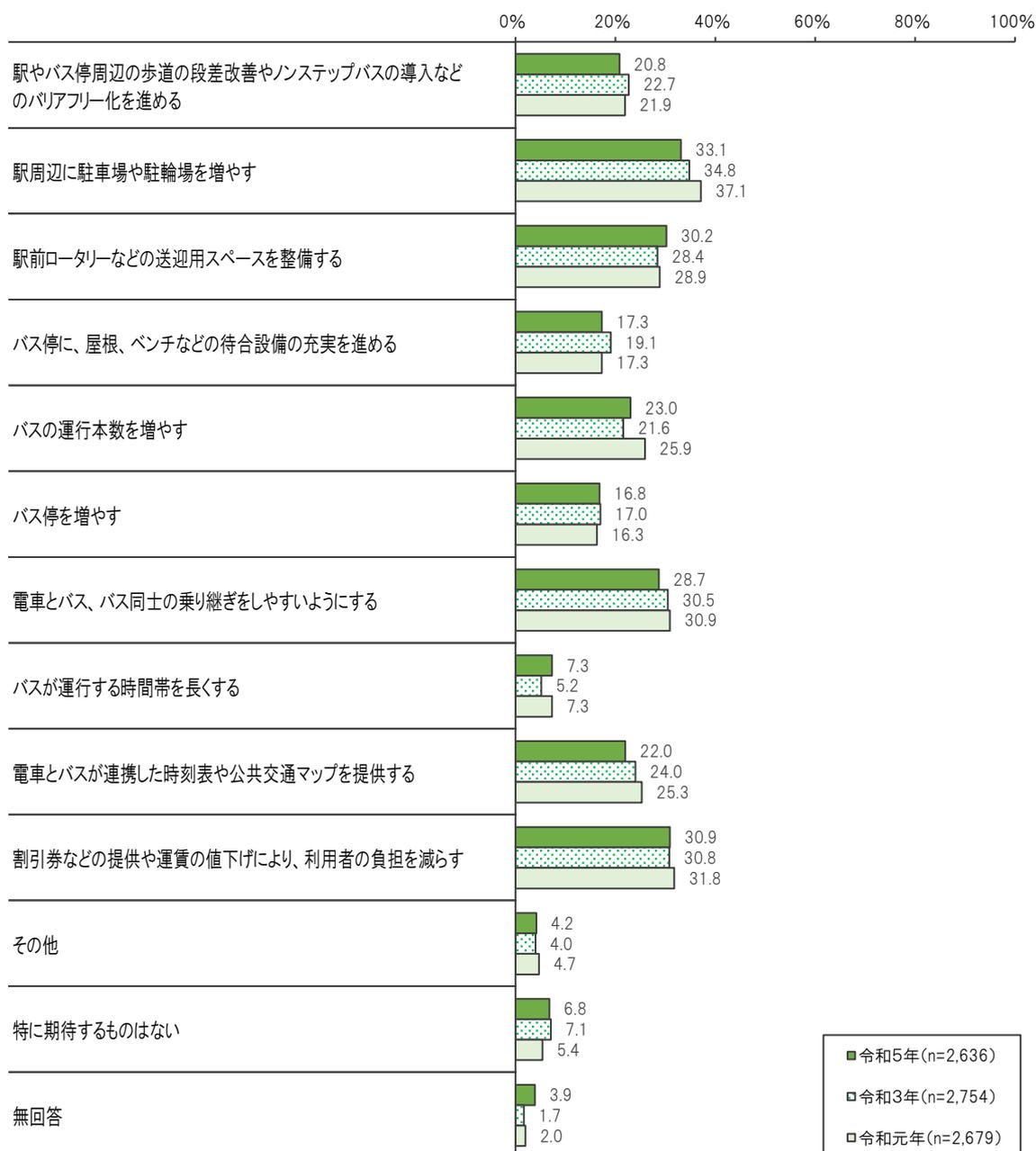
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「バスが運行する時間帯を長くする」(2.1ポイント増)、「駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する」(1.8ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する」(2.0ポイント減)などとなっている。【図表 180】

図表 180 公共交通機関の利便性の行政への期待 (経年比較)



## 2 道路の整備の行政への期待

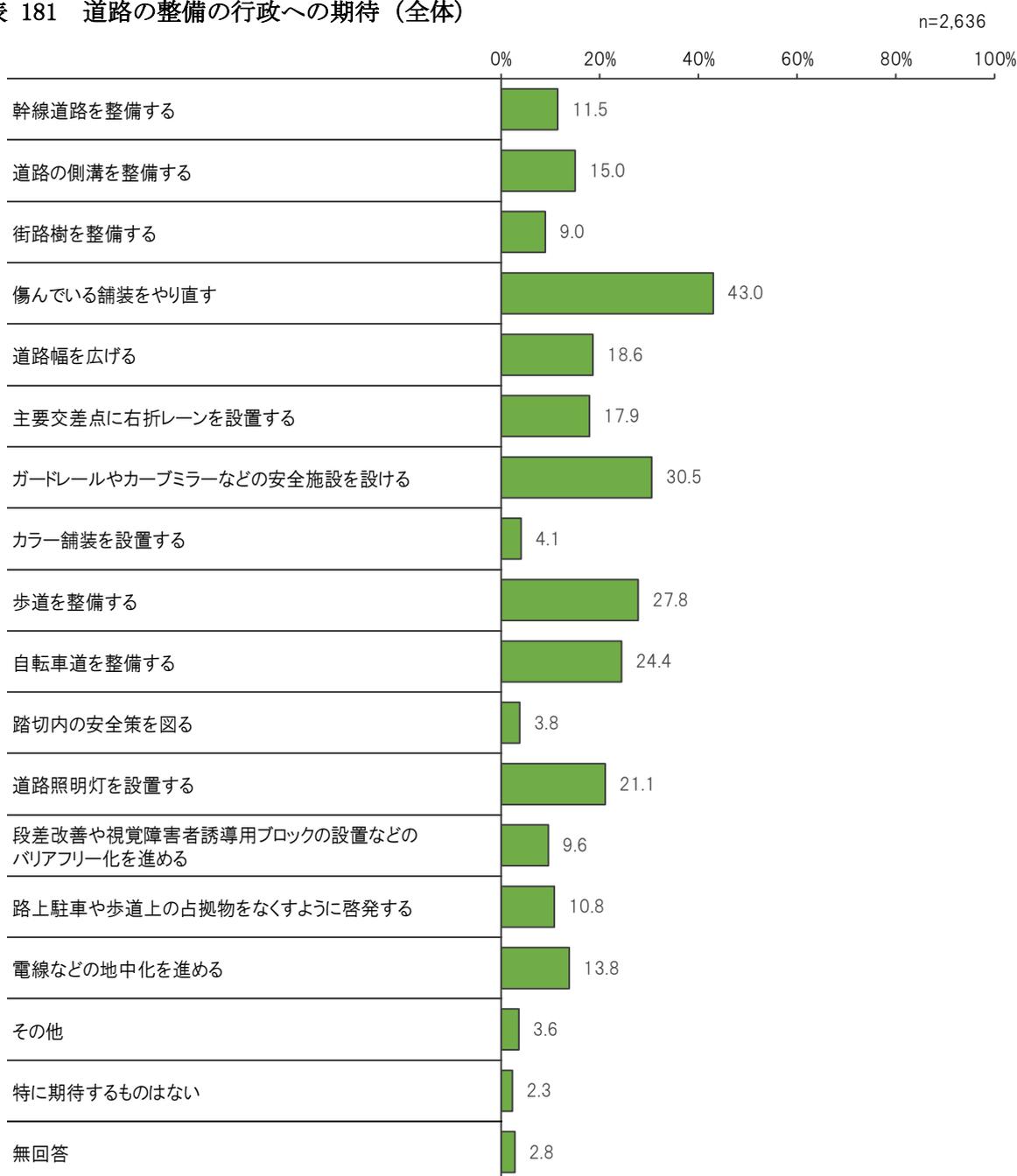
問 12 あなたは、道路の整備について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

### ◆ 道路の整備について行政に期待することは「傷んでいる舗装をやり直す」が43.0%、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」が30.5%

道路の整備について行政に期待することは、「傷んでいる舗装をやり直す」(43.0%)が最も高く、次いで「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」(30.5%)、「歩道を整備する」(27.8%)となっている。【図表 181】

小学校区別で見ると、全体平均と比較して、「傷んでいる舗装をやり直す」では「千両小学校区」(65.5%)、「長沢小学校区」(62.2%)、「萩小学校区」(57.1%)、「桜木小学校区」(54.3%)の割合が高く、「歩道を整備する」では、「天王小学校区」(42.0%)、「千両小学校区」(41.4%)、「一宮南部小学校区」(41.2%)の割合が高くなっている。【図表 182】

図表 181 道路の整備の行政への期待 (全体)



図表 182 道路の整備の行政への期待

(全体・小学校区・道路の整備状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別)

(%)

	件数	幹線道路を整備する	道路の側溝を整備する	街路樹を整備する	傷んでいる舗装をやり直す	道路幅を広げる	主要交差点に右折レーンを設置する	安全施設を設ける	ガードレールやカーブミラーなどの	カラー舗装を設置する	歩道を整備する	自転車道を整備する	踏切内の安全策を図る	道路照明灯を設置する	段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める	路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する	電線などの地中化を進める	その他	特に期待するものはない	無回答
全体	2,636	11.5	15.0	9.0	43.0	18.6	17.9	30.5	4.1	27.8	24.4	3.8	21.1	9.6	10.8	13.8	3.6	2.3	2.8	
居住 小学校区別	豊川小学校区	114	14.0	13.2	9.6	37.7	13.2	16.7	28.9	4.4	23.7	27.2	5.3	19.3	7.9	15.8	17.5	2.6	2.6	2.6
	桜木小学校区	92	10.9	6.5	13.0	54.3	17.4	15.2	38.0	4.3	19.6	27.2	3.3	16.3	16.3	13.0	10.9	1.1	3.3	2.2
	豊小学校区	117	12.0	9.4	10.3	34.2	10.3	12.8	33.3	5.1	34.2	29.1	3.4	29.1	8.5	14.5	13.7	5.1	2.6	0.9
	東部小学校区	115	16.5	22.6	7.0	40.0	14.8	11.3	31.3	2.6	27.0	29.6	2.6	20.9	12.2	13.0	9.6	4.3	0.9	2.6
	金屋小学校区	72	9.7	12.5	11.1	40.3	11.1	23.6	26.4	0.0	27.8	22.2	2.8	22.2	12.5	8.3	11.1	8.3	5.6	1.4
	三蔵子小学校区	145	9.0	17.9	9.7	44.8	19.3	22.8	37.9	2.8	26.2	26.2	2.1	24.8	6.9	4.8	13.8	2.1	1.4	1.4
	桜町小学校区	79	11.4	7.6	6.3	31.6	19.0	16.5	36.7	2.5	25.3	27.8	1.3	25.3	8.9	8.9	16.5	3.8	5.1	2.5
	代田小学校区	106	12.3	9.4	10.4	43.4	14.2	20.8	27.4	7.5	27.4	27.4	0.9	17.0	12.3	13.2	12.3	2.8	3.8	5.7
	中部小学校区	169	8.3	11.2	13.6	44.4	10.1	17.8	28.4	4.7	28.4	30.2	1.2	24.3	16.0	10.7	14.8	2.4	4.1	2.4
	牛久保小学校区	108	9.3	16.7	13.9	39.8	19.4	18.5	22.2	4.6	35.2	25.9	0.0	12.0	15.7	13.0	18.5	4.6	1.9	1.9
	天王小学校区	50	4.0	18.0	6.0	40.0	16.0	10.0	38.0	4.0	42.0	32.0	4.0	10.0	14.0	10.0	14.0	0.0	2.0	4.0
	国府小学校区	183	7.7	14.2	3.8	45.4	23.0	24.6	31.1	4.4	32.2	19.1	3.3	20.2	7.7	8.2	16.9	4.9	2.2	2.7
	御油小学校区	134	14.2	10.4	7.5	45.5	21.6	26.1	27.6	2.2	19.4	25.4	3.0	23.1	10.4	16.4	12.7	4.5	2.2	1.5
	千両小学校区	29	10.3	6.9	3.4	65.5	10.3	17.2	37.9	3.4	41.4	34.5	0.0	24.1	6.9	10.3	17.2	0.0	0.0	0.0
	八南小学校区	146	8.9	14.4	6.2	39.7	17.1	14.4	34.2	6.8	29.5	29.5	3.4	22.6	9.6	11.6	13.0	3.4	1.4	3.4
	平尾小学校区	58	13.8	20.7	5.2	51.7	20.7	15.5	32.8	3.4	31.0	22.4	3.4	24.1	10.3	10.3	12.1	0.0	0.0	1.7
	一宮東部小学校区	74	10.8	18.9	20.3	39.2	25.7	17.6	28.4	4.1	20.3	20.3	2.7	16.2	6.8	13.5	17.6	4.1	1.4	2.7
	一宮西部小学校区	118	12.7	22.0	11.0	47.5	14.4	16.9	32.2	5.1	30.5	18.6	0.8	21.2	9.3	10.2	12.7	3.4	0.8	1.7
	一宮南部小学校区	34	14.7	20.6	0.0	50.0	8.8	17.6	35.3	2.9	41.2	23.5	2.9	14.7	0.0	11.8	8.8	5.9	0.0	2.9
	赤坂小学校区	56	21.4	10.7	16.1	42.9	12.5	16.1	26.8	8.9	21.4	17.9	3.6	19.6	3.6	23.2	14.3	7.1	1.8	1.8
長沢小学校区	37	16.2	8.1	10.8	62.2	16.2	16.2	24.3	0.0	24.3	21.6	2.7	21.6	2.7	2.7	10.8	10.8	0.0	0.0	
萩小学校区	21	9.5	14.3	0.0	57.1	14.3	33.3	23.8	4.8	33.3	33.3	4.8	23.8	14.3	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	
御津南部小学校区	130	12.3	23.1	6.9	47.7	25.4	13.1	31.5	5.4	25.4	18.5	6.2	26.2	6.9	5.4	12.3	0.8	3.1	1.5	
御津北部小学校区	49	18.4	16.3	10.2	42.9	26.5	20.4	26.5	4.1	26.5	26.5	0.0	30.6	4.1	8.2	12.2	6.1	0.0	2.0	
小坂井東小学校区	134	11.2	17.2	5.2	47.8	23.9	14.9	32.1	2.2	26.9	18.7	3.7	22.4	7.5	12.7	14.9	5.2	2.2	3.0	
小坂井西小学校区	163	12.9	18.4	8.0	38.0	33.7	17.2	28.8	0.6	31.3	17.8	18.4	19.0	6.7	6.1	13.5	2.5	1.8	1.8	
「道路の 整備状況」 の満足度	満足	339	13.0	13.0	8.6	38.9	21.2	18.3	31.3	3.8	27.7	25.7	2.7	23.0	7.4	11.5	14.5	3.2	3.2	0.9
	まあ満足	1,142	10.2	14.4	9.0	41.1	17.5	18.3	32.8	4.7	28.2	26.4	3.2	20.8	9.5	11.1	13.6	2.5	2.5	2.1
	やや不満	663	11.6	14.6	10.1	49.0	18.4	20.1	28.7	3.8	28.4	24.0	3.9	21.3	10.9	9.7	16.0	4.1	0.8	3.0
	不満	281	14.9	16.7	7.5	47.7	26.3	14.6	28.1	3.6	29.2	19.2	5.0	20.6	6.8	11.4	12.5	8.2	0.7	4.3
	わからない	147	10.9	17.0	6.8	36.1	11.6	14.3	27.9	2.7	23.1	25.2	8.2	19.7	10.9	10.2	8.8	2.0	8.8	2.7
「歩行者に とっての道路 の安全性」 の満足度	満足	69	10.1	17.4	5.8	36.2	14.5	11.6	34.8	7.2	20.3	20.3	4.3	29.0	13.0	7.2	4.3	2.9	4.3	2.9
	まあ満足	898	12.9	14.3	10.0	43.0	16.0	18.5	30.6	4.3	23.3	21.5	2.7	22.5	9.2	11.4	13.9	2.2	2.9	2.3
	やや不満	1,013	11.2	15.2	8.7	44.9	20.6	19.2	31.4	3.5	30.2	26.9	3.8	23.1	10.6	9.8	13.5	4.3	0.9	1.8
	不満	407	8.8	14.7	7.9	39.6	21.4	16.7	27.0	3.9	37.8	28.3	6.1	17.4	7.4	10.3	17.0	5.2	0.7	5.2
	わからない	188	12.8	15.4	7.4	44.7	18.6	17.6	35.1	5.9	20.2	21.3	3.2	10.6	8.0	14.4	12.8	1.6	8.0	0.5

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

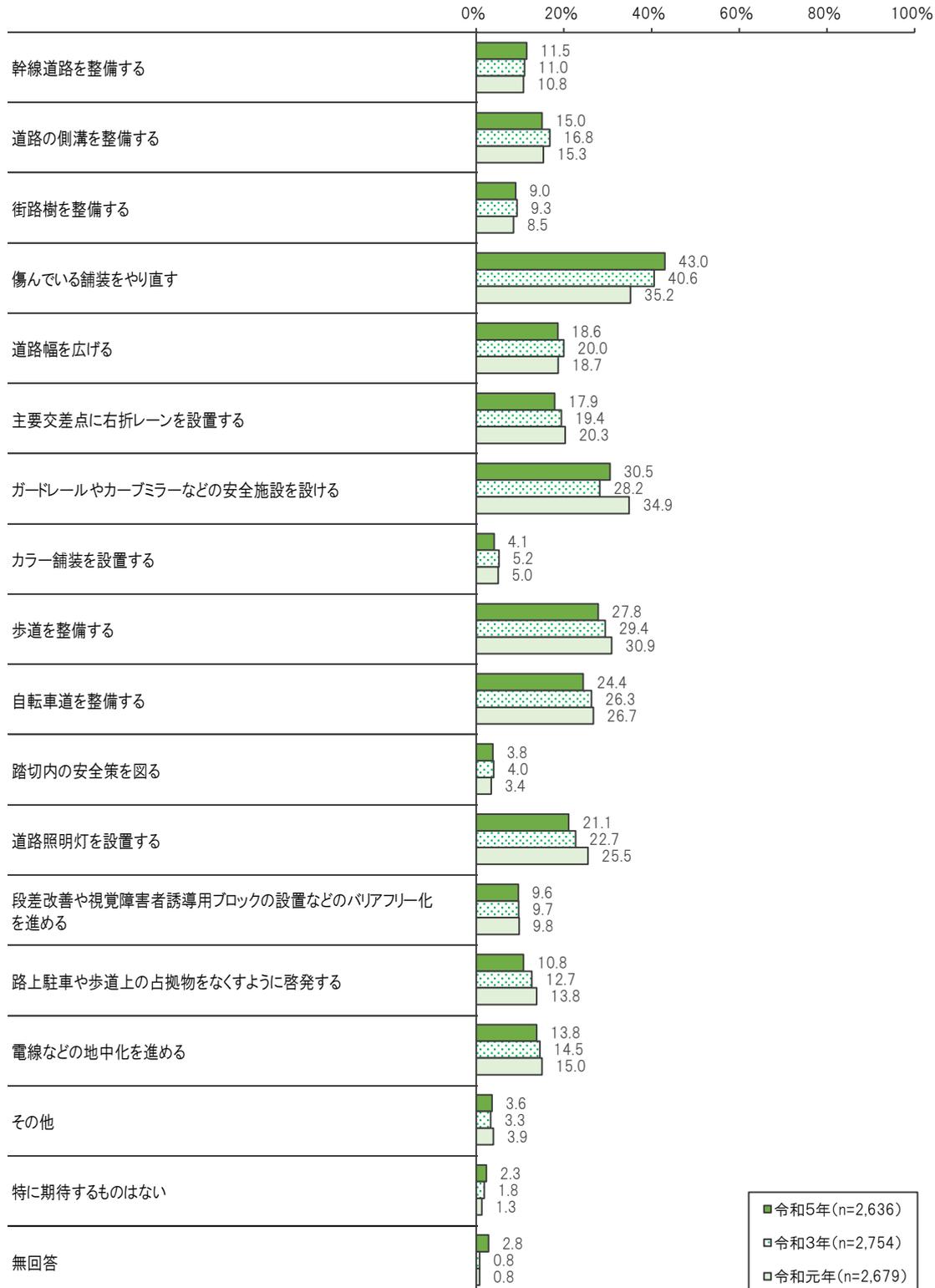
全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「傷んでいる舗装をやり直す」(2.4ポイント増)、「ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける」(2.3ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「自転車道を整備する」「路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する」(いずれも1.9ポイント減)などとなっている。

【図表 183】

図表 183 道路の整備の行政への期待 (経年比較)



### 3 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

問 13 あなたは、公園の整備や緑地の保全について、行政がどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

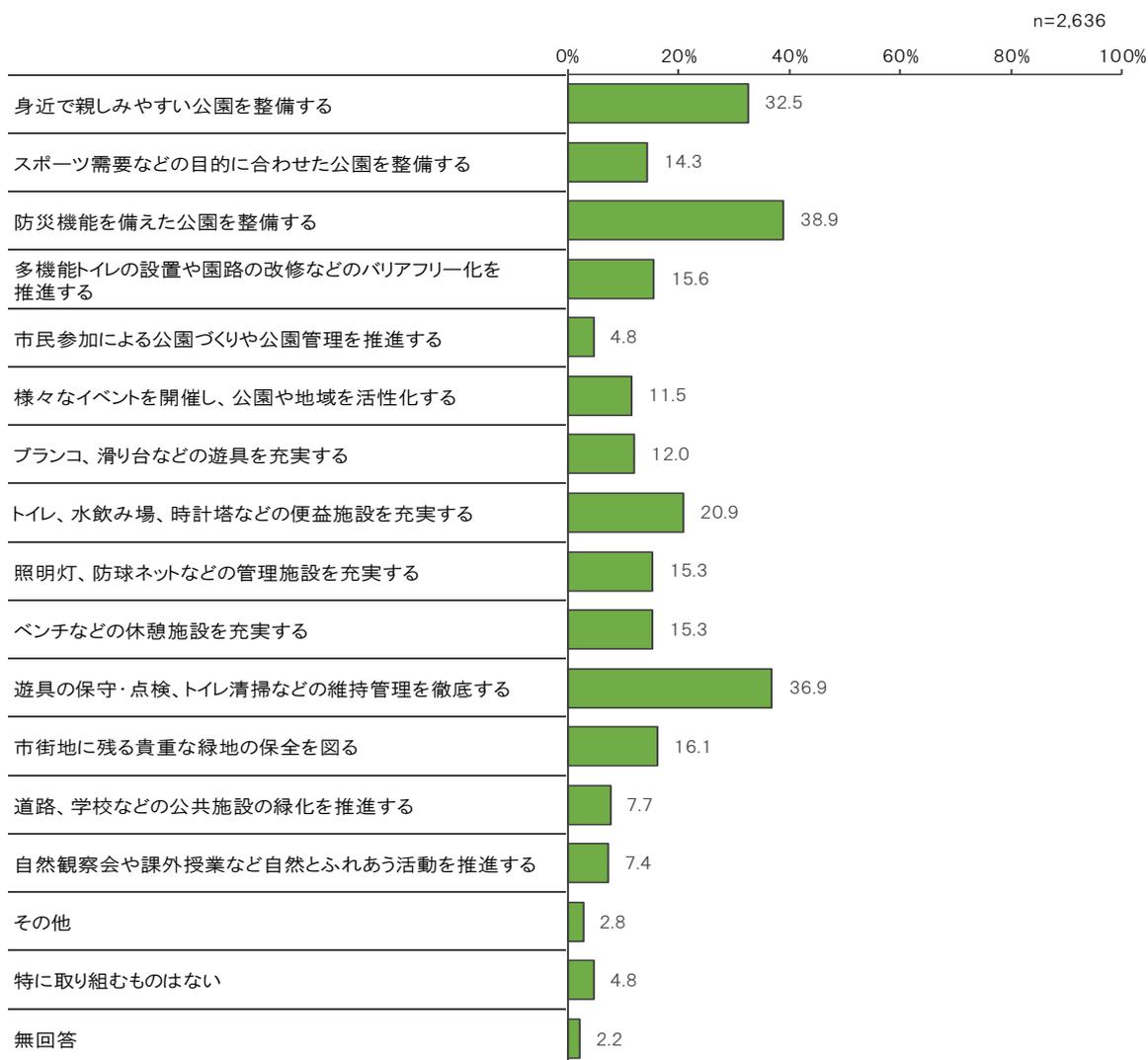
- ◆ 公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは「防災機能を備えた公園を整備する」が38.9%、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」が36.9%

公園の整備や緑地の保全について行政が取り組むべきことは、「防災機能を備えた公園を整備する」(38.9%)が最も高く、次いで「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(36.9%)、「身近で親しみやすい公園を整備する」(32.5%)の順となっている。【図表 184】

年齢別でみると、全体平均と比較して「スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する」では「10代(18・19歳)」(31.4%)、「ブランコ、滑り台などの遊具を充実する」では「30代」(29.5%)、「照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する」は「10代(18・19歳)」(25.7%)の割合が高くなっている。【図表 185】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」は、「桜木小学校区」(55.4%)、「赤坂小学校区」(53.6%)、「御津北部小学校区」(51.0%)、「身近で親しみやすい公園を整備する」は、「長沢小学校区」(45.9%)、「御津北部小学校区」(44.9%)の割合が高くなっている。【図表 185】

図表 184 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと (全体)



図表 185 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと

(全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別)

(%)

	件数	身近で親しみやすい公園を整備する	スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する	防災機能を備えた公園を整備する	多機能パビリオンの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する	公園管理を推進する	市民参加による公園づくりや公園管理を推進する	様々なイベントを開催し、公園や地域を活性化させる	充実するブランコ、滑り台などの遊具を充実する	トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する	照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する	ベンチなどの休憩施設を充実する	遊具の維持管理を徹底する	市街地に残る貴重な緑地の保全を図る	推進する道路、学校などの公共施設の緑化を推進する	自然観察会や課外授業など自然とふれあう活動を推進する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体	2,636	32.5	14.3	38.9	15.6	4.8	11.5	12.0	20.9	15.3	15.3	36.9	16.1	7.7	7.4	2.8	4.8	2.2	
年齢別	10代(18・19歳)	35	20.0	31.4	34.3	5.7	2.9	20.0	11.4	25.7	25.7	20.0	31.4	11.4	8.6	8.6	2.9	0.0	0.0
	20代	227	30.4	24.2	32.2	15.9	1.8	16.3	20.3	19.8	18.9	15.0	33.9	10.6	7.9	7.5	1.8	5.3	0.4
	30代	308	35.1	16.6	31.5	14.6	3.9	10.7	29.5	20.1	15.3	10.1	45.5	9.7	6.5	7.5	6.5	4.5	0.6
	40代	456	31.1	19.3	36.8	13.8	3.1	14.3	18.0	16.2	16.4	11.0	35.7	13.8	8.8	8.3	3.1	4.2	1.1
	50代	509	28.1	12.6	43.8	14.9	3.9	11.4	6.3	21.0	15.7	13.9	38.1	17.5	6.9	8.6	2.2	6.5	1.4
	60代	484	35.3	12.4	43.2	18.6	5.0	9.9	7.6	21.7	13.8	15.3	39.9	19.0	8.7	6.6	2.1	4.8	0.8
	70歳以上	558	37.1	7.7	40.5	16.8	8.8	9.1	4.3	24.9	13.3	23.3	32.3	19.9	7.2	5.9	2.2	3.9	4.1
居住小学校区別	豊川小学校区	114	23.7	17.5	37.7	18.4	7.9	6.1	14.0	17.5	16.7	17.5	31.6	17.5	7.9	11.4	1.8	6.1	0.9
	桜木小学校区	92	33.7	7.6	34.8	19.6	6.5	6.5	8.7	23.9	18.5	16.3	55.4	13.0	7.6	9.8	3.3	2.2	2.2
	豊小学校区	117	37.6	9.4	38.5	17.9	2.6	15.4	17.9	18.8	15.4	13.7	47.0	16.2	11.1	7.7	3.4	1.7	0.9
	東部小学校区	115	33.0	13.9	41.7	15.7	3.5	13.0	10.4	20.9	14.8	16.5	27.0	13.0	9.6	8.7	1.7	5.2	1.7
	金屋小学校区	72	34.7	12.5	34.7	12.5	2.8	18.1	13.9	20.8	15.3	9.7	31.9	11.1	11.1	8.3	2.8	8.3	2.8
	三蔵子小学校区	145	24.1	15.2	40.0	12.4	3.4	12.4	13.1	24.8	10.3	15.2	41.4	15.9	12.4	5.5	1.4	4.1	1.4
	棧町小学校区	79	24.1	17.7	35.4	12.7	5.1	10.1	15.2	22.8	19.0	13.9	30.4	27.8	5.1	3.8	2.5	8.9	3.8
	代田小学校区	106	32.1	11.3	37.7	20.8	5.7	11.3	11.3	20.8	17.0	17.0	33.0	17.0	11.3	3.8	3.8	2.8	2.8
	中部小学校区	169	35.5	11.8	43.8	14.2	1.2	10.7	7.1	18.9	18.3	14.2	42.6	19.5	6.5	5.9	1.8	5.9	1.2
	牛久保小学校区	108	26.9	10.2	38.9	18.5	4.6	12.0	14.8	18.5	15.7	15.7	38.0	22.2	9.3	7.4	3.7	3.7	0.9
	天王小学校区	50	32.0	20.0	30.0	24.0	8.0	10.0	12.0	26.0	18.0	16.0	34.0	8.0	4.0	16.0	2.0	4.0	4.0
	国府小学校区	183	33.9	14.8	47.0	12.0	5.5	8.2	9.8	20.8	17.5	13.7	33.9	18.6	7.1	9.3	2.2	4.9	1.6
	御油小学校区	134	26.1	18.7	36.6	19.4	4.5	12.7	15.7	28.4	15.7	14.9	41.0	17.2	5.2	6.0	2.2	2.2	2.2
	千両小学校区	29	31.0	17.2	41.4	17.2	6.9	13.8	0.0	20.7	10.3	24.1	34.5	17.2	17.2	6.9	0.0	3.4	0.0
	八南小学校区	146	35.6	16.4	32.2	16.4	4.8	14.4	11.0	16.4	17.1	16.4	35.6	18.5	6.2	9.6	3.4	5.5	1.4
	平尾小学校区	58	41.4	13.8	44.8	13.8	3.4	6.9	20.7	22.4	20.7	17.2	29.3	6.9	6.9	6.9	1.7	3.4	3.4
	一宮東部小学校区	74	33.8	16.2	44.6	16.2	6.8	13.5	10.8	23.0	13.5	12.2	35.1	16.2	5.4	8.1	1.4	6.8	1.4
	一宮西部小学校区	118	32.2	11.0	34.7	22.0	4.2	11.0	9.3	25.4	17.8	22.0	38.1	13.6	7.6	9.3	3.4	3.4	0.8
	一宮南部小学校区	34	38.2	26.5	35.3	11.8	8.8	8.8	8.8	23.5	5.9	14.7	26.5	17.6	5.9	5.9	2.9	5.9	0.0
	赤坂小学校区	56	37.5	14.3	23.2	17.9	5.4	23.2	14.3	26.8	8.9	16.1	53.6	17.9	3.6	5.4	0.0	0.0	0.0
長沢小学校区	37	45.9	21.6	35.1	16.2	8.1	13.5	8.1	8.1	8.1	10.8	27.0	0.0	8.1	2.7	10.8	10.8	0.0	
菟小学校区	21	38.1	14.3	42.9	33.3	0.0	0.0	4.8	19.0	19.0	28.6	38.1	23.8	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	
御津南部小学校区	130	41.5	13.1	43.1	9.2	6.2	12.3	11.5	16.9	14.6	9.2	37.7	14.6	6.2	10.0	2.3	6.2	1.5	
御津北部小学校区	49	44.9	10.2	36.7	8.2	4.1	8.2	14.3	28.6	14.3	16.3	51.0	12.2	10.2	4.1	2.0	2.0	0.0	
小坂井東小学校区	134	32.1	17.2	42.5	9.7	5.2	12.7	15.7	17.9	9.7	14.2	32.1	17.2	8.2	6.7	6.7	5.2	0.7	
小坂井西小学校区	163	36.2	14.1	41.7	14.1	6.1	10.4	12.9	22.1	15.3	20.2	32.5	10.4	4.3	3.7	3.1	5.5	3.1	
「緑・自然の豊かさ」の満足度	満足	775	31.1	15.5	39.1	15.9	3.6	12.5	15.2	20.1	15.1	15.4	40.0	16.5	7.6	8.4	3.4	4.0	0.6
	まあ満足	1,375	33.4	13.7	39.7	15.6	5.6	10.9	9.7	21.8	16.5	15.8	37.1	15.6	6.9	6.9	2.0	4.8	2.3
	やや不満	222	35.6	17.6	40.5	14.4	4.5	11.7	15.3	20.7	13.1	14.9	32.4	22.5	11.7	6.3	6.3	1.8	0.9
	不満	66	30.3	19.7	39.4	9.1	4.5	18.2	18.2	16.7	7.6	15.2	34.8	16.7	12.1	10.6	1.5	4.5	4.5
	わからない	149	24.8	9.4	28.9	15.4	4.7	8.7	8.7	19.5	13.4	12.1	32.2	10.1	7.4	8.1	2.7	14.1	5.4
「公園の状況」の満足度	満足	239	30.5	15.1	37.2	18.0	5.9	12.1	10.5	19.2	17.2	17.6	37.2	15.9	8.8	7.5	2.1	5.0	0.4
	まあ満足	1,301	31.6	14.1	42.0	15.4	4.8	13.1	10.8	21.8	16.8	16.4	36.9	16.6	7.5	7.5	1.9	3.5	1.8
	やや不満	445	38.7	17.5	38.0	13.5	5.8	9.7	15.3	20.4	12.8	13.0	40.9	15.5	8.1	9.0	4.5	3.4	1.1
	不満	148	43.2	16.9	27.0	12.8	7.4	10.8	27.0	20.9	10.1	12.2	31.1	10.8	6.8	8.1	8.8	4.1	3.4
	わからない	458	26.4	11.6	36.2	16.4	2.6	8.5	8.5	20.5	14.2	14.6	36.2	17.2	8.1	5.7	2.2	10.3	3.3

全体より10%以上

全体より5%以上

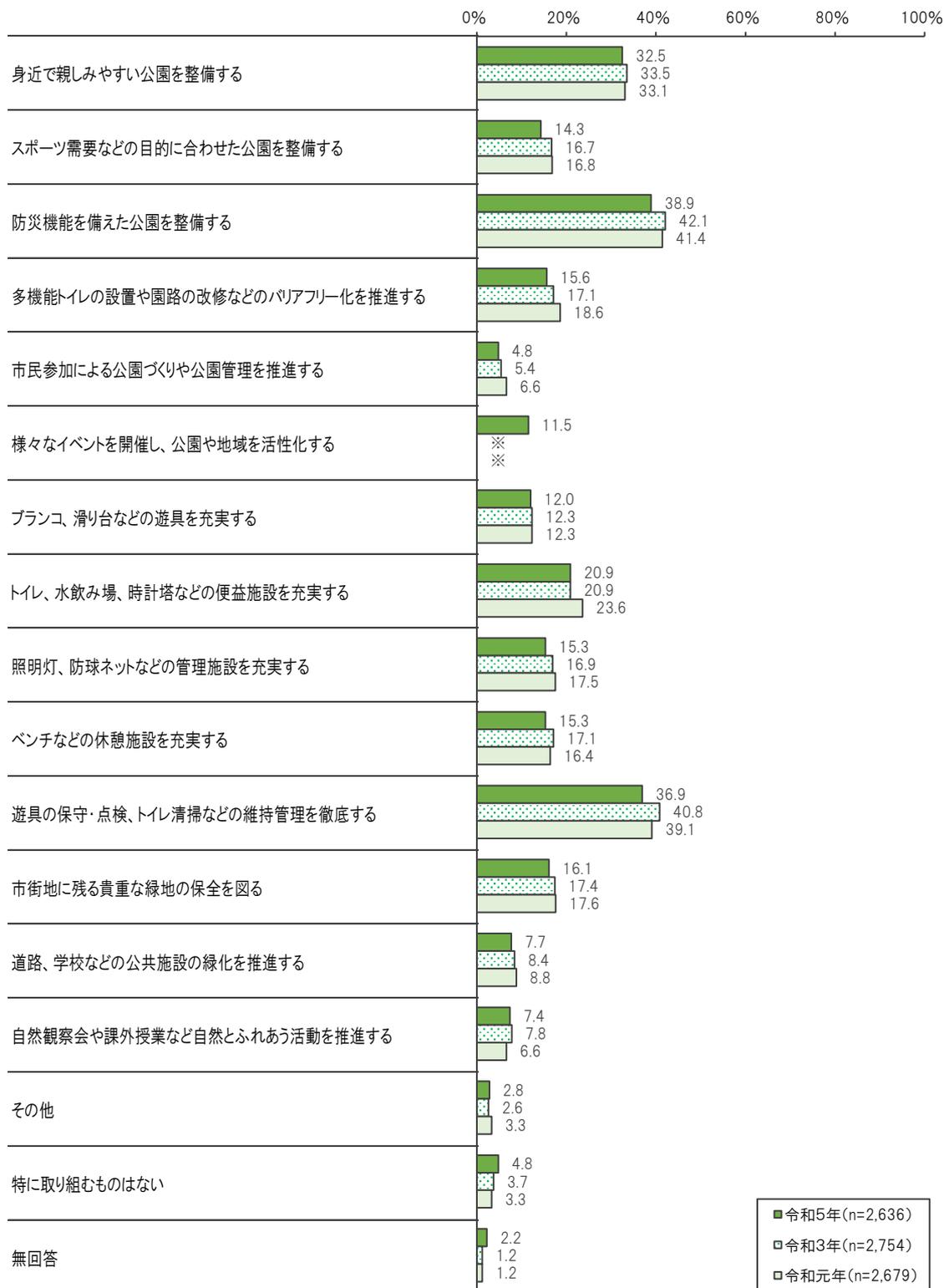
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して多くの項目で減少し、「遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する」(3.9ポイント減)、「防災機能を備えた公園を整備する」(3.2ポイント減)などとなっている。【図表 186】

図表 186 公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



※調査項目に含まれず

## 4 河川の整備のために行政が取り組むべきこと

問 14 あなたは、河川の整備について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

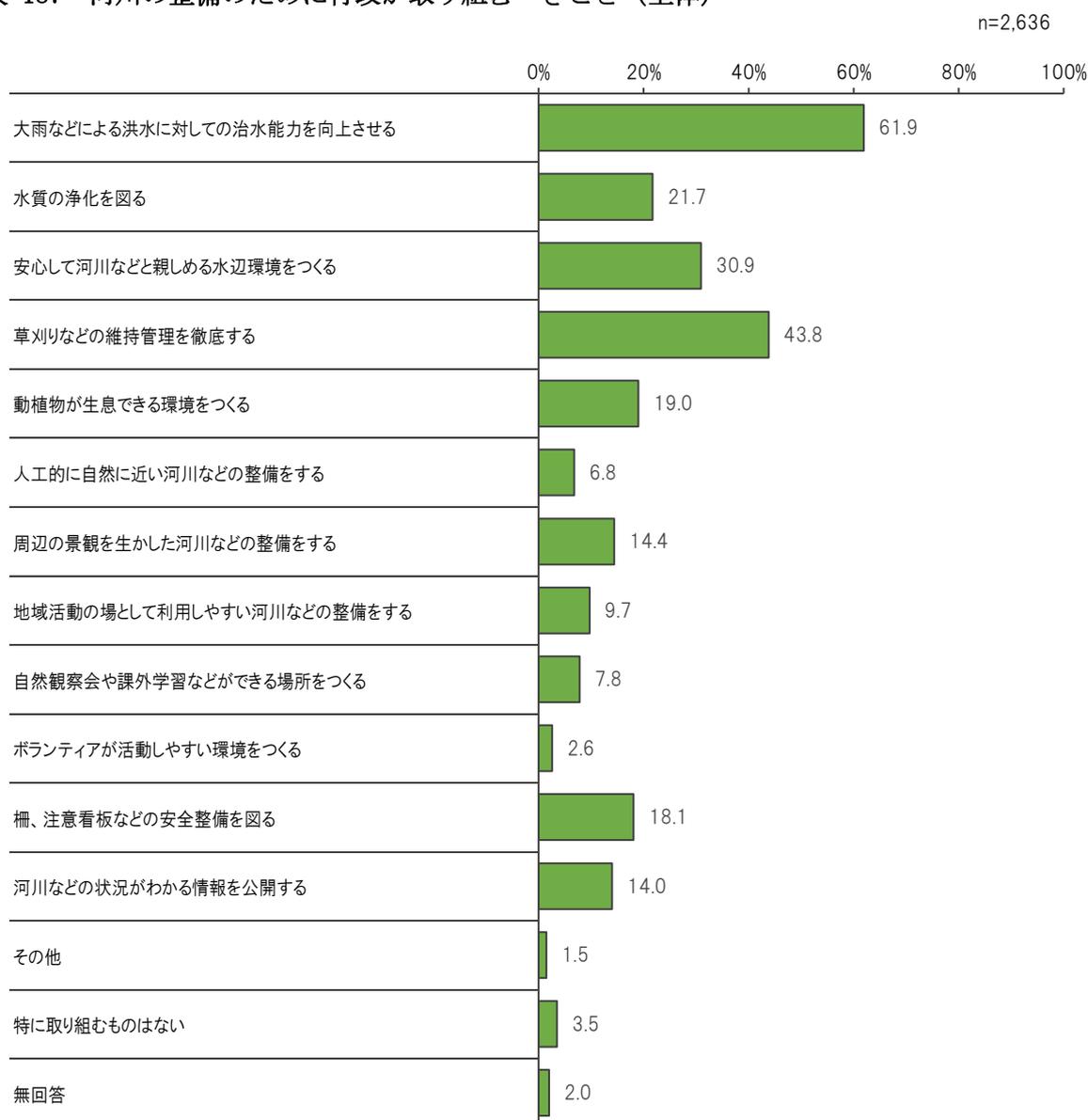
◆ 河川の整備について行政が取り組むべきことは「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」が61.9%、「草刈りなどの維持管理を徹底する」が43.8%

河川の整備について行政が取り組むべきことは、「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」(61.9%)が最も高く、「草刈りなどの維持管理を徹底する」(43.8%)、「安心して河川などと親しめる水辺環境をつくる」(30.9%)の順となっている。【図表 187】

性別でみると、最も差がある項目「柵、注意看板などの安全整備を図る」では「女性」(21.2%)が「男性」(14.4%)を6.8ポイント上回っている。【図表 188】

小学校区別でみると、全体平均と比較して「大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる」では、「一宮南部小学校区」(76.5%)、「草刈りなどの維持管理を徹底する」では、「萩小学校区」(61.9%)、「平尾小学校区」(60.3%)、「安心して河川などと親しめる水辺環境をつくる」では、「御油小学校区」(41.8%)、「一宮西小学校区」(41.5%)、「平尾小学校区」(41.4%)、「一宮南小学校区」(41.2%)の割合が高くなっている。【図表 188】

図表 187 河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体）



図表 188 河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）

(%)

		件数	大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる	水質の浄化を図る	安心して河川などと親しめる	草刈りなどの維持管理を徹底する	動植物が生息できる環境をつくる	人工的に自然に近い河川などの整備をする	周辺の景観を生かした河川などの整備をする	地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする	自然観察会や課外学習などができる場所をつくる	ボランティアが活動しやすい環境をつくる	柵、注意看板などの安全整備を図る	河川などの状況がわかる情報を公開する	その他	特に取り組むものはない	無回答
全体		2,636	61.9	21.7	30.9	43.8	19.0	6.8	14.4	9.7	7.8	2.6	18.1	14.0	1.5	3.5	2.0
性別	男性	1,078	61.2	24.7	32.0	42.9	20.2	7.9	14.4	11.1	6.3	3.1	14.4	13.1	1.9	3.7	1.3
	女性	1,451	63.2	20.3	30.7	45.2	17.9	6.2	14.9	8.8	8.8	2.3	21.2	14.8	1.0	2.9	1.6
居住 小学校区別	豊川小学校区	114	52.6	21.9	34.2	36.8	23.7	7.0	14.0	11.4	6.1	0.0	16.7	13.2	0.0	3.5	2.6
	桜木小学校区	92	64.1	22.8	32.6	53.3	16.3	5.4	7.6	8.7	8.7	1.1	19.6	15.2	1.1	4.3	1.1
	豊小学校区	117	59.8	27.4	37.6	40.2	19.7	6.8	15.4	9.4	12.8	4.3	18.8	9.4	0.9	3.4	0.0
	東部小学校区	115	65.2	13.9	24.3	49.6	18.3	7.0	11.3	15.7	7.8	1.7	13.9	23.5	0.0	4.3	1.7
	金屋小学校区	72	54.2	18.1	40.3	45.8	16.7	4.2	9.7	8.3	4.2	1.4	9.7	15.3	4.2	4.2	4.2
	三蔵子小学校区	145	60.7	25.5	33.1	38.6	20.0	6.9	12.4	6.2	8.3	2.1	17.2	15.9	1.4	4.8	0.7
	桜町小学校区	79	70.9	17.7	30.4	43.0	16.5	8.9	16.5	6.3	2.5	2.5	19.0	11.4	1.3	5.1	2.5
	代田小学校区	106	67.0	22.6	30.2	45.3	18.9	3.8	13.2	10.4	6.6	2.8	16.0	14.2	0.0	5.7	2.8
	中部小学校区	169	60.4	24.3	32.0	51.5	18.9	5.9	13.6	7.1	7.1	1.2	16.6	11.8	3.0	4.1	2.4
	牛久保小学校区	108	65.7	21.3	34.3	38.9	23.1	7.4	16.7	4.6	12.0	0.9	22.2	9.3	0.0	2.8	0.0
	天王小学校区	50	64.0	16.0	34.0	46.0	16.0	6.0	14.0	14.0	12.0	2.0	20.0	16.0	0.0	2.0	4.0
	国府小学校区	183	66.7	27.9	25.1	42.6	19.1	4.4	14.8	9.3	7.1	2.2	21.9	13.1	1.6	2.2	1.6
	御油小学校区	134	61.2	18.7	41.8	41.0	20.9	9.7	17.2	14.9	9.7	3.0	14.9	14.2	0.7	3.0	0.7
	千両小学校区	29	62.1	24.1	13.8	41.4	37.9	10.3	17.2	17.2	10.3	3.4	17.2	6.9	3.4	6.9	0.0
	八南小学校区	146	57.5	19.2	29.5	48.6	22.6	8.2	16.4	5.5	6.8	6.8	14.4	12.3	1.4	1.4	2.1
	平尾小学校区	58	63.8	17.2	41.4	60.3	20.7	8.6	20.7	3.4	6.9	5.2	13.8	10.3	0.0	1.7	0.0
	一宮東部小学校区	74	59.5	18.9	25.7	35.1	18.9	8.1	17.6	14.9	5.4	2.7	24.3	20.3	0.0	4.1	0.0
	一宮西部小学校区	118	55.9	20.3	41.5	44.1	15.3	8.5	13.6	14.4	9.3	0.8	19.5	18.6	0.0	0.8	1.7
	一宮南部小学校区	34	76.5	14.7	41.2	41.2	5.9	5.9	11.8	8.8	11.8	0.0	17.6	8.8	2.9	0.0	0.0
	赤坂小学校区	56	69.6	30.4	25.0	42.9	12.5	5.4	19.6	8.9	12.5	5.4	10.7	10.7	3.6	3.6	0.0
	長沢小学校区	37	70.3	21.6	27.0	24.3	27.0	5.4	18.9	10.8	13.5	8.1	10.8	5.4	2.7	0.0	0.0
	萩小学校区	21	61.9	38.1	23.8	61.9	9.5	4.8	23.8	9.5	0.0	4.8	23.8	19.0	0.0	0.0	0.0
	御津南部小学校区	130	61.5	25.4	20.8	45.4	22.3	10.0	18.5	6.9	4.6	3.8	26.9	14.6	1.5	4.6	0.8
御津北部小学校区	49	63.3	30.6	32.7	51.0	22.4	4.1	12.2	10.2	12.2	0.0	14.3	8.2	0.0	2.0	2.0	
小坂井東小学校区	134	57.5	22.4	32.1	34.3	15.7	8.2	11.2	12.7	6.0	1.5	18.7	17.9	3.7	5.2	1.5	
小坂井西小学校区	163	68.1	18.4	24.5	42.9	15.3	6.1	14.7	11.7	6.1	2.5	20.9	15.3	2.5	3.7	1.8	

全体より10%以上

全体より5%以上

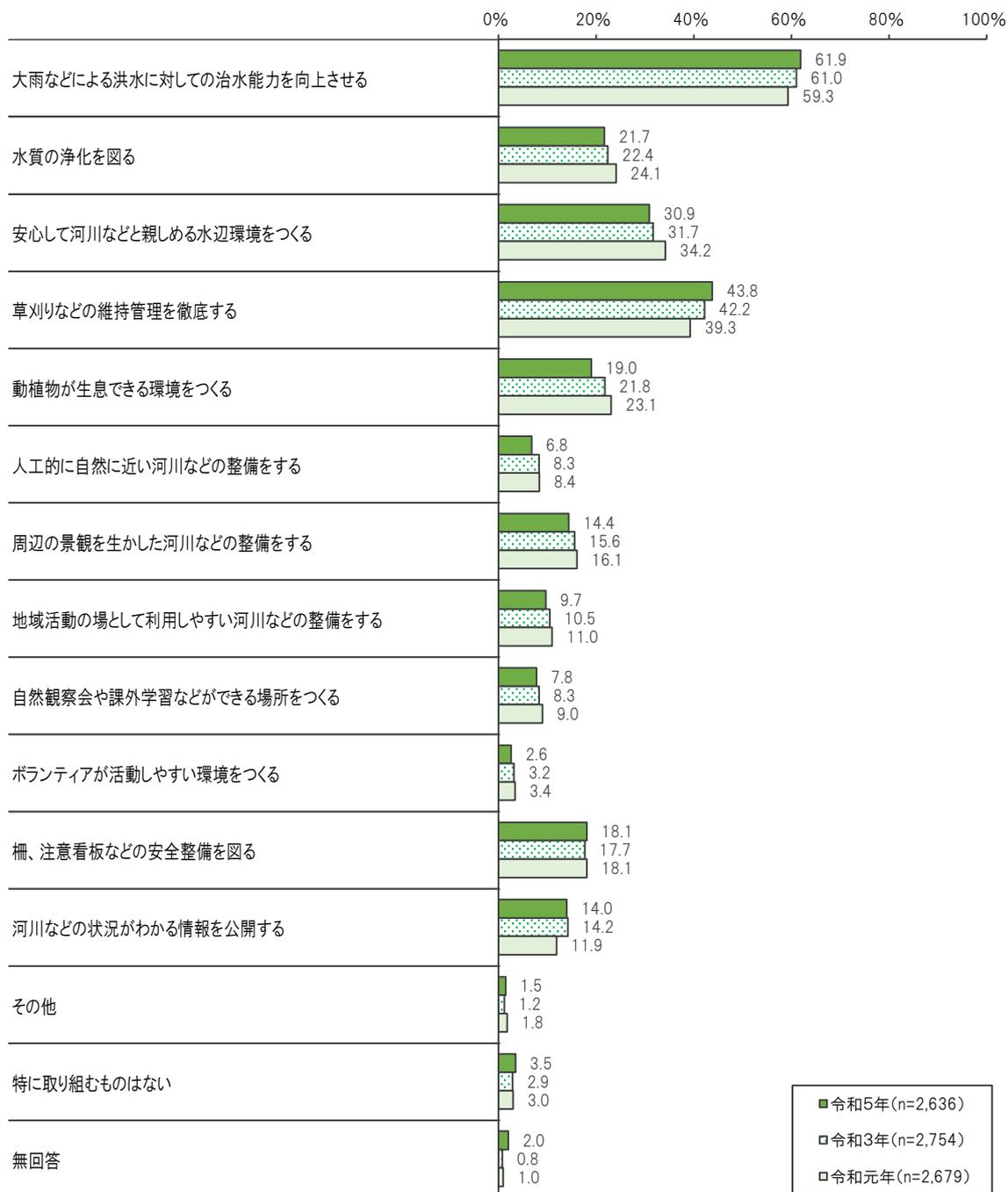
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「草刈りなどの維持管理を徹底する」(1.6ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「動植物が生息できる環境をつくる」(2.8ポイント減)、などとなっている。【図表 189】

図表 189 河川の整備のために行政が取り組むべきこと (経年比較)



## 6 教育・文化について

### 1 地域づくりに向けた学校と地域との関わり

問 15 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、学校と関わりを持っていききたいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

#### ◆ 地域づくりに向けた学校と地域との関わりについて “関わりを持っていきいたい” が 47.4%、 “関わりを持ちたくない” が 20.7%

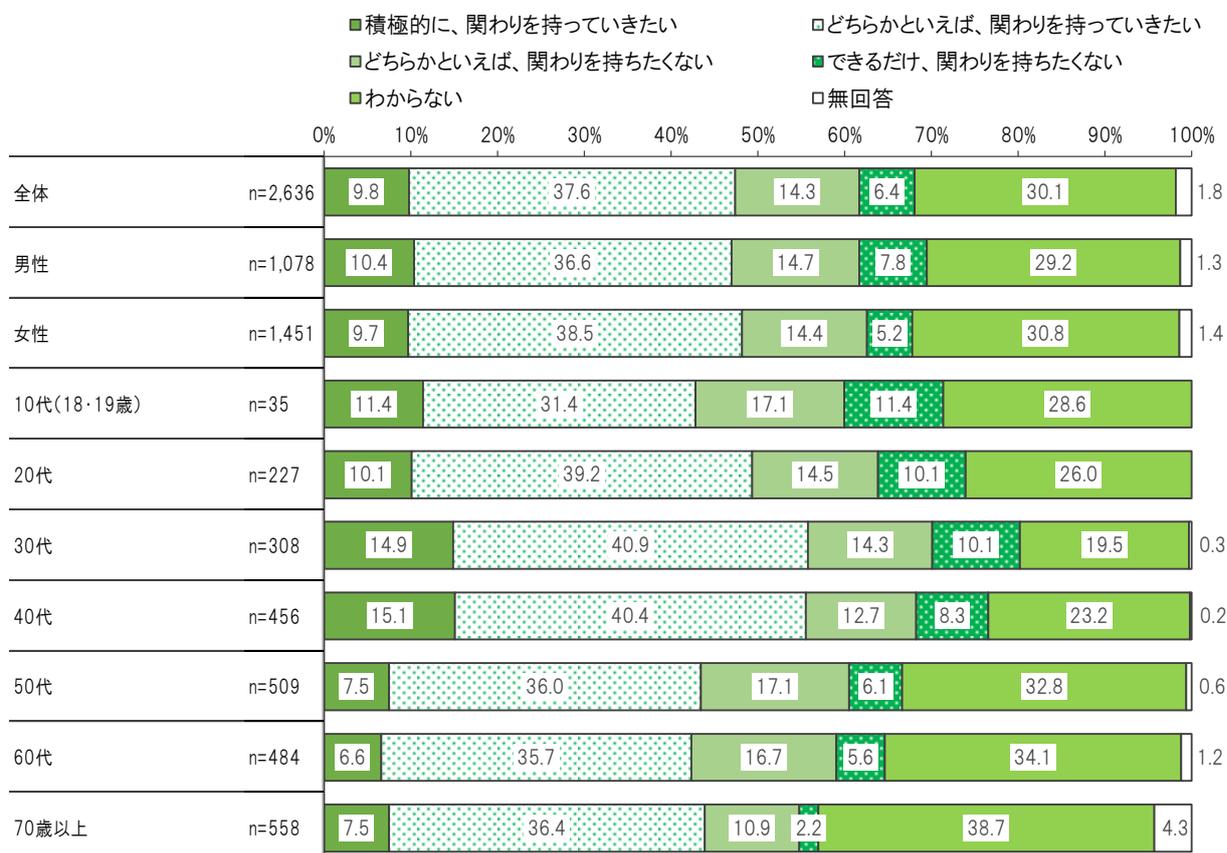
地域づくりに向けた学校と地域との関わりについて、「積極的に、関わりを持っていきいたい」(9.8%)と「どちらかといえば、関わりを持っていきいたい」(37.6%)をあわせた“関わりを持っていきいたい”が47.4%となっている。一方、「どちらかといえば、関わりを持ちたくない」(14.3%)と「できるだけ、関わりを持ちたくない」(6.4%)をあわせた“関わりを持ちたくない”が20.7%となっている。【図表 190】

性別でみると、“関わりを持っていきいたい”は「男性」(47.0%)が「女性」(48.2%)を1.2ポイント下回っている。【図表 190】

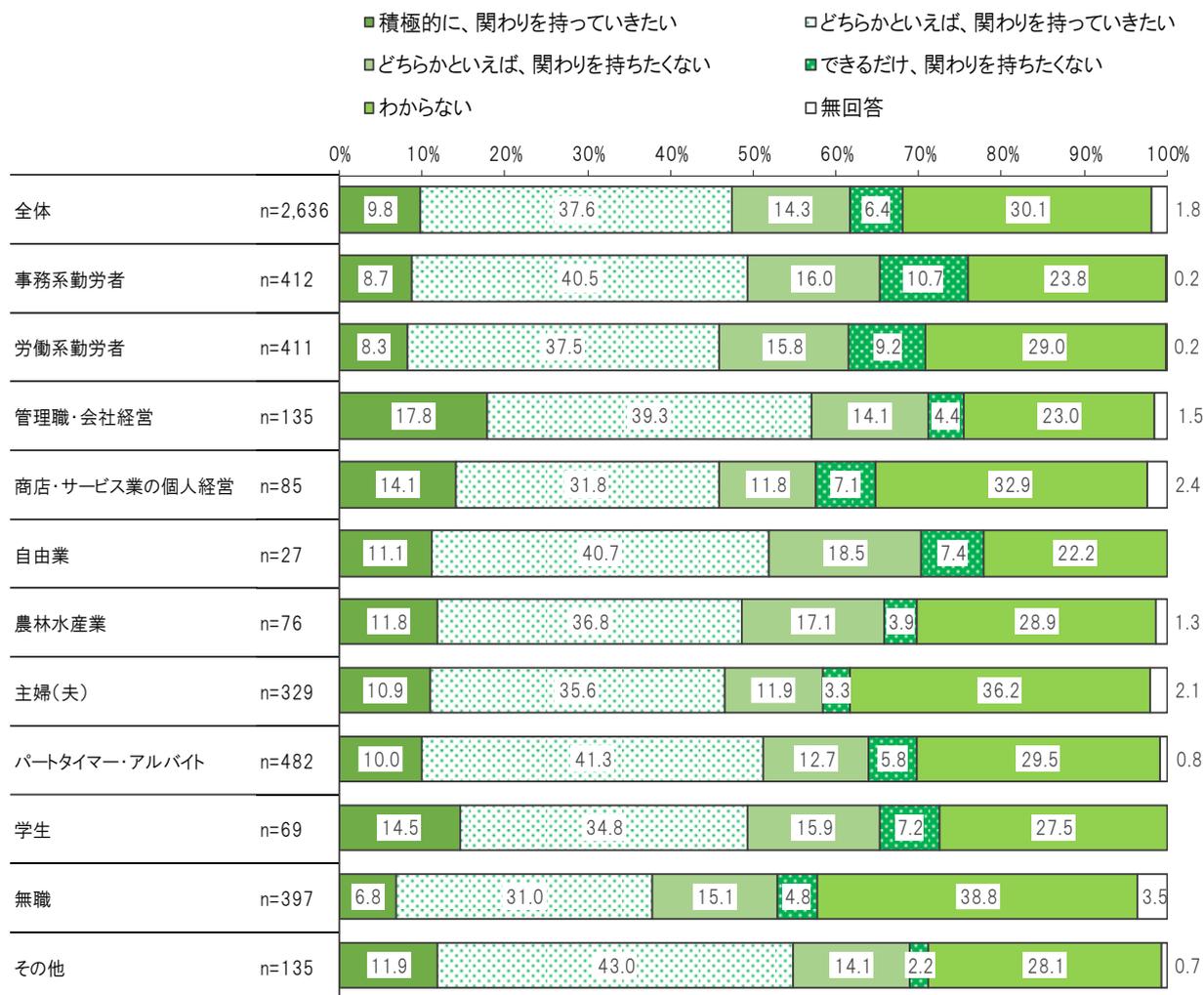
年齢別でみると、全体平均と比較して、“関わりを持っていきいたい”は、「30代」(55.8%)、「40代」(55.5%)での割合が高くなっている。【図表 190】

職業別でみると、全体平均と比較して、“関わりを持っていきいたい”は、「管理職・会社経営」(57.1%)、「その他」(54.9%)、「自由業」(51.8%)、「パートタイマー・アルバイト」(51.3%)、「学生」(49.3%)、「事務系勤労者」(49.2%)、「農林水産業」(48.6%)の割合が高くなっている。【図表 191】

図表 190 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・性別・年齢別）



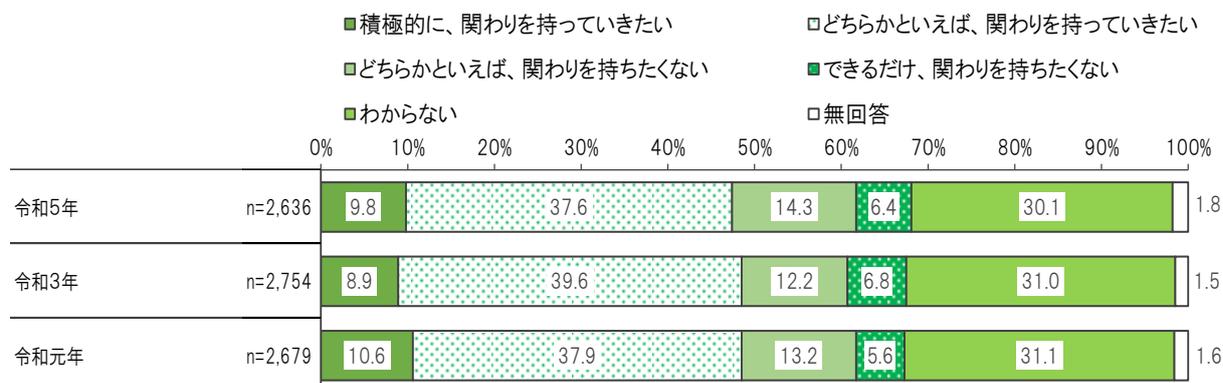
図表 191 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・職業別）



## ◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して減少した項目は、「どちらかといえば、関わりを持っていきたい」(2.0ポイント減)などとなっている。【図表 192】

図表 192 地域づくりに向けた学校と地域との関わり（経年比較）



## 2 生涯学習の活動状況

問 16 あなたは、生涯学習としてどのような活動をしていますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

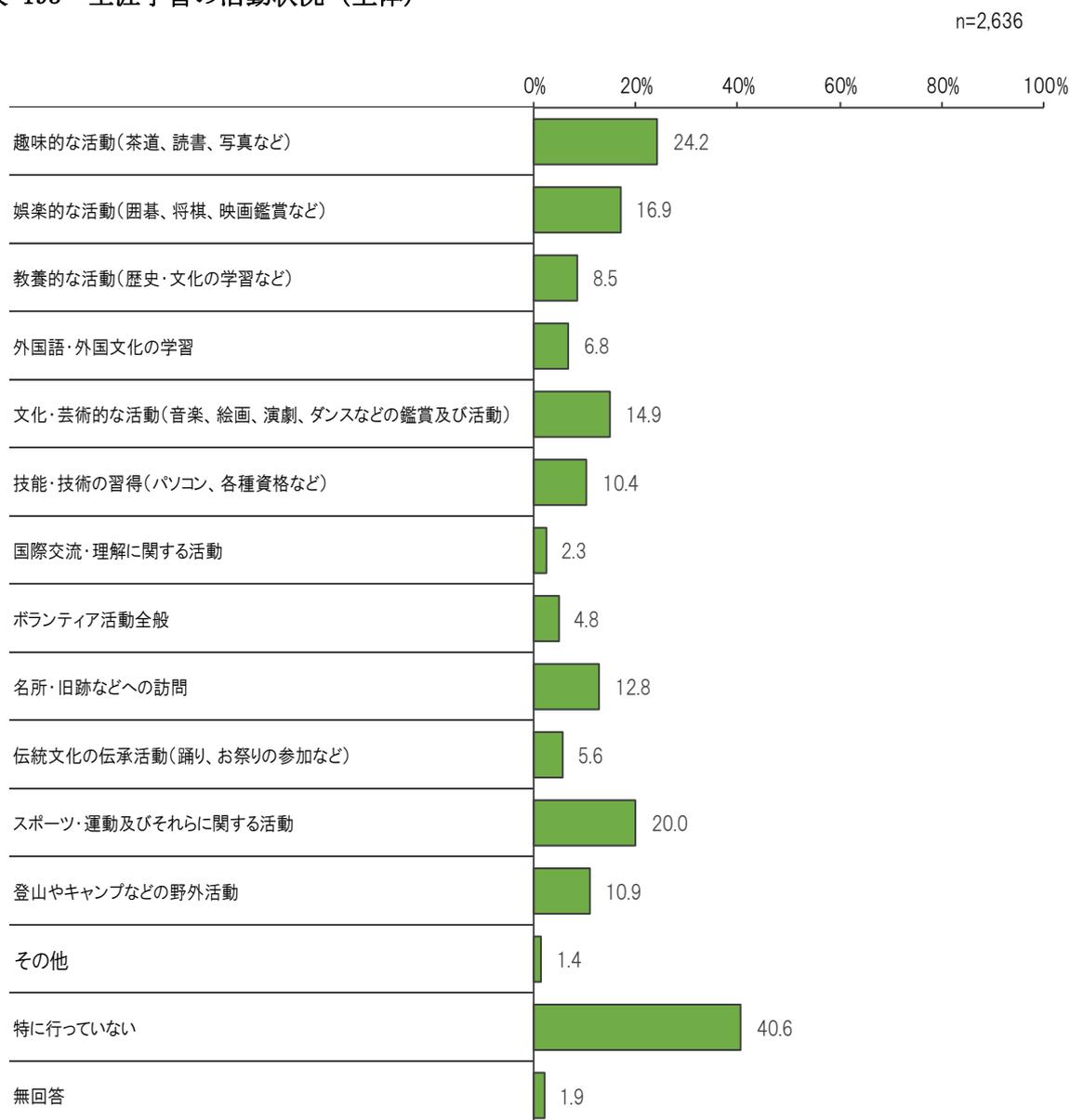
### ◆ 生涯学習の活動状況は「特に行っていない」が40.6%

生涯学習の活動状況は、「特に行っていない」(40.6%)が最も高く、次いで「趣味的な活動(茶道、読書、写真など)」(24.2%)、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」(20.0%)の順となっている。【図表 193】

性別でみると、「スポーツ・運動及びそれらに関する活動」では「男性」(25.1%)が「女性」(16.5%)を8.6ポイント上回り、「文化・芸術的な活動(音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動)」では「女性」(18.8%)が「男性」(9.4%)を9.4ポイント上回っている。【図表 194】

年齢別でみると、「10代(18・19歳)」「20代」で全体平均よりも高い割合の項目が多く、特に「10代(18・19歳)」は全体より10%以上高い項目が多くなっている。一方で、「特に行っていない」は「60代」「70歳以上」の割合が高い。【図表 194】

図表 193 生涯学習の活動状況(全体)



図表 194 生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）

（%）

		件数	趣味的な活動（茶道、読書、写真など）	娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など）	教養的な活動（歴史・文化の学習など）	外国語・外国文化の学習	文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動）	技能・技術の習得（パソコン、各種資格など）	国際交流・理解に関する活動	ボランティア活動全般	名所・旧跡などへの訪問	伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など）	スポーツ・運動及びそれらに関する活動	登山やキャンプなどの野外活動	その他	特に行っていない	無回答
全 体		2,636	24.2	16.9	8.5	6.8	14.9	10.4	2.3	4.8	12.8	5.6	20.0	10.9	1.4	40.6	1.9
性別	男性	1,078	21.3	18.2	10.5	6.8	9.4	13.0	2.8	5.2	16.2	6.8	25.1	14.8	1.3	37.2	0.9
	女性	1,451	26.6	16.3	7.2	6.9	18.8	8.5	2.0	4.3	10.5	4.9	16.5	8.4	1.5	43.3	1.7
年齢別	10代(18・19歳)	35	37.1	40.0	8.6	25.7	28.6	31.4	5.7	0.0	8.6	2.9	28.6	11.4	0.0	17.1	0.0
	20代	227	32.2	41.4	12.8	11.9	26.9	14.1	4.4	2.6	9.7	7.5	26.0	15.0	0.4	24.7	1.3
	30代	308	31.5	22.1	8.4	9.4	16.6	13.3	2.6	2.6	8.4	5.2	22.4	13.6	1.0	38.6	0.0
	40代	456	25.0	20.0	9.4	9.0	15.1	12.1	4.4	3.9	14.0	8.6	22.8	16.7	1.3	37.7	0.2
	50代	509	25.3	14.5	7.1	7.3	13.2	11.2	1.8	4.7	13.0	4.1	17.7	11.4	1.0	42.0	0.6
	60代	484	20.0	12.0	7.2	3.5	12.6	6.8	1.2	4.3	15.3	4.8	18.0	7.9	0.6	46.5	1.9
	70歳以上	558	18.5	6.6	8.4	3.2	11.8	7.0	1.1	8.2	13.4	5.0	17.4	5.2	3.2	46.8	3.4

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

### 3 スポーツや運動の頻度

問 17 あなたは、どの程度の頻度でスポーツや運動をしていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

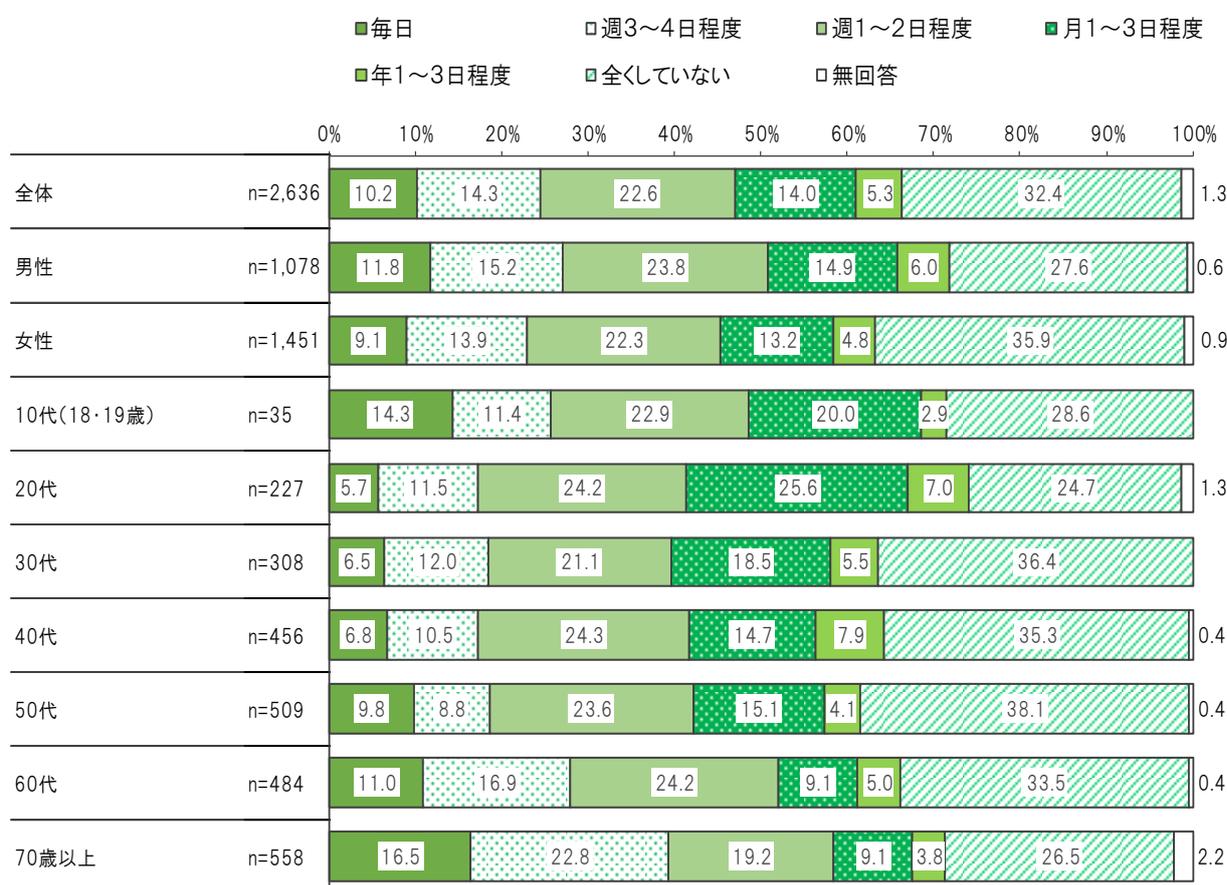
#### ◆ スポーツや運動の頻度は「全くしていない」が32.4%

スポーツや運動の頻度は、「全くしていない」(32.4%)が最も高く、次いで「週1～2日程度」(22.6%)、「週3～4日程度」(14.3%)の順となっている。【図表 195】

性別でみると、「全くしていない」では「女性」(35.9%)が「男性」(27.6%)を8.3ポイント上回っている。【図表 195】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「毎日」は「70歳以上」が16.5%と高く、「20代」(5.7%)、「30代」(6.5%)は低くなっている。一方、「全くしていない」は、「50代」(38.1%)の割合が高く、「20代」(24.7%)、「70歳以上」(26.5%)の割合が低くなっている。【図表 195】

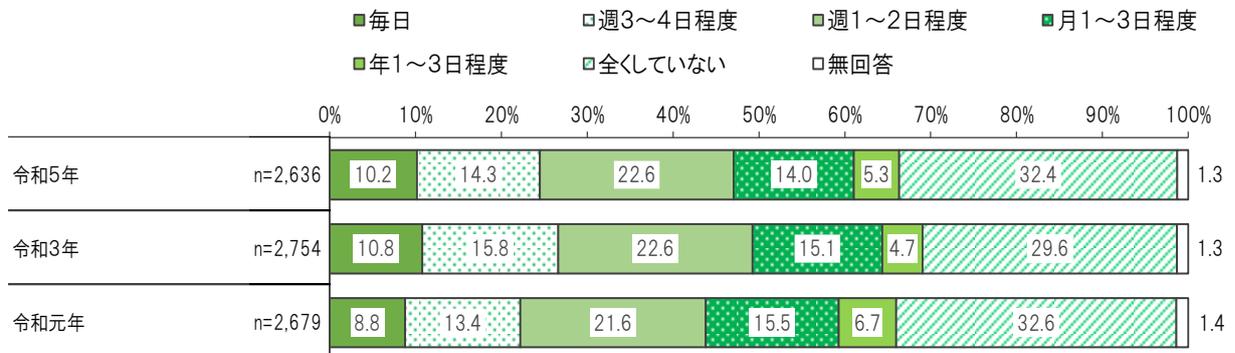
図表 195 スポーツや運動の頻度（全体・性別・年齢別）



## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「全くしていない」(2.8ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「週3～4日程度」(1.5ポイント減)などとなっている。【図表 196】

図表 196 スポーツや運動の頻度 (経年比較)



## 4 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと

問 18 あなたは、文化・芸術の振興のために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

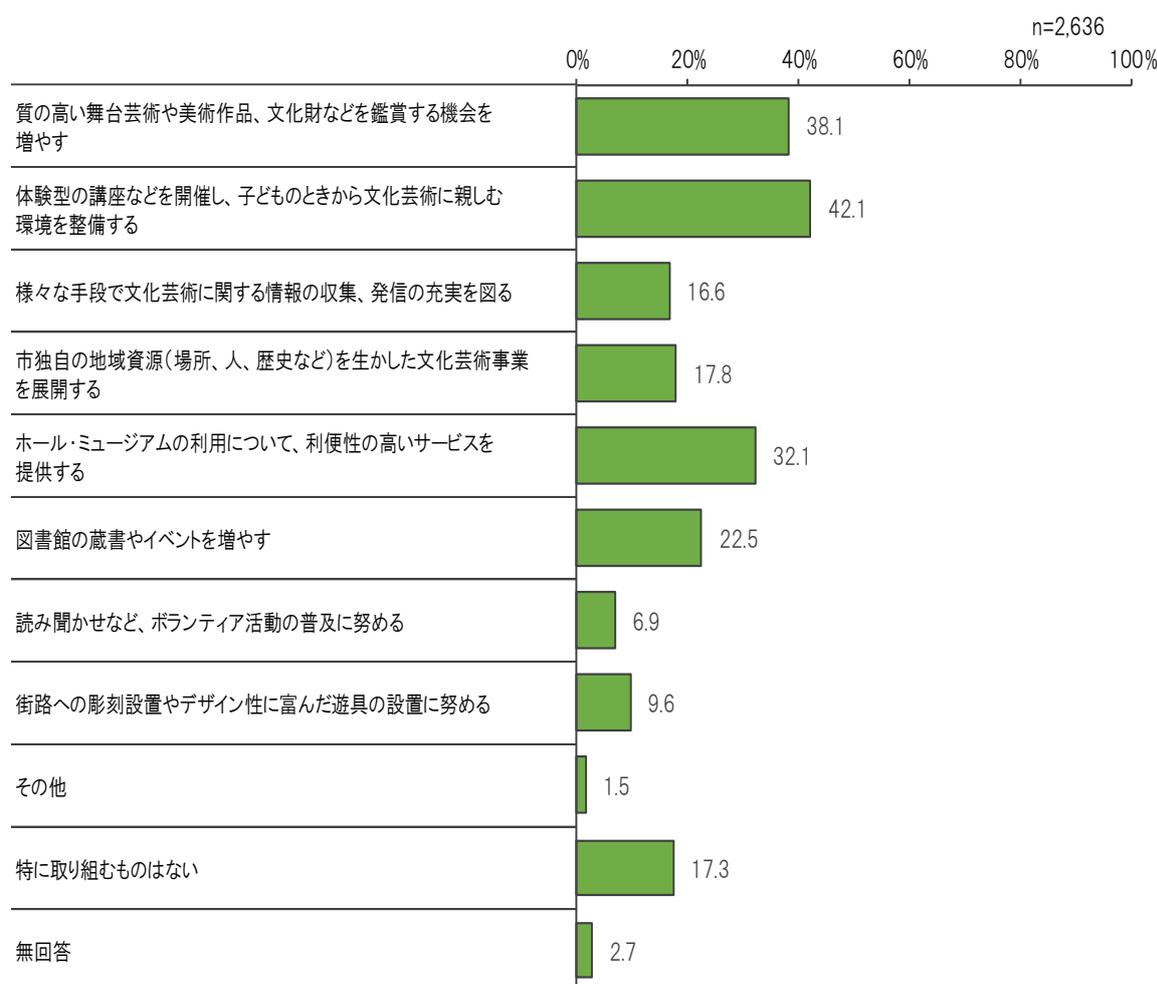
### ◆ 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」が42.1%

文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきことは、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」(42.1%)が最も高く、次いで「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」(38.1%)、「ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する」(32.1%)の順となっている。【図表 197】

性別でみると、最も差がある項目「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」では、「女性」(46.9%)が「男性」(36.6%)を10.3ポイント上回り、「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」では、「女性」(41.9%)が「男性」(34.2%)を7.7ポイント上回っている。【図表 198】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する」では「30代」(52.6%)、「40代」(51.1%)、「質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす」では「60代」(44.6%)の割合が高くなっている。【図表 198】

図表 197 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体）



図表 198 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）

		件数	機会を増やす	体験型	様々な手段	市独自の	ホール・	増やす	読み聞かせ	街路への	その他	特に	無回答
全体		2,636	38.1	42.1	16.6	17.8	32.1	22.5	6.9	9.6	1.5	17.3	2.7
性別	男性	1,078	34.2	36.6	17.9	20.7	29.7	23.9	6.5	10.1	1.9	20.1	1.7
	女性	1,451	41.9	46.9	15.9	16.4	34.4	21.8	7.2	9.3	1.1	15.0	2.3
年齢別	10代(18・19歳)	35	40.0	42.9	22.9	8.6	28.6	34.3	5.7	2.9	0.0	11.4	0.0
	20代	227	40.1	41.0	14.1	13.2	25.6	22.5	6.6	16.3	1.3	16.3	2.2
	30代	308	29.9	52.6	12.0	14.0	30.5	28.2	11.0	15.6	1.6	16.9	0.0
	40代	456	37.1	51.1	11.0	14.9	32.0	24.1	7.2	12.7	2.0	16.0	0.4
	50代	509	37.5	41.5	15.3	16.5	33.0	21.8	6.9	6.5	1.0	18.3	1.0
	60代	484	44.6	38.6	21.3	19.8	36.6	20.2	5.4	7.0	1.4	15.9	2.5
	70歳以上	558	38.9	33.7	21.7	24.4	32.3	20.4	5.7	6.6	1.6	20.6	5.2

全体より10%以上

全体より5%以上

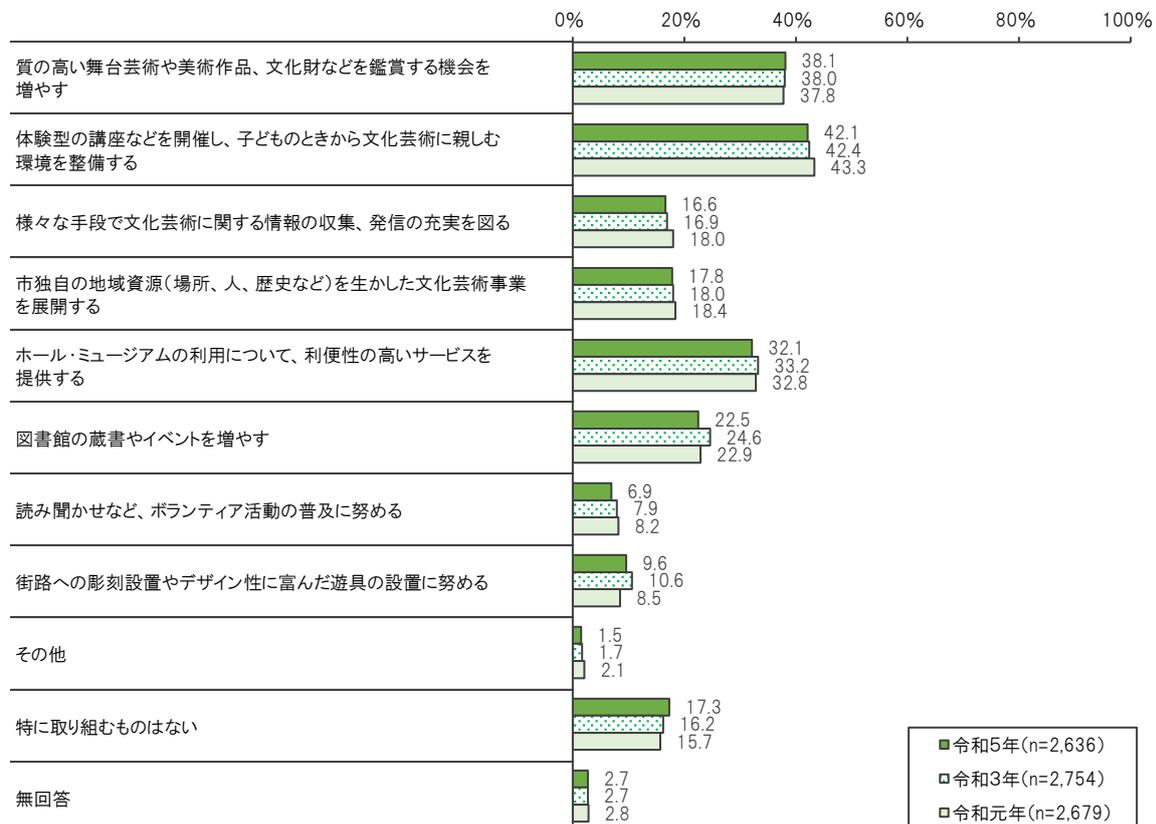
全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 経年比較 ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「特に取り組むものはない」(1.1ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「図書館の蔵書やイベントを増やす」(2.1ポイント減)などとなっている。【図表 199】

図表 199 文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）



## 7 産業・雇用について

### 1 観光客増加のために取り組むべきこと

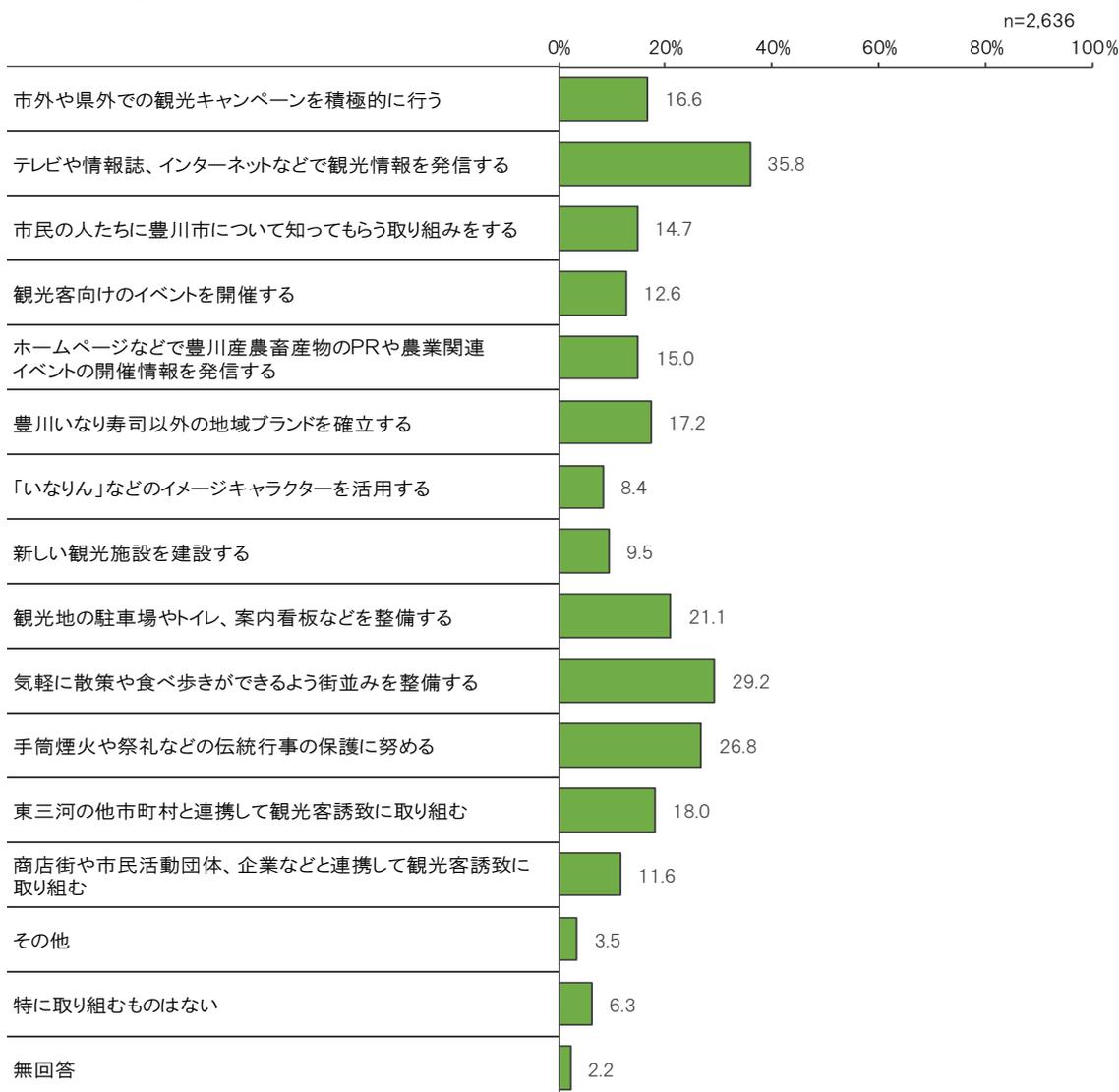
問 19 あなたは、多くの観光客の方に豊川市に来ていただくために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

◆ **観光客増加のために取り組むべきことは「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」が35.8%**

観光客増加のために取り組むべきことは、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」(35.8%)が最も高く、次いで「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」(29.2%)、「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」(26.8%)、「観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する」(21.1%)の順となっている。【図表 200】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する」では「10代(18・19歳)」(45.7%)、「30代」(35.1%)、「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する」では「10代(18・19歳)」(20.0%)の割合が高くなっている。また、「70歳以上」では「市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする」(21.7%)、「観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する」(27.4%)の割合が高くなっている。【図表 201】

図表 200 観光客増加のために取り組むべきこと (全体)



図表 201 観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）

		(%)																	
		件数	市外や県外での観光キャンペーンを積極的に 行う	テレビや情報誌、インターネットなどで 観光情報を発信する	市民の人たちに豊川市について知ってもら う取り組みをする	観光客向けのイベントを開催する	ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや 農業関連イベントの開催情報を発信する	豊川いなり寿司以外の地域ブランドを確立 する	「いなりん」などのイメージキャラクターを 活用する	新しい観光施設を建設する	整備する	観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを 整備する	気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを 整備する	手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に 努める	東三河の他市町村と連携して観光客誘致に 取り組む	商店街や市民活動団体、企業などと連携して観 光客誘致に取り組む	その他	特に取り組むものはない	無回答
全 体		2,636	16.6	35.8	14.7	12.6	15.0	17.2	8.4	9.5	21.1	29.2	26.8	18.0	11.6	3.5	6.3	2.2	
年齢別	10代(18・19歳)	35	17.1	34.3	14.3	17.1	5.7	20.0	20.0	5.7	17.1	45.7	34.3	5.7	2.9	2.9	0.0	0.0	
	20代	227	17.6	36.1	11.0	17.6	8.4	18.1	9.3	18.1	21.6	33.9	28.6	9.7	10.1	3.1	7.0	1.3	
	30代	308	17.9	36.0	10.7	15.6	8.8	21.4	12.3	15.6	19.5	35.1	29.9	15.3	8.4	5.5	4.9	0.0	
	40代	456	17.3	39.7	11.0	12.9	10.7	20.0	10.5	10.3	14.9	33.3	28.3	13.2	11.4	3.9	6.4	0.9	
	50代	509	16.5	39.1	14.1	12.0	14.3	19.3	8.4	10.0	17.3	27.7	24.4	17.5	11.8	3.7	6.9	1.2	
	60代	484	18.0	36.6	15.3	14.0	19.2	14.9	6.0	7.9	25.2	26.2	21.1	22.3	14.5	2.3	6.4	1.0	
	70歳以上	558	14.7	30.3	21.7	8.6	21.7	12.9	5.9	3.4	27.4	24.4	30.3	24.0	11.8	2.7	7.2	4.8	

全体より10%以上

全体より5%以上

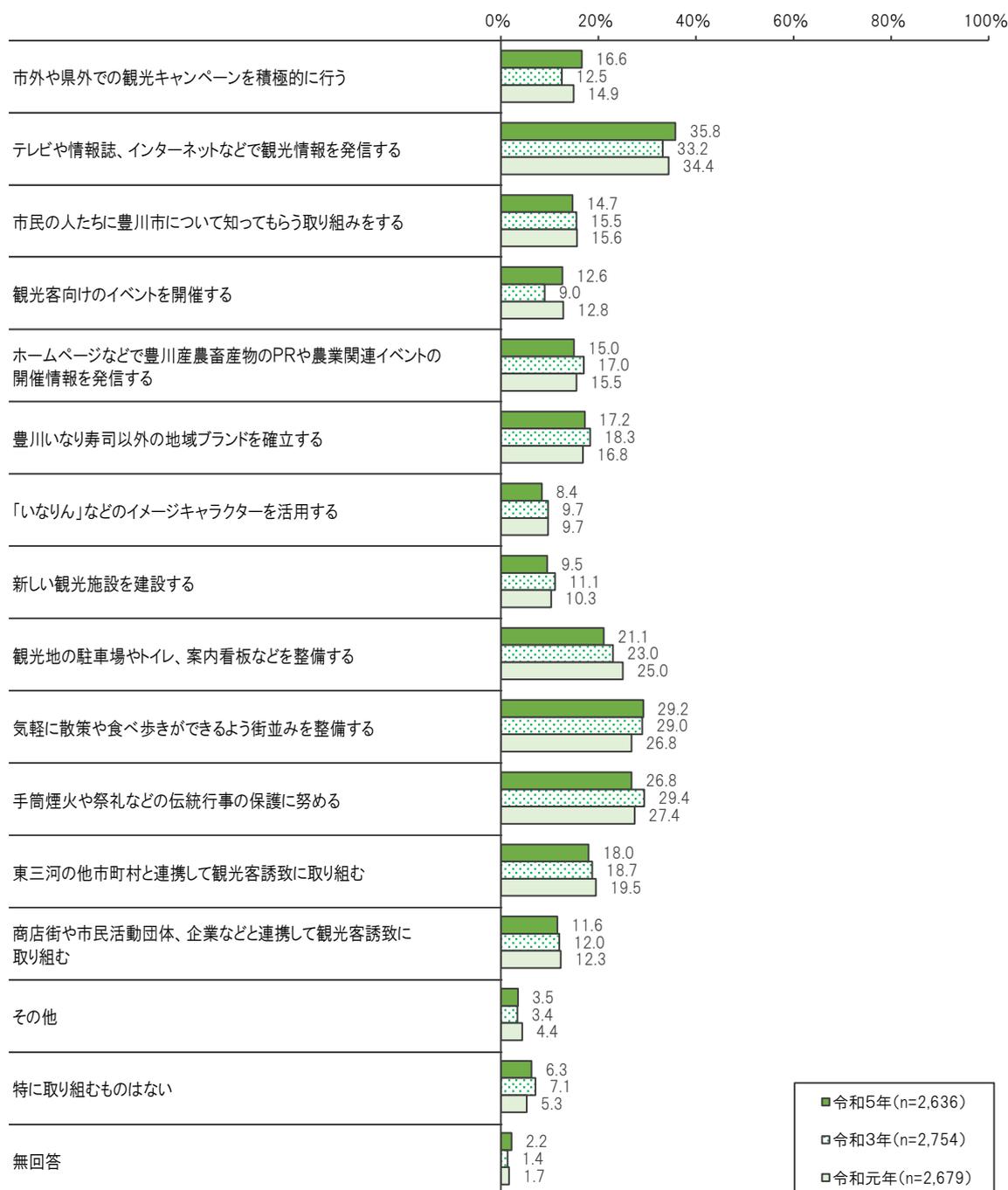
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う」（4.1ポイント増）、「観光客向けのイベントを開催する」（3.6ポイント増）、「テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する」（2.6ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める」（2.6ポイント減）、「ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや農業関連イベントの開催情報を発信する」（2.0ポイント減）などとなっている。【図表 202】

図表 202 観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）



## 8 地域・行政について

### 1 まちづくり活動への参加状況

問 20 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

#### ◆ まちづくり活動への参加状況は“参加したことがある”が60.1%、“参加したことがない”が38.3%

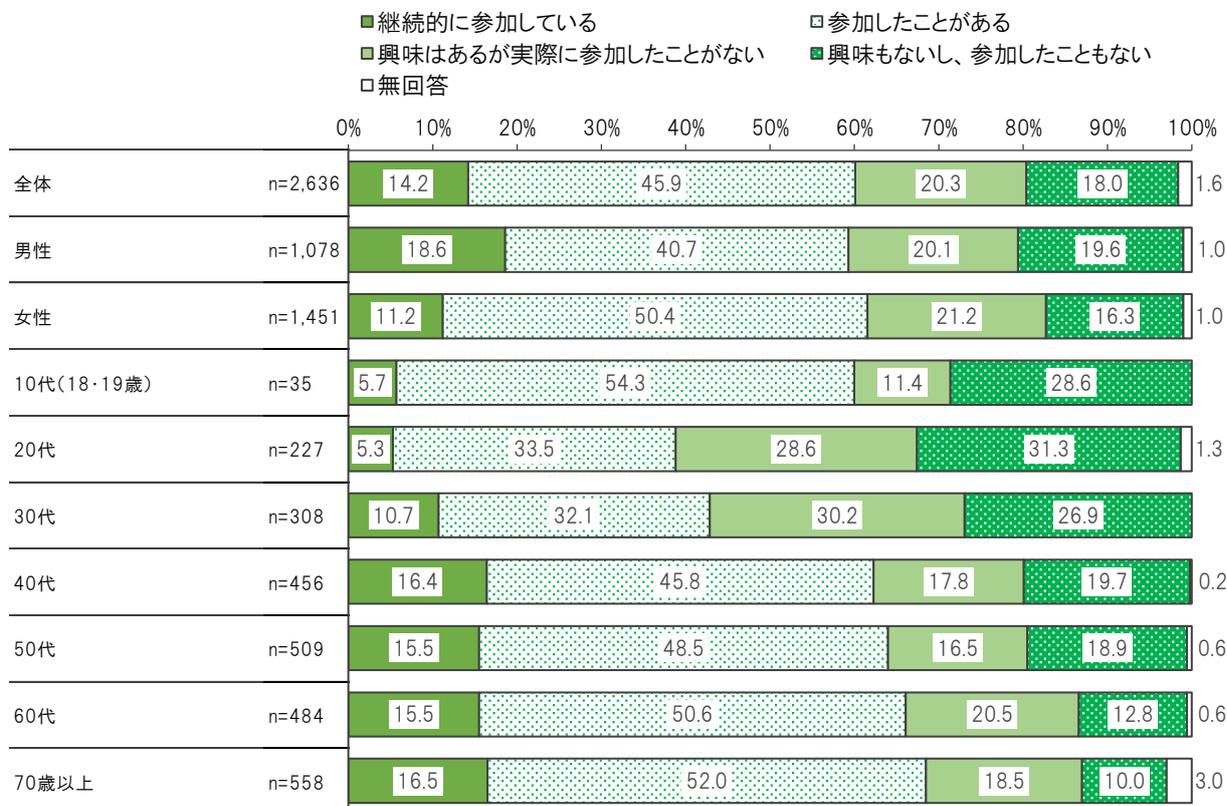
まちづくり活動への参加状況は、「継続的に参加している」（14.2%）と「参加したことがある」（45.9%）をあわせた“参加したことがある”は60.1%、「興味はあるが実際に参加したことがない」（20.3%）と「興味もないし、参加したこともない」（18.0%）をあわせた“参加したことがない”は38.3%となっている。【図表 203】

性別でみると、最も差がある項目「参加したことがある」では「女性」（50.4%）が「男性」（40.7%）を9.7ポイント上回っている。【図表 203】

年齢別でみると、「20代」、「30代」では“参加したことがない”の割合が“参加したことがある”を上回っている。【図表 203】

小学校区別でみると、全体平均と比較して“参加したことがある”では「御津北部小学校区」（71.4%）、「国府小学校区」（68.3%）、「金屋小学校区」がそれぞれ（68.0%）と割合が高くなっている。また、“参加したことがない”では「一宮東部小学校区」（55.4%）、「一宮西部小学校区」（50.0%）、「長沢小学校区」（45.9%）の割合が高くなっている。【図表 204】

図表 203 まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）



図表 204 まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）

(%)

		件数	継続的に参加している	参加したことがある	興味はあるが実際に参加したことがない	興味もないし、参加したことはない	無回答
全 体		2,636	14.2	45.9	20.3	18.0	1.6
居住 小学校区別	豊川小学校区	114	14.9	43.9	21.1	18.4	1.8
	桜木小学校区	92	8.7	51.1	17.4	21.7	1.1
	豊小学校区	117	6.0	50.4	23.9	17.9	1.7
	東部小学校区	115	19.1	47.8	22.6	9.6	0.9
	金屋小学校区	72	20.8	47.2	16.7	15.3	0.0
	三蔵子小学校区	145	11.7	45.5	29.0	13.8	0.0
	桜町小学校区	79	11.4	54.4	16.5	15.2	2.5
	代田小学校区	106	13.2	44.3	18.9	22.6	0.9
	中部小学校区	169	8.9	45.0	25.4	18.9	1.8
	牛久保小学校区	108	20.4	39.8	19.4	19.4	0.9
	天王小学校区	50	18.0	48.0	26.0	8.0	0.0
	国府小学校区	183	16.9	51.4	18.6	13.1	0.0
	御油小学校区	134	21.6	42.5	14.9	17.9	3.0
	千両小学校区	29	17.2	48.3	6.9	27.6	0.0
	八南小学校区	146	10.3	50.0	16.4	21.2	2.1
	平尾小学校区	58	8.6	46.6	22.4	19.0	3.4
	一宮東部小学校区	74	12.2	32.4	31.1	24.3	0.0
	一宮西部小学校区	118	13.6	35.6	26.3	23.7	0.8
	一宮南部小学校区	34	26.5	38.2	14.7	20.6	0.0
	赤坂小学校区	56	8.9	55.4	12.5	21.4	1.8
	長沢小学校区	37	13.5	40.5	24.3	21.6	0.0
	萩小学校区	21	38.1	28.6	14.3	19.0	0.0
	御津南部小学校区	130	13.1	50.8	20.8	14.6	0.8
御津北部小学校区	49	24.5	46.9	16.3	12.2	0.0	
小坂井東小学校区	134	20.1	44.8	16.4	18.7	0.0	
小坂井西小学校区	163	10.4	53.4	19.0	16.6	0.6	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

## 2 男女共同参画

問 21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

◆ 「男は仕事、女は家庭」という考え方について“同感する”が17.9%、“同感しない”が74.8%

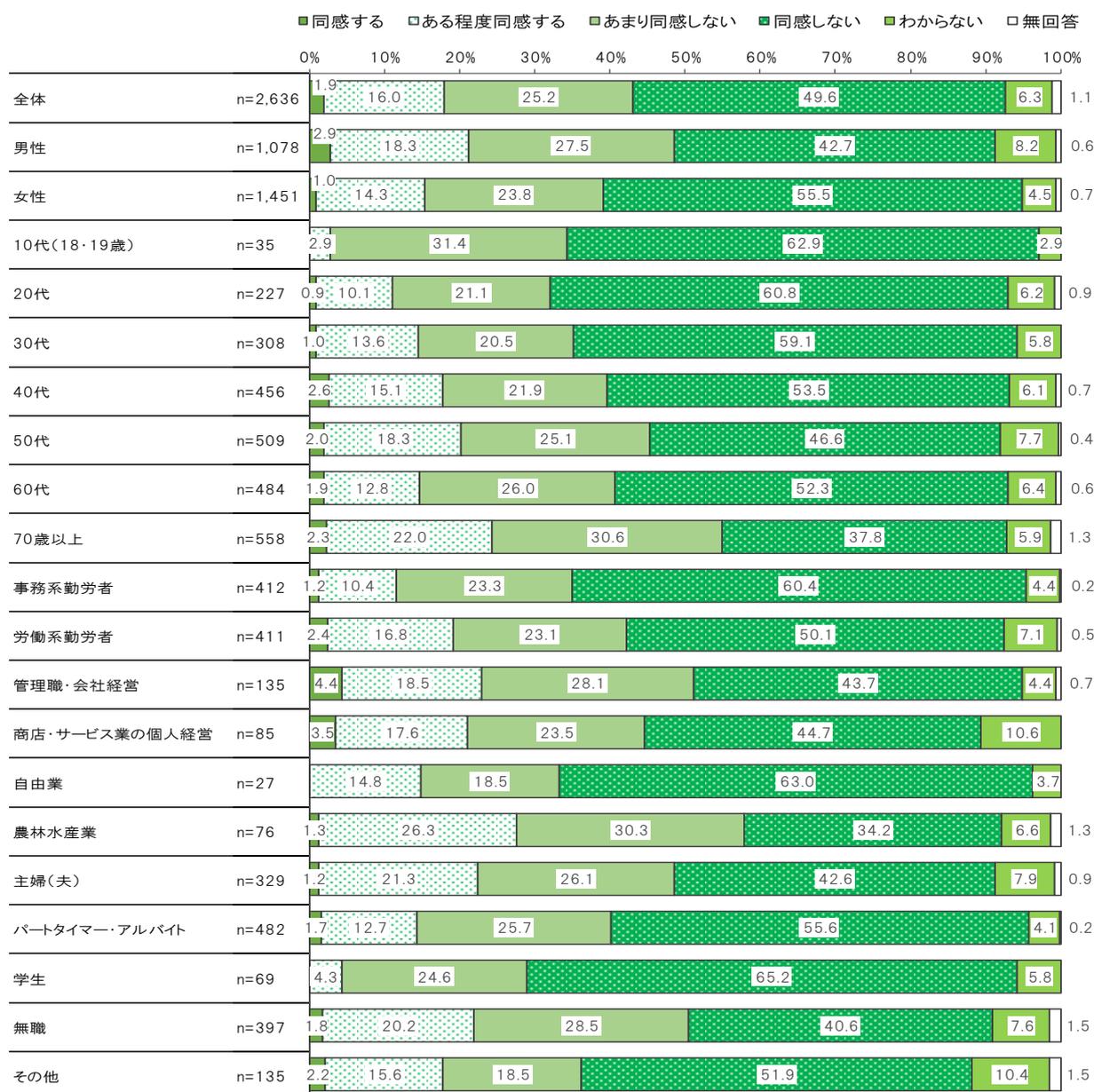
「男は仕事、女は家庭」という考え方について「同感する」(1.9%)と「ある程度同感する」(16.0%)をあわせた“同感する”が17.9%、「あまり同感しない」(25.2%)と「同感しない」(49.6%)をあわせた“同感しない”が74.8%となっている。【図表 205】

性別でみると、“同感しない”では「女性」(79.3%)が「男性」(70.2%)を9.1ポイント上回っている。

年齢別でみると、「70歳以上」では“同感する”の割合が24.3%と高くなっている。

職業別でみると、“同感する”は「農林水産業」(27.6%)、「管理職・会社経営」(22.9%)で割合が高く、一方、“同感しない”は、「学生」(89.8%)、「事務系勤労者」(83.7%)、「自由業」(81.5%)で割合が高くなっている。【図表 205】

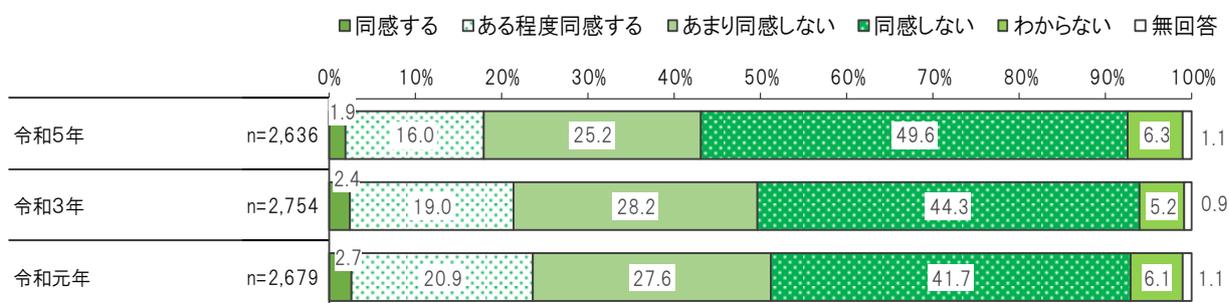
図表 205 男女共同参画（全体・性別・年齢・職業別）



## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「同感しない」（5.3ポイント増）などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「ある程度同感する」「あまり同感しない」（いずれも3.0ポイント減）などとなっている。【図表 206】

図表 206 男女共同参画（経年比較）



### 3 外国人とのつきあい方

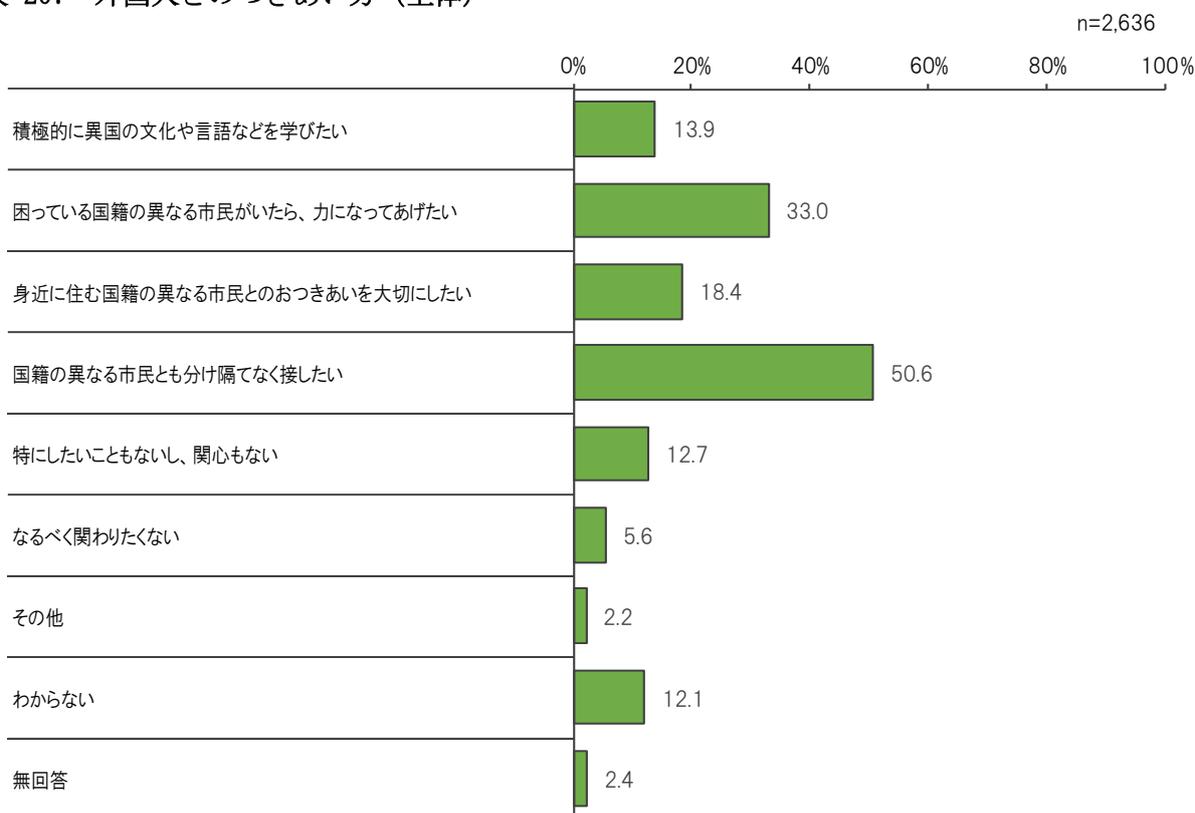
問 22 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなたは、どのようなことができますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○印をつけてください。

#### ◆ 外国人とのつきあい方は「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」が50.6%

外国人とのつきあい方は「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」(50.6%)が最も高く、次いで「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」(33.0%)、「身近に住む国籍の異なる市民とのおつきあいを大切にしたい」(18.4%)の順となっている。【図表 207】

年齢別でみると、全体平均と比較して「積極的に異国の文化や言語などを学びたい」では「10代(18・19歳)」(28.6%)、「20代」(23.8%)、「30代」(21.4%)の割合が高くなっている。「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」では「10代(18・19歳)」(45.7%)の割合が高く、また、「国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい」では「60代」(56.8%)、「70歳以上」(56.3%)の割合が高くなっている。【図表 208】

図表 207 外国人とのつきあい方 (全体)



図表 208 外国人とのつきあい方（全体・年齢別）

(%)

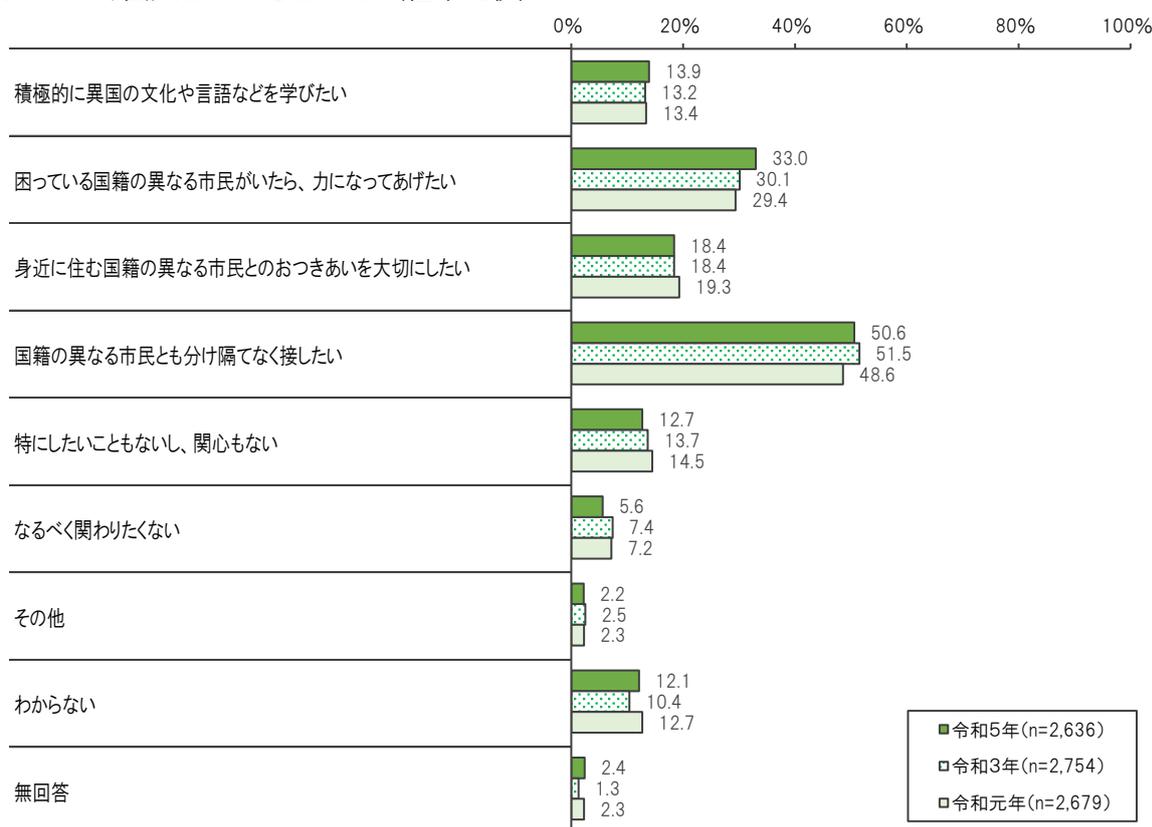
	件数	積極的に異国の文化や言語などを学びたい	困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい	身近に住む国籍の異なる市民とおつきあいを大切にしたい	国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい	特にしたいこともないし、関心もない	なるべく関わりたくない	その他	わからない	無回答	
全体	2,636	13.9	33.0	18.4	50.6	12.7	5.6	2.2	12.1	2.4	
年齢別	10代(18・19歳)	35	28.6	45.7	20.0	48.6	8.6	0.0	2.9	8.6	0.0
	20代	227	23.8	36.6	15.0	44.5	11.5	4.4	3.1	11.5	0.9
	30代	308	21.4	36.7	16.9	42.9	12.7	5.8	2.9	11.0	0.6
	40代	456	17.5	33.6	16.2	47.8	11.2	3.7	3.1	9.9	1.3
	50代	509	13.0	29.5	16.9	49.1	10.0	5.3	2.2	14.7	1.8
	60代	484	10.3	29.5	20.7	56.8	14.7	7.2	1.4	10.7	2.7
	70歳以上	558	6.8	34.8	22.2	56.3	15.2	6.5	1.4	14.0	3.6



◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい」(2.9ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「なるべく関わりたくない」(1.8ポイント減)などとなっている。【図表 209】

図表 209 外国人とのつきあい方（経年比較）



## 4 広報紙等の閲読率

問 23 あなたは、市が配付している広報紙（毎月1日発行）や議会だより（6月・8月・11月・2月に発行。広報紙に折り込み）などをどの程度読んでいますか。次の中からそれぞれにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

## ①広報とよかわ

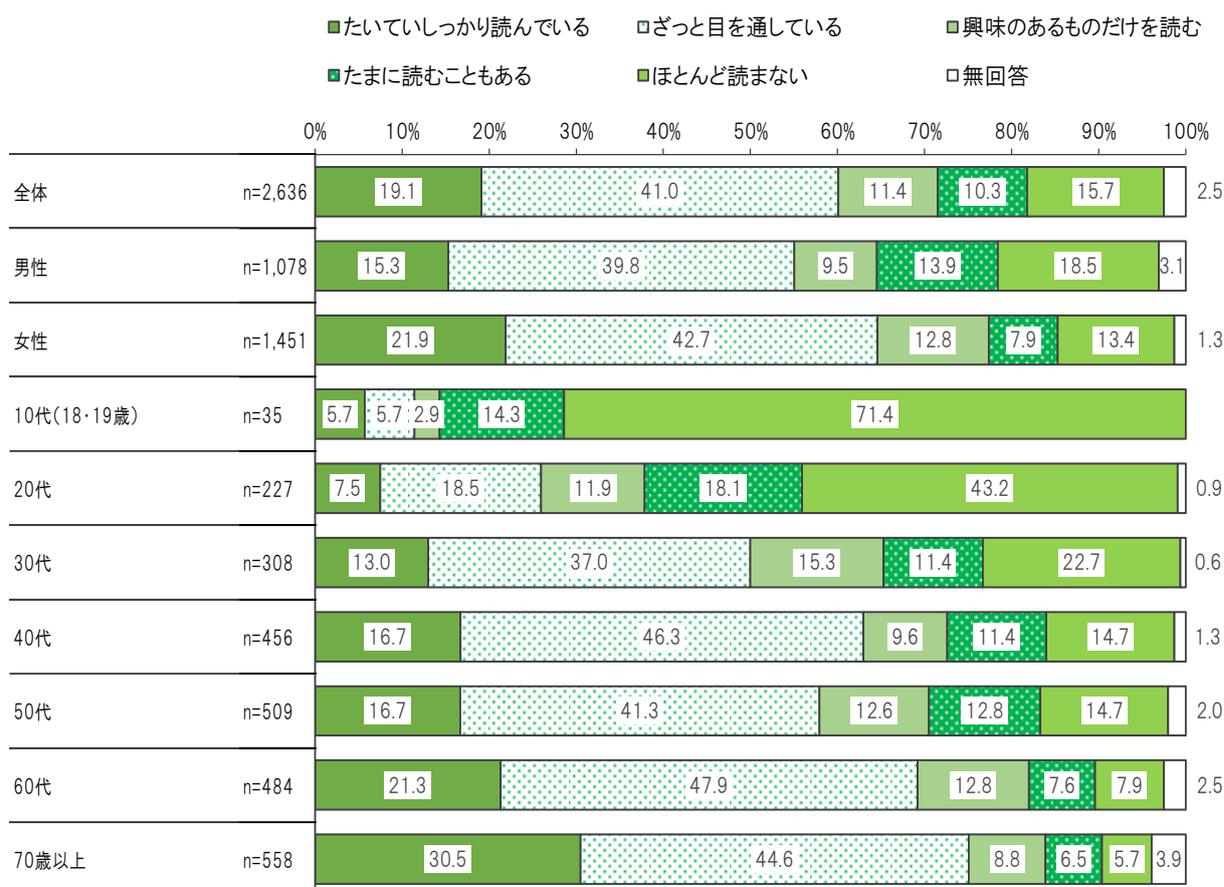
◆ 広報とよかわの閲読率は「ざっと目を通してている」が41.0%、「たいていしっかり読んでいる」が19.1%

広報とよかわの閲読率は「ざっと目を通してている」（41.0%）が最も高く、次いで「たいていしっかり読んでいる」（19.1%）、「ほとんど読まない」（15.7%）、「興味のあるものだけを読む」（11.4%）、「たまに読むこともある」（10.3%）の順となっている。【図表 210】

性別でみると、「たいていしっかり読んでいる」では「女性」（21.9%）が「男性」（15.3%）を6.6ポイント上回っている。【図表 210】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいる」の割合が高く、「70歳以上」では30.5%となっている。また、「ほとんど読まない」では「10代（18・19歳）」（71.4%）と「70歳以上」（5.7%）の差が65.7ポイントと大きくなっている。【図表 210】

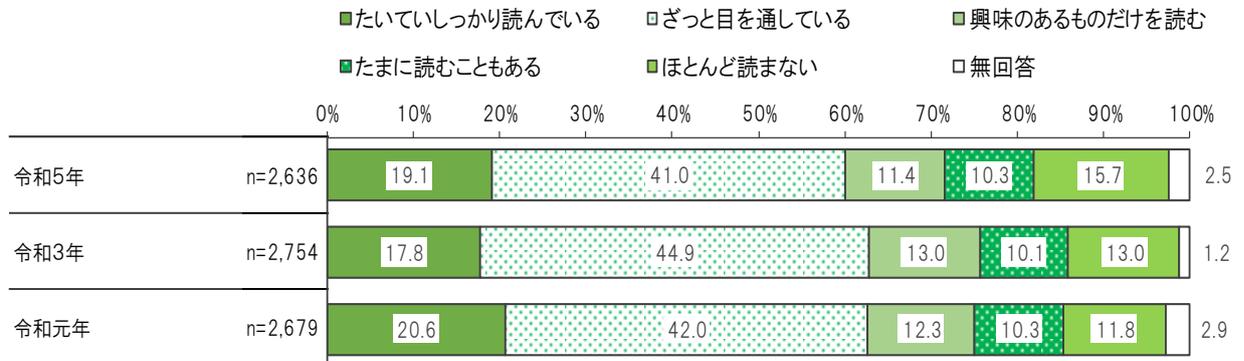
図表 210 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（全体・性別・年齢別）



## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」(2.7ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「ざっと目を通している」(3.9ポイント減)などとなっている。【図表 211】

図表 211 広報紙等の閲読率「広報とよかわ」(経年比較)



## ②議会だより

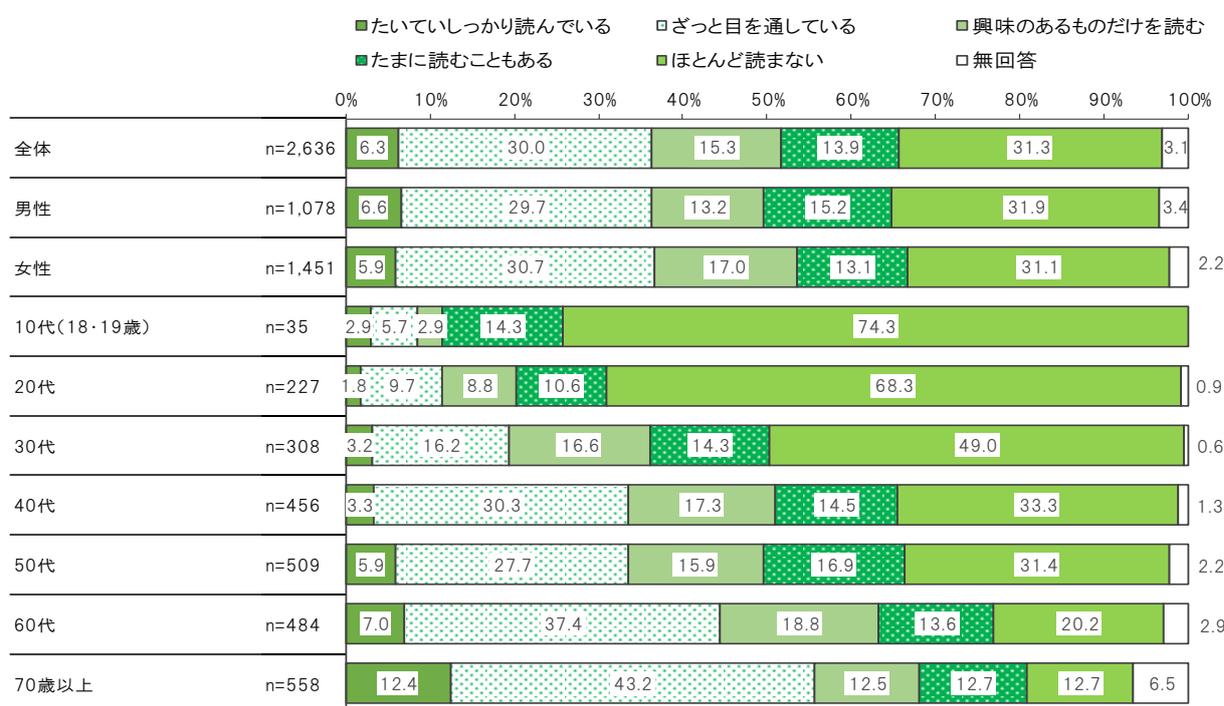
## ◆ 議会だよりの閲読率は「ほとんど読まない」が31.3%、「ざっと目を通している」が30.0%

議会だよりの閲読率は「ほとんど読まない」(31.3%)が最も高く、次いで「ざっと目を通している」(30.0%)、「興味のあるものだけを読む」(15.3%)、「たまに読むこともある」(13.9%)、「たいていしっかり読んでいる」(6.3%)の順となっている。【図表 212】

性別による大きな差はみられない。【図表 212】

年齢別で見ると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通している」をあわせた“ひと通り読んでいる”割合が高くなっている。また、「ほとんど読まない」では「10代(18・19歳)」(74.3%)と「70歳以上」(12.7%)との差が61.6ポイントと大きくなっている。【図表 212】

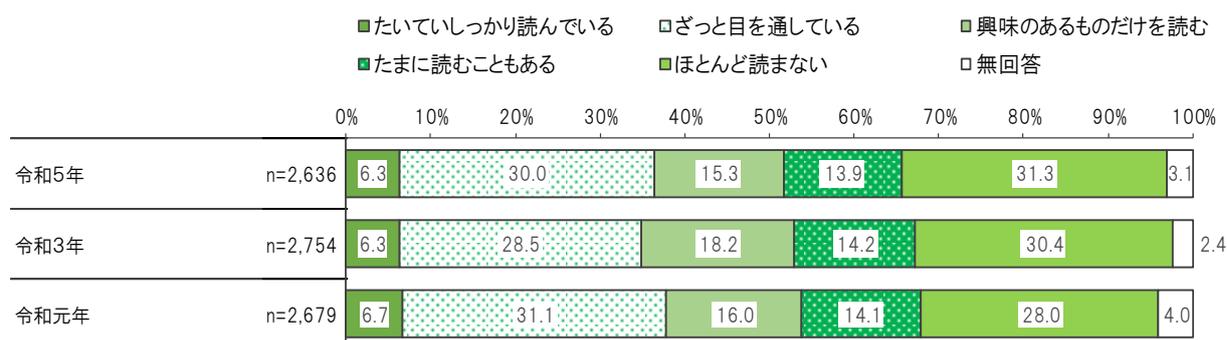
図表 212 広報紙等の閲読率「議会だより」(全体・性別・年齢別)



## ◆ 経年比較 ◆

経年比較で見ると、前回調査と比較して増加した項目は、「ざっと目を通している」(1.5ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「興味のあるものだけを読む」(2.9ポイント減)などとなっている。【図表 213】

図表 213 広報紙等の閲読率「議会だより」(経年比較)



## ③その他のお知らせ

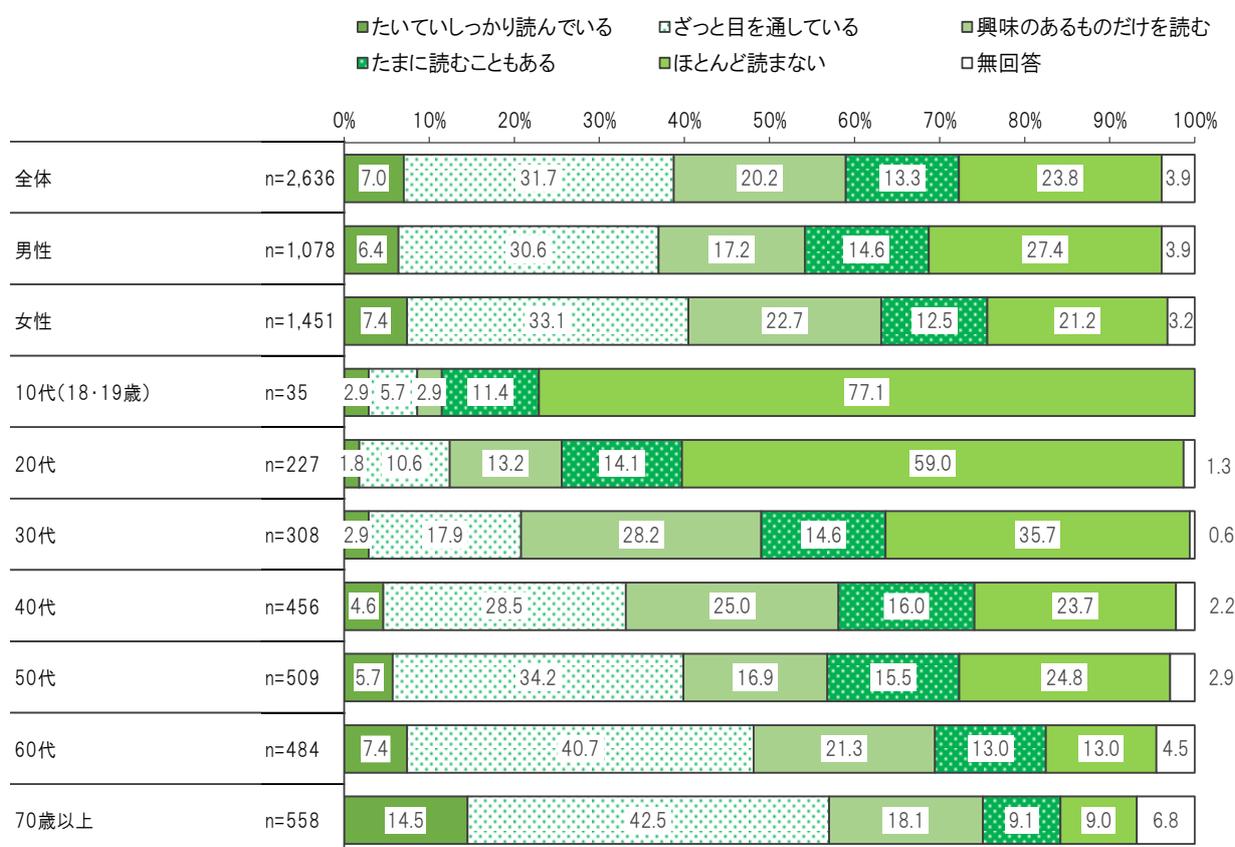
## ◆ その他のお知らせの閲読率は「ざっと目を通して」31.7%、「ほとんど読まない」23.8%

その他のお知らせの閲読率は「ざっと目を通して」(31.7%)が最も高く、次いで「ほとんど読まない」(23.8%)、「興味のあるものだけを読む」(20.2%)、「たまに読むこともある」(13.3%)、「たいていしっかり読んでいる」(7.0%)の順となっている。【図表 214】

性別でみると、「ほとんど読まない」では「男性」(27.4%)が「女性」(21.2%)を6.2ポイント上回っている。【図表 214】

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、「たいていしっかり読んでいる」と「ざっと目を通して」の割合が概ね高くなっている。また、「ほとんど読まない」では「10代(18・19歳)」(77.1%)と「70歳以上」(9.0%)との差が68.1ポイントと大きくなっている。【図表 214】

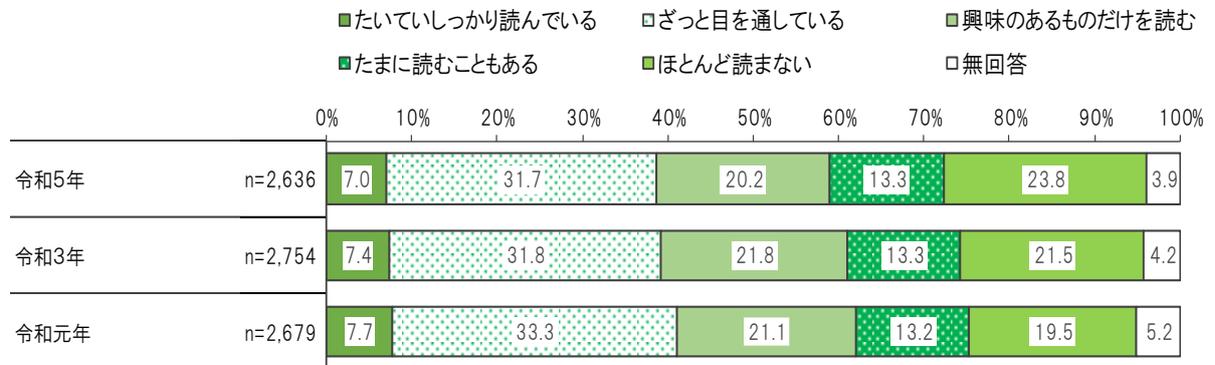
図表 214 広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」(全体・性別・年齢別)



## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は、「ほとんど読まない」（2.3ポイント増）などとなっている。【図表 215】

図表 215 広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（経年比較）



## 5 インターネットの利用端末

問 24 あなたは、インターネットをどのような端末で利用していますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

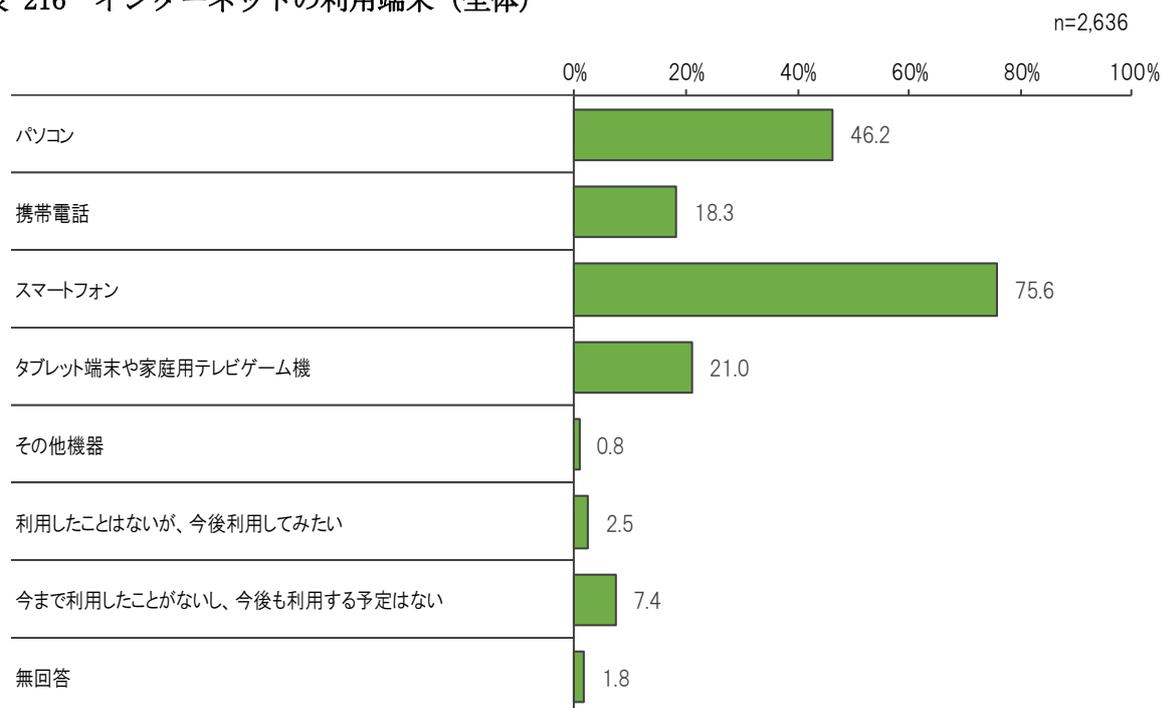
### ◆ インターネットの利用端末は「スマートフォン」が75.6%、「パソコン」が46.2%

インターネットの利用端末は「スマートフォン」(75.6%)が最も高く、次いで「パソコン」(46.2%)、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム機」(21.0%)、「携帯電話」(18.3%)、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」(7.4%)の順となっている。【図表 216】

年齢別で見ると、「スマートフォン」は「10代(18・19歳)」から「50代」で8割以上と割合が高く、最も割合の低い「70歳以上」では42.3%となっている。また、「パソコン」は、「10代(18・19歳)」(68.6%)で最も割合が高くなっている。一方、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」は「70歳以上」で24.9%と割合が高くなっている。【図表 217】

職業別で見ると、「パソコン」は「自由業」(74.1%)、「学生」(73.9%)、「管理職・会社経営」(68.9%)、「事務系勤労者」(61.2%)で割合が高くなっている。また、これらの層は「スマートフォン」の利用割合も高くなっている。一方、「今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない」は「農林水産業」(23.7%)で割合が高くなっている。【図表 217】

図表 216 インターネットの利用端末 (全体)



図表 217 インターネットの利用端末（全体・年齢・職業別）

		(%)									
		件数	パソコン	携帯電話	スマートフォン	タブレット端末や家庭用テレビゲーム機	その他機器	利用してみたい	利用したことはないが、今後	今でも利用する予定はないし、今まで利用したことがないし、	無回答
全 体		2,636	46.2	18.3	75.6	21.0	0.8	2.5	7.4	1.8	
年齢別	10代(18・19歳)	35	68.6	22.9	100.0	45.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20代	227	48.5	11.9	94.7	28.2	0.0	0.0	0.9	0.4	
	30代	308	45.5	14.3	91.9	31.2	1.6	0.6	1.0	0.3	
	40代	456	56.1	16.0	91.7	29.2	0.9	0.4	0.9	1.1	
	50代	509	54.0	20.2	84.9	21.0	0.4	0.2	1.4	1.2	
	60代	484	46.1	21.5	70.9	14.9	0.8	2.7	6.8	1.2	
	70歳以上	558	31.2	20.6	42.3	9.9	0.9	8.1	24.9	3.2	
職業別	事務系勤労者	412	61.2	17.0	88.8	25.2	1.5	0.2	1.0	1.2	
	労働系勤労者	411	49.6	18.5	87.1	24.6	0.7	1.5	2.4	0.5	
	管理職・会社経営	135	68.9	19.3	80.7	29.6	0.0	2.2	3.0	2.2	
	商店・サービス業の個人経営	85	47.1	25.9	70.6	23.5	1.2	1.2	11.8	1.2	
	自由業	27	74.1	14.8	85.2	25.9	3.7	0.0	0.0	0.0	
	農林水産業	76	38.2	9.2	56.6	11.8	0.0	9.2	23.7	1.3	
	主婦(夫)	329	32.2	19.8	65.3	19.8	0.6	4.9	11.2	0.9	
	パートタイマー・アルバイト	482	36.9	17.0	83.4	17.2	0.6	1.2	2.7	0.8	
	学生	69	73.9	15.9	97.1	39.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	無職	397	38.0	20.4	48.6	13.4	1.0	5.0	21.7	4.0	
	その他	135	54.1	18.5	84.4	23.0	0.0	0.7	3.7	0.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

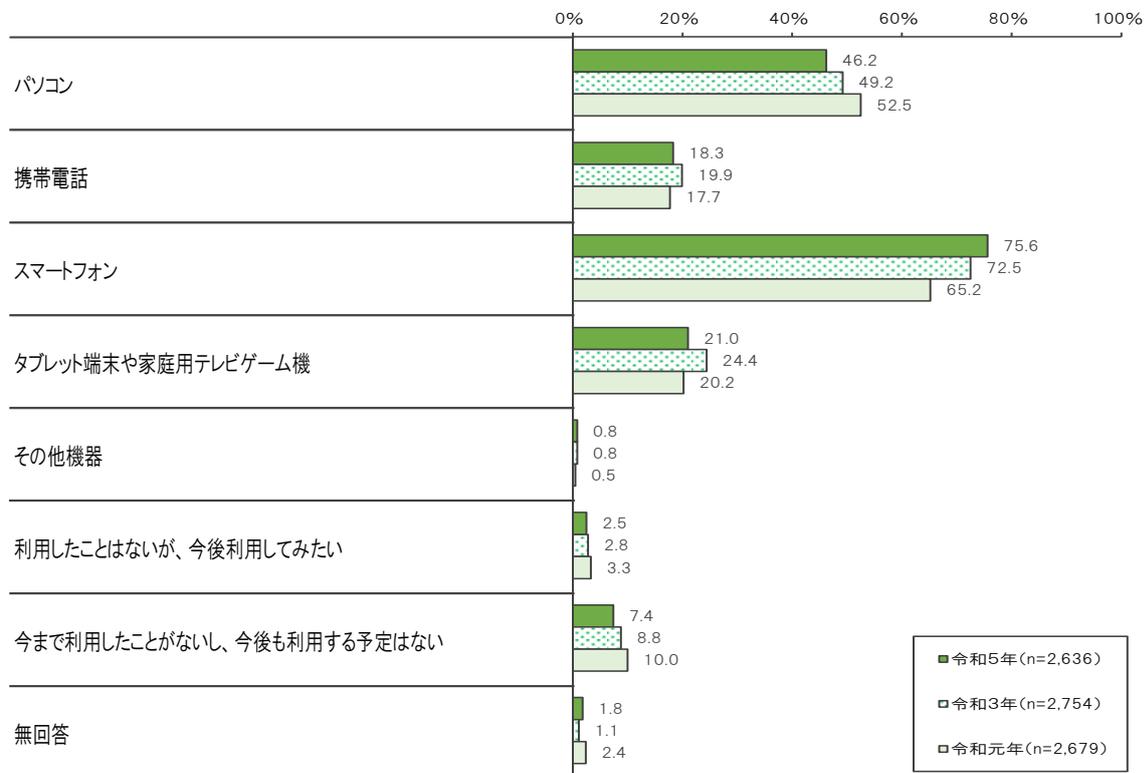
全体より5%以下

全体より10%以下

## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回調査と比較して増加した項目は「スマートフォン」(3.1ポイント増)などとなっている。一方、前回調査と比較して減少した項目は、「タブレット端末や家庭用テレビゲーム機」(3.4ポイント減)、「パソコン」(3.0ポイント減)などとなっている。【図表 218】

図表 218 インターネットの利用端末（経年比較）



## 6 市の職員の対応への評価

問 25 あなたは最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

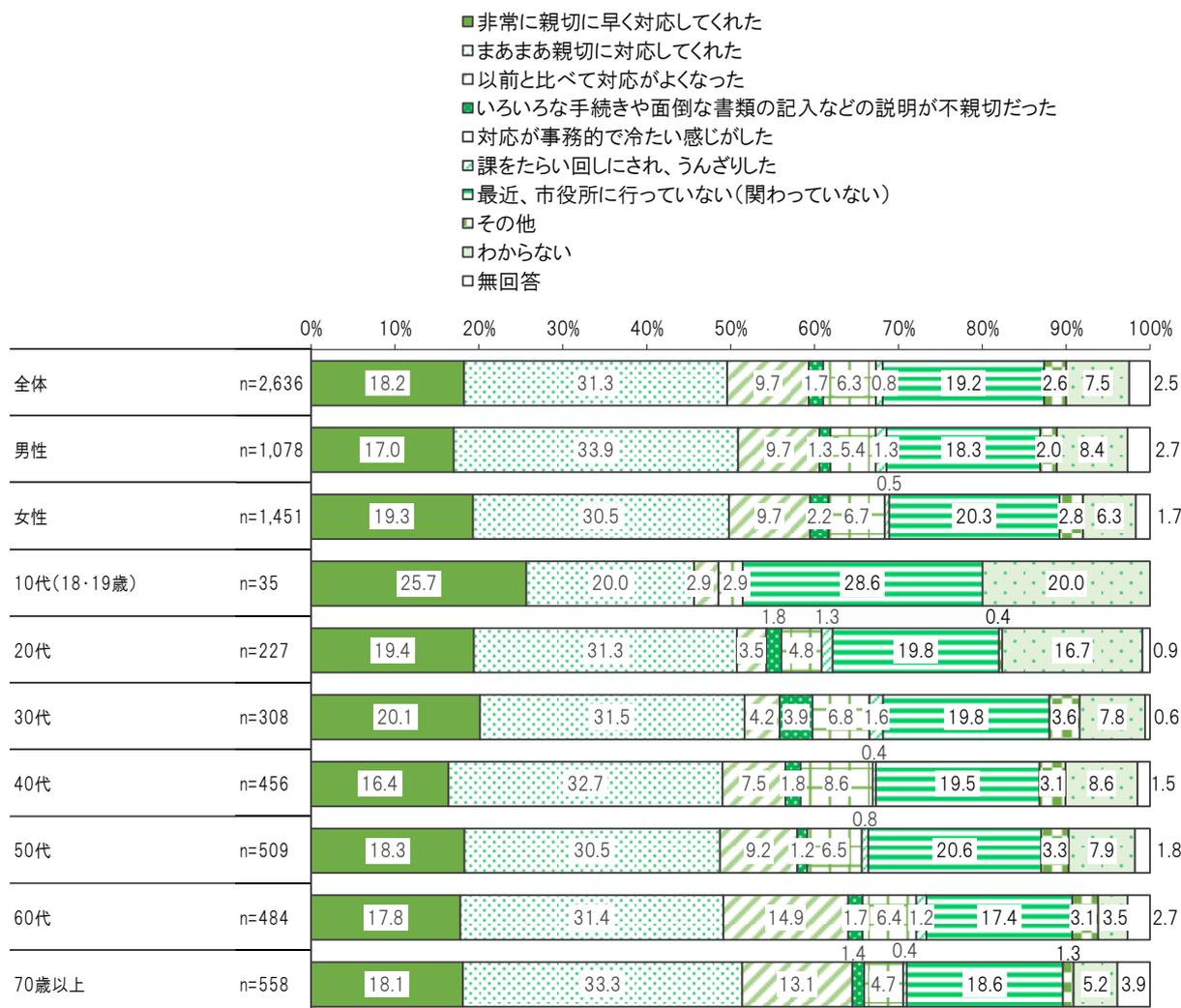
### ◆ 市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」が31.3%

市の職員の対応への評価は「まあまあ親切に対応してくれた」(31.3%)が最も高く、次いで「最近、市役所に行っていない(関わっていない)」(19.2%)、「非常に親切に早く対応してくれた」(18.2%)、「以前と比べて対応がよくなった」(9.7%)、「わからない」(7.5%)の順となっている。【図表 219】

性別でみると、「まあまあ親切に対応してくれた」では「男性」(33.9%)が「女性」(30.5%)を3.4ポイント上回っている。【図表 219】

年齢別でみると、「非常に親切に早く対応してくれた」は「10代(18・19歳)」(25.7%)の割合が最も高くなっている。また、「以前と比べて対応がよくなった」は、「60代」(14.9%)、「70歳以上」(13.1%)で割合が高くなっている。【図表 219】

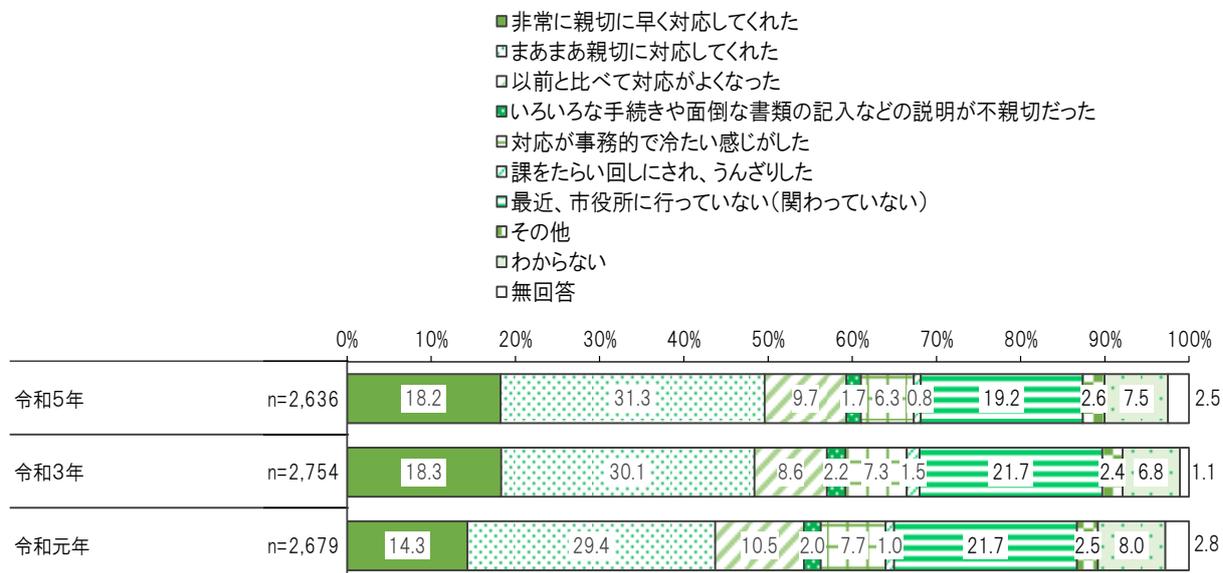
図表 219 市の職員の対応への評価(全体・性別・年齢別)



## ◆ ■ 経年比較 ■ ◆

経年比較でみると、前回の調査と比較して増加した項目は、「まあまあ親切に対応してくれた」（1.2ポイント増）などとなっている。【図表 220】

図表 220 市の職員への対応への評価（経年比較）



## 7 定住・交流施策

問 26 今後、豊川市が少子高齢化や人口減少といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことが大切です。この中で、あなたが大切だと考える定住・交流施策を大切だと思う順に3つまで選び、下の解答欄に番号を記入してください。

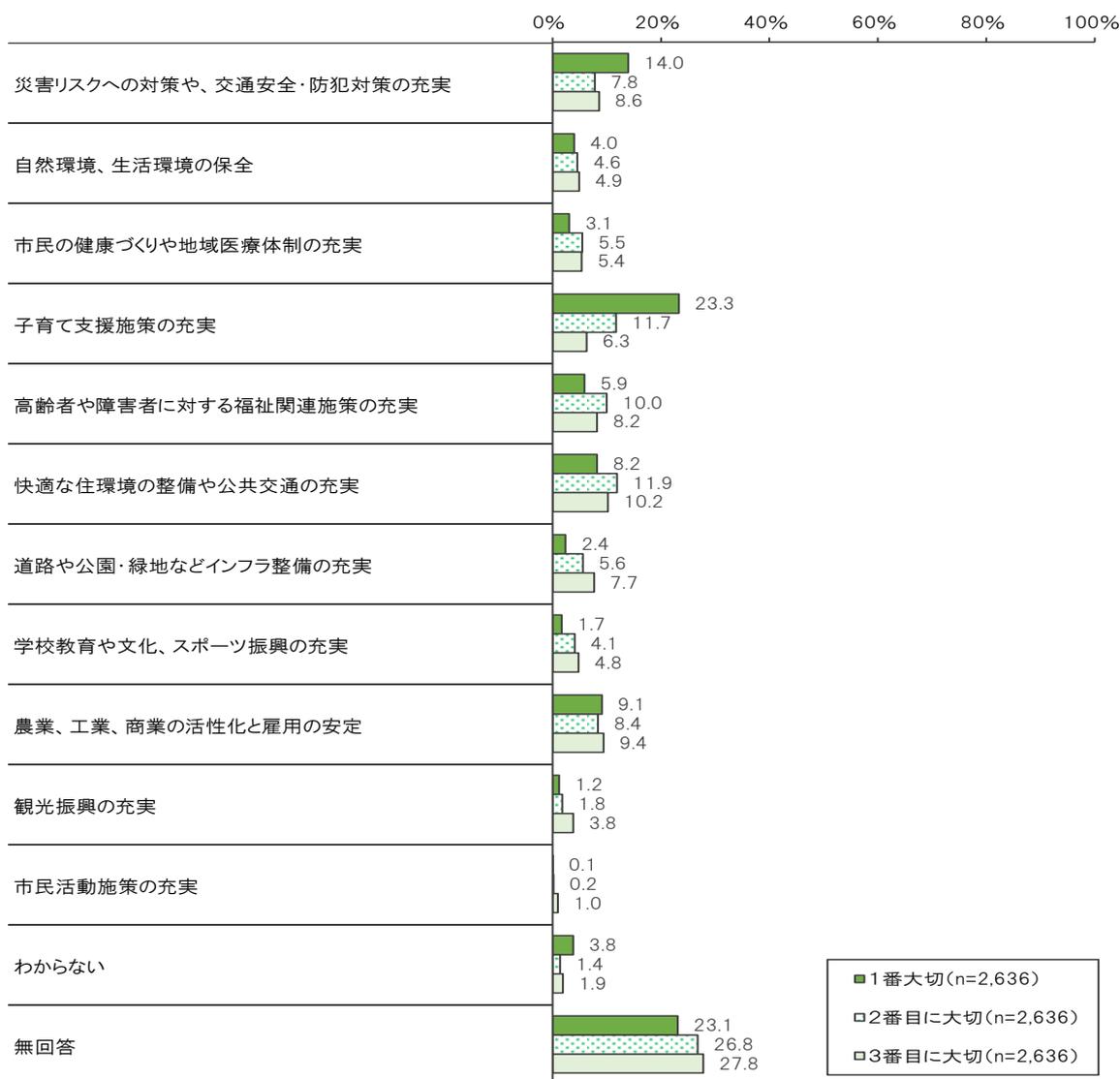
## ◆ 1番大切だと考える定住・交流施策は“子育て支援施策の充実”が23.3%

1番大切だと考える定住・交流施策は「子育て支援施策の充実」(23.3%)が最も高く、次いで「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(14.0%)、「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(9.1%)の順となっている。【図表 221】

2番目に大切だと考える定住・交流施策は「快適な住環境の整備や公共交通の充実」(11.9%)が最も高く、次いで「子育て支援施策の充実」(11.7%)、「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」(10.0%)の順となっている。【図表 221】

3番目に大切だと考える定住・交流施策は「快適な住環境の整備や公共交通の充実」(10.2%)が最も高く、次いで「農業、工業、商業の活性化と雇用の安定」(9.4%)、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」(8.6%)の順となっている。【図表 221】

図表 221 大切だと考える定住・交流施策（全体）



## ◆ ■ 1番大切だと考える定住・交流施策 ■ ◆

性別でみると、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では、「男性」(3.5%)が「女性」(1.5%)を2.0ポイント上回っている。【図表 222】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「子育て支援施策の充実」では「30代」(42.9%)、「20代」(40.1%)の割合が高くなっている。【図表 222】

小学校区別でみると、「子育て支援施策の充実」では「長沢小学校区」(43.2%)、「平尾小学校区」(34.5%)の割合が高くなっている。【図表 222】

図表 222 1番大切だと考える定住・交流施策(全体・性別・年齢別・小学校区別)

		件数	災害・防犯対策への対策や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉	快適な住環境の整備や公共交通	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	雇用の安定、商業の活性化と	農業、工業、観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,636	14.0	4.0	3.1	23.3	5.9	8.2	2.4	1.7	9.1	1.2	0.1	3.8	23.1
性別	男性	1,078	14.2	4.3	3.2	23.8	5.9	7.7	3.5	1.5	9.8	1.9	0.3	3.3	20.5
	女性	1,451	13.9	3.7	2.9	23.7	5.9	8.8	1.5	1.9	8.9	0.8	0.0	3.3	24.7
年齢別	10代(18・19歳)	35	14.3	0.0	8.6	22.9	0.0	14.3	2.9	5.7	2.9	5.7	0.0	5.7	17.1
	20代	227	13.2	4.0	2.2	40.1	4.4	5.7	3.1	3.5	4.4	3.5	0.4	5.3	10.1
	30代	308	11.0	2.9	1.6	42.9	3.2	9.4	4.2	2.3	6.5	0.6	0.3	3.6	11.4
	40代	456	14.3	2.9	2.9	28.3	5.9	9.4	2.0	3.3	11.8	2.2	0.0	2.0	15.1
	50代	509	14.1	3.7	2.8	19.3	4.7	12.4	3.1	1.2	12.0	1.2	0.2	5.7	19.6
	60代	484	15.5	3.1	3.7	17.1	7.2	7.9	1.7	0.4	10.3	0.4	0.0	3.7	28.9
	70歳以上	558	14.0	6.3	3.8	11.8	8.2	4.3	1.4	0.9	7.3	0.2	0.0	3.2	38.5
居住 小学校区別	豊川小学校区	114	12.3	5.3	1.8	25.4	6.1	7.9	0.9	1.8	7.9	1.8	0.9	6.1	21.9
	桜木小学校区	92	13.0	5.4	5.4	19.6	8.7	6.5	3.3	1.1	5.4	1.1	0.0	5.4	25.0
	豊小学校区	117	10.3	0.0	1.7	29.1	4.3	6.8	3.4	2.6	14.5	0.0	0.0	2.6	24.8
	東部小学校区	115	17.4	5.2	2.6	19.1	5.2	6.1	0.9	0.9	13.0	0.9	0.0	7.8	20.9
	金屋小学校区	72	15.3	2.8	1.4	26.4	6.9	8.3	4.2	1.4	9.7	0.0	0.0	5.6	18.1
	三蔵子小学校区	145	14.5	4.1	2.1	22.8	5.5	12.4	3.4	1.4	9.0	1.4	0.0	3.4	20.0
	桜町小学校区	79	12.7	2.5	3.8	22.8	8.9	10.1	3.8	2.5	7.6	2.5	0.0	2.5	20.3
	代田小学校区	106	16.0	5.7	2.8	22.6	4.7	11.3	1.9	0.9	11.3	0.9	0.0	3.8	17.9
	中部小学校区	169	11.2	5.3	3.6	27.2	8.9	6.5	3.6	2.4	5.3	0.0	0.0	5.3	20.7
	牛久保小学校区	108	13.9	2.8	4.6	24.1	5.6	11.1	0.0	3.7	7.4	0.0	0.0	3.7	23.1
	天王小学校区	50	16.0	2.0	4.0	20.0	6.0	8.0	2.0	2.0	10.0	2.0	0.0	2.0	26.0
	国府小学校区	183	12.6	6.0	2.2	24.0	4.9	10.9	1.6	1.1	12.0	2.7	0.0	2.7	19.1
	御油小学校区	134	13.4	3.0	1.5	23.9	6.0	9.0	1.5	2.2	5.2	0.7	0.0	3.0	30.6
	千両小学校区	29	10.3	13.8	3.4	20.7	3.4	10.3	6.9	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	20.7
	八南小学校区	146	13.0	7.5	2.7	21.9	1.4	4.8	2.7	1.4	9.6	3.4	0.0	2.7	28.8
	平尾小学校区	58	8.6	1.7	1.7	34.5	8.6	3.4	6.9	3.4	8.6	1.7	0.0	3.4	17.2
	一宮東部小学校区	74	16.2	6.8	4.1	12.2	5.4	2.7	1.4	1.4	14.9	2.7	0.0	2.7	29.7
	一宮西部小学校区	118	18.6	3.4	4.2	22.0	7.6	5.1	0.8	1.7	10.2	0.8	0.0	0.0	25.4
	一宮南部小学校区	34	14.7	0.0	2.9	26.5	8.8	8.8	0.0	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	20.6
	赤坂小学校区	56	10.7	5.4	3.6	28.6	5.4	8.9	7.1	1.8	5.4	1.8	0.0	0.0	21.4
	長沢小学校区	37	10.8	2.7	0.0	43.2	8.1	10.8	5.4	2.7	8.1	0.0	2.7	5.4	0.0
	萩小学校区	21	9.5	4.8	4.8	9.5	9.5	14.3	4.8	4.8	9.5	0.0	0.0	0.0	28.6
	御津南部小学校区	130	16.9	1.5	3.1	24.6	3.8	9.2	2.3	1.5	11.5	2.3	0.0	3.8	19.2
御津北部小学校区	49	14.3	0.0	2.0	24.5	6.1	20.4	2.0	0.0	4.1	2.0	0.0	0.0	24.5	
小坂井東小学校区	134	11.9	1.5	4.5	24.6	6.0	7.5	0.7	2.2	7.5	0.0	0.0	5.2	28.4	
小坂井西小学校区	163	14.7	3.1	4.9	18.4	6.7	7.4	1.8	0.6	7.4	1.2	0.6	6.1	27.0	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

◆ 2番目に大切だと考える定住・交流施策 ◆

性別でみると、「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」では「女性」(11.0%)が「男性」(8.6%)を2.4ポイント上回っている。【図表 223】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「市民の健康づくりや地域医療体制の充実」では「10代(18・19歳)」(11.4%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「20代」(18.9%)、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では「30代」(12.0%)の割合が高くなっている。【図表 223】

小学校区別でみると、「高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実」では「千両小学校区」(20.7%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「長沢小学校区」(29.7%)の割合が高くなっている。【図表 223】

図表 223 2番目に大切だと考える定住・交流施策(全体・性別・年齢別・小学校区別)

		件数	災害リスクへの対策や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療体制の充実	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実	快適な住環境の整備や公共交通の充実	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	農業、工業、商業の活性化と雇用の安定	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,636	7.8	4.6	5.5	11.7	10.0	11.9	5.6	4.1	8.4	1.8	0.2	1.4	26.8
性別	男性	1,078	7.8	4.9	5.9	12.8	8.6	13.1	7.0	4.0	8.4	2.4	0.2	1.4	23.5
	女性	1,451	7.9	4.5	5.2	11.3	11.0	11.4	4.9	4.5	8.5	1.2	0.2	0.8	28.6
年齢別	10代(18・19歳)	35	5.7	5.7	11.4	14.3	8.6	14.3	5.7	5.7	5.7	0.0	0.0	5.7	17.1
	20代	227	10.1	3.1	3.5	15.9	5.3	18.9	5.7	8.8	8.4	4.4	0.0	4.0	11.9
	30代	308	9.7	2.9	5.2	13.6	8.8	11.7	12.0	7.1	10.7	2.3	0.0	1.9	14.0
	40代	456	12.3	3.5	5.9	13.8	12.3	11.2	5.9	4.6	8.6	2.9	0.2	0.9	18.0
	50代	509	6.3	5.7	5.5	11.4	9.8	15.7	3.3	3.9	10.0	1.8	0.2	2.6	23.8
	60代	484	6.2	5.4	6.4	11.8	9.1	10.7	5.6	2.3	6.8	0.6	0.4	0.4	34.3
	70歳以上	558	5.4	5.7	5.0	7.9	11.8	7.9	3.8	2.3	6.8	0.5	0.2	0.0	42.7
居住小学校区別	豊川小学校区	114	10.5	2.6	9.6	11.4	7.9	9.6	5.3	5.3	7.9	0.9	0.0	1.8	27.2
	桜木小学校区	92	5.4	4.3	1.1	18.5	10.9	13.0	0.0	1.1	10.9	2.2	0.0	4.3	28.3
	豊小学校区	117	6.0	5.1	3.4	13.7	11.1	12.0	4.3	5.1	6.8	0.9	1.7	0.9	29.1
	東部小学校区	115	8.7	8.7	5.2	7.0	7.8	11.3	7.0	5.2	8.7	1.7	0.0	0.9	27.8
	金屋小学校区	72	5.6	2.8	2.8	15.3	8.3	11.1	8.3	1.4	15.3	4.2	0.0	1.4	23.6
	三蔵子小学校区	145	11.0	4.1	6.2	11.0	11.0	14.5	4.1	2.8	6.9	3.4	0.0	1.4	23.4
	桜町小学校区	79	8.9	2.5	6.3	10.1	6.3	13.9	3.8	5.1	13.9	3.8	0.0	1.3	24.1
	代田小学校区	106	12.3	4.7	6.6	16.0	10.4	11.3	1.9	9.4	3.8	0.9	0.0	1.9	20.8
	中部小学校区	169	8.3	7.7	6.5	11.2	8.9	13.0	7.7	4.1	4.7	1.2	0.0	1.8	24.9
	牛久保小学校区	108	4.6	8.3	2.8	9.3	16.7	10.2	7.4	3.7	7.4	0.9	0.0	0.0	28.7
	天王小学校区	50	10.0	4.0	8.0	14.0	8.0	6.0	10.0	4.0	6.0	2.0	0.0	0.0	28.0
	国府小学校区	183	8.2	3.8	9.3	13.1	13.1	13.1	4.9	1.1	9.8	1.1	0.0	1.6	20.8
	御油小学校区	134	9.7	4.5	6.7	9.7	8.2	9.7	3.7	3.7	8.2	0.7	0.7	1.5	32.8
	千両小学校区	29	17.2	0.0	10.3	3.4	20.7	6.9	6.9	6.9	3.4	3.4	0.0	0.0	20.7
	八南小学校区	146	6.2	2.1	4.1	13.0	12.3	8.9	5.5	2.1	8.9	3.4	0.7	0.7	32.2
	平尾小学校区	58	6.9	5.2	5.2	3.4	12.1	20.7	6.9	8.6	8.6	1.7	0.0	0.0	20.7
	一宮東部小学校区	74	4.1	5.4	4.1	12.2	9.5	13.5	9.5	2.7	2.7	1.4	0.0	1.4	33.8
	一宮西部小学校区	118	7.6	1.7	5.1	8.5	9.3	14.4	4.2	3.4	13.6	3.4	0.8	0.0	28.0
	一宮南部小学校区	34	11.8	11.8	5.9	8.8	11.8	5.9	5.9	2.9	11.8	2.9	0.0	0.0	20.6
	赤坂小学校区	56	1.8	1.8	3.6	17.9	14.3	5.4	5.4	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0
長沢小学校区	37	13.5	2.7	8.1	8.1	5.4	29.7	10.8	0.0	13.5	0.0	0.0	2.7	5.4	
萩小学校区	21	4.8	4.8	0.0	19.0	4.8	14.3	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	
御津南部小学校区	130	11.5	7.7	4.6	9.2	8.5	13.8	7.7	5.4	6.2	1.5	0.0	0.8	23.1	
御津北部小学校区	49	10.2	8.2	12.2	12.2	8.2	6.1	6.1	4.1	6.1	2.0	0.0	0.0	24.5	
小坂井東小学校区	134	6.0	5.2	3.0	12.7	6.7	11.2	4.5	8.2	6.0	0.0	0.0	3.7	32.8	
小坂井西小学校区	163	3.1	2.5	4.3	14.1	8.0	12.3	7.4	3.1	10.4	1.8	0.0	1.8	31.3	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

### ◆ 3番目に大切だと考える定住・交流施策 ◆

性別でみると、「道路や公園・緑地などインフラ整備の充実」では「男性」(9.5%)が「女性」(6.5%)を3.0ポイント上回っている。【図表 224】

年齢別でみると、全体平均と比較して、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」では「10代(18・19歳)」(20.0%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「20代」(17.6%)の割合が高くなっている。【図表 224】

小学校区別でみると、「災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実」では「長沢小学校区」(21.6%)、「快適な住環境の整備や公共交通の充実」では「千両小学校区」(20.7%)の割合が高くなっている。【図表 224】

図表 224 3番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢別・小学校区別）

		件数	災害リスクへの対策や、交通安全	自然環境、生活環境の保全	市民の健康づくりや地域医療	子育て支援施策の充実	高齢者や障害者に対する福祉	快適な住環境の整備や公共交通の充実	道路や公園・緑地などインフラ整備の充実	学校教育や文化、スポーツ振興の充実	雇用の安定、商業の活性化と	観光振興の充実	市民活動施策の充実	わからない	無回答
全体		2,636	8.6	4.9	5.4	6.3	8.2	10.2	7.7	4.8	9.4	3.8	1.0	1.9	27.8
性別	男性	1,078	9.5	5.5	5.4	6.4	7.2	9.6	9.5	4.6	10.5	4.1	1.3	2.0	24.4
	女性	1,451	8.3	4.4	5.9	6.1	9.0	11.0	6.5	4.9	8.8	3.4	0.8	1.3	29.6
年齢別	10代(18・19歳)	35	20.0	2.9	8.6	8.6	5.7	14.3	2.9	2.9	8.6	2.9	0.0	5.7	17.1
	20代	227	14.5	4.4	5.3	4.4	4.8	17.6	12.8	7.9	6.6	3.1	1.3	4.0	13.2
	30代	308	12.3	4.5	4.9	9.1	8.4	10.1	10.7	7.8	9.7	4.9	0.3	2.9	14.3
	40代	456	7.9	5.0	5.7	8.6	7.9	12.1	8.1	5.7	10.5	6.8	0.7	1.8	19.3
	50代	509	9.0	5.1	6.3	6.3	7.7	9.8	8.4	4.3	11.4	2.9	0.6	3.5	24.6
	60代	484	7.4	3.5	5.2	5.6	10.1	9.9	6.4	4.3	8.1	3.5	0.4	0.6	34.9
	70歳以上	558	5.2	6.1	5.4	3.8	8.2	6.5	4.5	2.3	9.1	2.2	2.5	0.2	44.1
居住小学校区別	豊川小学校区	114	7.9	6.1	3.5	7.0	8.8	7.0	7.0	1.8	12.3	6.1	3.5	1.8	27.2
	桜木小学校区	92	8.7	4.3	9.8	3.3	2.2	9.8	5.4	6.5	7.6	6.5	2.2	4.3	29.3
	豊小学校区	117	10.3	8.5	4.3	7.7	7.7	6.8	7.7	4.3	6.8	5.1	0.0	0.9	29.9
	東部小学校区	115	4.3	10.4	3.5	6.1	9.6	3.5	10.4	3.5	13.0	3.5	0.9	1.7	29.6
	金屋小学校区	72	16.7	6.9	9.7	5.6	5.6	8.3	2.8	2.8	8.3	6.9	1.4	1.4	23.6
	三蔵子小学校区	145	8.3	2.8	6.9	5.5	5.5	7.6	9.0	9.0	14.5	1.4	2.1	2.8	24.8
	桜町小学校区	79	8.9	6.3	5.1	6.3	12.7	11.4	5.1	3.8	8.9	1.3	1.3	3.8	25.3
	代田小学校区	106	5.7	5.7	4.7	12.3	7.5	13.2	4.7	4.7	12.3	4.7	0.0	1.9	22.6
	中部小学校区	169	7.7	5.3	4.1	3.0	8.3	11.8	8.3	6.5	8.9	6.5	0.6	3.0	26.0
	牛久保小学校区	108	6.5	4.6	8.3	6.5	7.4	9.3	5.6	3.7	13.0	3.7	0.9	0.0	30.6
	天王小学校区	50	10.0	8.0	2.0	6.0	16.0	8.0	10.0	2.0	8.0	2.0	0.0	0.0	28.0
	国府小学校区	183	5.5	3.8	5.5	5.5	10.9	13.7	8.2	5.5	13.1	3.3	1.1	2.2	21.9
	御油小学校区	134	9.7	3.7	4.5	7.5	9.0	9.0	8.2	3.7	8.2	1.5	0.0	0.7	34.3
	千両小学校区	29	10.3	0.0	6.9	6.9	10.3	20.7	13.8	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	24.1
	八南小学校区	146	6.8	1.4	7.5	4.1	11.6	10.3	8.2	5.5	4.1	4.1	1.4	2.1	32.9
	平尾小学校区	58	6.9	8.6	8.6	12.1	6.9	12.1	12.1	3.4	5.2	3.4	0.0	0.0	20.7
	一宮東部小学校区	74	6.8	1.4	2.7	4.1	8.1	14.9	6.8	4.1	13.5	1.4	0.0	2.7	33.8
	一宮西部小学校区	118	11.9	1.7	7.6	4.2	5.9	11.9	10.2	5.1	8.5	1.7	0.8	0.8	29.7
	一宮南部小学校区	34	17.6	2.9	2.9	2.9	17.6	11.8	5.9	8.8	5.9	0.0	2.9	0.0	20.6
	赤坂小学校区	56	7.1	3.6	7.1	1.8	1.8	17.9	8.9	7.1	10.7	3.6	3.6	0.0	26.8
長沢小学校区	37	21.6	5.4	0.0	8.1	10.8	10.8	8.1	8.1	8.1	8.1	2.7	2.7	5.4	
萩小学校区	21	9.5	14.3	4.8	4.8	9.5	19.0	0.0	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	28.6	
御津南部小学校区	130	13.8	3.8	4.6	9.2	6.2	13.8	9.2	1.5	10.0	2.3	0.8	0.8	23.8	
御津北部小学校区	49	12.2	6.1	8.2	16.3	4.1	6.1	8.2	2.0	10.2	2.0	0.0	0.0	24.5	
小坂井東小学校区	134	5.2	4.5	6.7	3.7	7.5	11.2	3.0	6.0	9.0	3.7	1.5	4.5	33.6	
小坂井西小学校区	163	8.0	3.7	3.7	5.5	8.0	6.7	11.7	6.7	5.5	6.1	0.0	2.5	31.9	

全体より10%以上

全体より5%以上

全体より5%以下

全体より10%以下

## V 参考資料

### 1 標本誤差

この調査は、母集団である 18 歳以上の全市民から一部の標本を無作為に抽出して行っている。この調査結果からもとの全体の値を推定する標本調査である。この“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差である。今回の調査では下記の式で標本誤差を求めることができる。

$$\text{標本誤差} \quad \sigma = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}} \quad P: \text{回答率}(\%) \quad n: \text{有効回収数(件)}$$

以下の表は、上式に n と P の値を代入して標本誤差を求め、作成したものである。

信頼度95% (100回中95回はこの範囲に収まる) の場合

		回答率 (%)									
		5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50% (50%)
全体	2,636	0.8	1.2	1.4	1.5	1.7	1.8	1.8	1.9	1.9	1.9

この表の見方について例を挙げると、「全体の回収数が 2,636 人であり、ある設問の 1 つの選択肢の回答率が 50%であった場合、全数調査との誤差の範囲は 95%の確率で ±1.9%以内であり、実際の回答率は 48.1%～51.9%の範囲にある」と意味づけられるものである。なお、標本誤差は回答率が 50%のときに最も大きい値となり、本調査においては最大の場合でも ±1.9%の誤差である。

## 2 使用調査票

### 第15回豊川市市民意識調査

#### ● 調査ご協力のお願い ●

市民の皆様には、日ごろから市政の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、市では、総合計画に基づき「光・緑・人 輝くとよかわ」の実現を目指し、定住・交流施策、シティセールス、市民協働、行政経営改革という4つの基本方針のもと、「安全・安心」「健康・福祉」「建設・整備」「教育・文化」「産業・雇用」「地域・行政」に関する施策に取り組んでいます。今後も、こうした取り組みを進めていくには、皆様のご意見を積極的にお伺いすることが重要であると考えております。

そこで、市民の皆様には、市のこれまでの取り組みに対する評価をいただき、現在の生活環境や今後のまちづくりについてのご意見などをお聴きするため、市民意識調査を実施することといたしました。調査結果は、市民の皆様にご満足していただける市政の実現に向けて活用してまいります。

このアンケートは、豊川市にお住まいの18歳以上の方の中から、5,000人を無作為に選んでお願いするものです。回答は無記名の上、すべて統計的に処理され、個人的な意見や考えが外部に漏れることは、一切ありません。また、アンケートの集計結果につきましては、広報「とよかわ」などを通して皆様にお知らせいたします。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年4月

豊川市長 竹本 幸夫

#### <ご記入にあたってのお願い>

- このアンケートは、宛名の方にご記入をお願いいたしますが、もしご都合でご記入ができない場合は、ご家族のどなたでも結構ですので代わってご記入ください。その場合は、**記入される方の立場**でお答えください。
- ご回答にあたっては、設問の中においてお願いしてある数だけ、**答えの番号に○印**をつけてください。
- この調査票は、ご記入の上、同封しました返信用封筒に入れ、**令和5年5月15日（月）**までにご投函ください（**切手は不要です**）。
- 本調査は、**インターネットでも回答できます**。パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかを用いて、次のURLまたは二次元バーコードからアクセスし、**画面の案内に従って下記のID、パスワードを入力し、質問項目にお答えください**。

(URL) <https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=TYK-134>



- ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

豊川市企画部秘書課広報広聴係 担当 小笠原、黒柳  
電話 0533-89-2121

## A. 全体の生活環境についておたずねします

問1 豊川市は、**住みよいまち**だと思いますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

- |                  |          |
|------------------|----------|
| 1. 住みよい          | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい  | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい |          |

問2 あなたは、**豊川市の市政**に関する次の 01～49の各項目について、**どの程度満足**していますか。また、今後の市政を進めるにあたって**どの程度重要**だと思いますか。最もあなたの気持ちに近いものを「満足度」と「重要度」からそれぞれ**1つだけ**選んで○印をつけてください。

	満 足 度					重 要 度					
	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない	
(記入例) 01. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
安全・安心	01. 交通安全対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	02. 歩行者にとっての道路の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	03. 防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	04. 地震などに対する防災対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	05. 消防体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	06. 救急体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	07. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	08. ごみ処理対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	09. 生活における衛生環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 生活排水対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11. 水道水の安全・安定供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
健康・福祉	12. 健康づくり	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 医療環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 子どもを産み、育てる環境	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15. 高齢者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 障害者福祉	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. ひとり親家庭支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 経済的な自立支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	満 足 度					重 要 度					
	満足	まあ満足	やや不満	不満	わからない	非常に重要	やや重要	さほど重要でない	重要でない	わからない	
建設・整備	19. 住環境の整備（区画整理・住宅対策など）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 公共交通機関の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 道路の整備状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22. 緑・自然の豊かさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 公園の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 河川の状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	25. 学校の指導や取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 青少年の育成・支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 生涯学習の取り組み	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28. スポーツの振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 文化芸術の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業・雇用	30. 農業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31. 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	32. 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33. 日用品などの買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34. 中心市街地の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36. 雇用の安定・勤労者支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域・行政	37. 地域のつきあいや人間関係	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	38. 男女共同参画	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39. 人権の尊重	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40. 国際交流活動・多文化共生	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41. 市からの情報提供・公表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42. 地域の情報化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	43. 公共施設の適正配置	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	44. 道路、橋などの適正な維持管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	45. 行政サービス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	46. 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	47. 職員の定員適正化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	48. 健全な財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	49. 東三河広域連合の活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

## B. 分野別におたずねします

### 安全・安心

問3 行政が実施している次の**交通安全・防犯対策等**について、行政にどのようなことを期待しますか。**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 交通安全を学べるイベントの開催
2. 高齢者の運転免許証自主返納への支援
3. 各小学校区1人ずつの交通指導員の配置
4. ボランティアとして交通安全活動を行う交通安全指導隊への支援
5. 各校区の安全なまちづくり推進協議会への支援
6. 連区・町内会による防犯灯の設置に対する支援
7. 連区・町内会による防犯カメラの設置に対する支援
8. 防犯にかかる啓発活動、講座開催、防犯グッズ紹介
9. 青色パトロール車による防犯パトロール
10. 防犯ボランティア活動（子どもの見守り）などに対する支援

問4 あなたは、**自転車の安全な利用**について、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から**行っていることすべて**に○印をつけてください。

1. 自転車に乗るときはヘルメットを着用している
2. 自転車損害賠償保険に加入している
3. 自転車の防犯登録をしている
4. 自転車の施錠を1箇所以上している
5. 定期的に自転車の点検・整備をしている
6. 夕暮れ時の早めのライト点灯を心掛けている
7. 特に何もしていない

問5 あなたのご家庭では、日ごろ**地震に備えて**どのような**対策**をしていますか。次の中からあてはまるもの**すべて**に○印をつけてください。

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 1. 家具類の転倒防止        | 9. 非常時の家族との連絡方法、集合場所の確認 |
| 2. 窓ガラスの飛散防止       | 10. 避難場所、避難経路の確認        |
| 3. 棚の上の物が落ちないように整理 | 11. 自主防災会の活動への参加        |
| 4. 非常用食糧や飲料水の用意    | 12. その他（具体的に_____）      |
| 5. 貴重品など非常持出品の確認   | 13. 特に何もしていない           |
| 6. 消火器など消火器具の用意    |                         |
| 7. 懐中電灯、携帯ラジオの用意   |                         |
| 8. 救急医薬品の用意        |                         |

問6 あなたは、**防災対策**として、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 防災用マニュアルの配布
2. 防災用マップの配布
3. 防災講習会の開催
4. 地域での防災訓練の実施啓発
5. 住宅の耐震診断補助
6. 住宅の耐震改修補助
7. 情報連絡手段の整備
8. 災害に備えた道路の整備
9. 食糧・水、日常生活用品などの備蓄
10. 避難所など防災拠点の整備
11. 防災ボランティアの育成
12. 地域の防災組織の育成
13. 公共施設の耐震整備
14. 障害者・高齢者等要配慮者対策の充実
15. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

問7 あなたが**生活する上での衛生環境**について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 市民が進んで自宅周りの清掃をするように啓発する
2. 市民へごみの分別を啓発する
3. 市民へごみステーションの利用方法を啓発する
4. 過剰包装を減らすよう商店や消費者に啓発する
5. ごみの減量化のため、食品ロスを減らすように啓発する
6. ごみの不法投棄防止のため、看板設置や監視強化を行う
7. リサイクルを推進し、処分するごみを減らすため、分別の種類を増やす
8. ごみや資源を土・日曜日にも持ち込めるようにする
9. 古紙、空き缶、空きびんなど、リサイクルできる有価物回収活動の補助を充実する
10. 浄化槽や汲み取りトイレについて、適正な保守管理を啓発する
11. 犬のふんの持ち帰りを啓発する
12. 路上喫煙の防止を啓発する
13. 市営墓地を増やす
14. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
15. 特に期待するものはない

問8 あなたは、**省エネや環境に負荷をかけない**ために、日ごろ生活の中でどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

1. 必要のない電灯はこまめに消す、電気器具の主電源を切るなど、節電を心掛けている
2. クーラーや暖房の温度は、適正温度（夏28℃、冬20℃）を目安に設定している
3. 電気器具などは省エネタイプを買うようにしている
4. 家庭用の太陽光発電やエネファーム、蓄電池などを設置している
5. 自家用車より、バス、電車などの公共交通機関や自転車を利用するようにしている
6. 駐停車中は、アイドリング・ストップを心掛けている
7. 風呂の残り湯を再利用するなど、節水を心掛けている
8. 排水口に油を流さないようにしている
9. 洗剤は正しく量って使用し、使い過ぎないようにしている
10. 雨水を庭の散水などに利用している
11. エコマークやグリーンマークのついた商品を買うようにしている
12. 行楽地へ出掛けた時などは、ごみを持ち帰るようにしている
13. 新製品にすぐ買い換えたり、流行を追いかけてたりしない
14. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
15. 特に何もしていない

## 健康・福祉

問9 あなたは、**健康維持や増進**のために、日ごろからどのようなことを心掛けていますか。次の中から行っていることすべてに○印をつけてください。

1. 食事のバランスに気を配り、肥満予防などに努めている
2. 酒、たばこ、コーヒーなどの嗜好品の取り方に気を配っている
3. 健康食品やサプリメント、特定保健用食品などを利用している
4. 睡眠を十分取るなど、規則正しい生活に努めている
5. ウォーキング、健康体操、グラウンド・ゴルフなどの運動をしている
6. フィットネスクラブ・同好会などで体力づくりをしている
7. 日常生活で、身体活動を増やし、体力の維持に努めている
8. 自分のストレス解消法を見つけ、ストレスを解消している
9. 定期的な健康診断を受け、健康管理に努めている
10. 健康に関する講座に参加したり、本を読んだりして知識を高めている
11. 歩こう会などの健康づくりの行事に積極的に参加している
12. いつでも相談できる身近なかかりつけ医を持っている
13. 歯科医院に、定期的（1年に1回以上）に受診している
14. いつでも相談できる身近なかかりつけ薬局を持っている
15. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
16. 特に何もしていない

問10 あなたは、**子どもを産み、育てる環境**を充実させるために、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 子育てに掛かる費用負担を減らす
2. 児童館など子ども連れで出掛けやすい場所を整備する
3. 子どもの防犯・安全対策を充実する
4. 子育てについての情報が得られる場を整備する
5. 出産・育児後の職場復帰や職場確保を支援する
6. 育児休暇取得の促進など子育てしやすい職場環境をつくる働き掛けをする
7. 未就学児の保育サービスを充実する
8. 放課後児童クラブなどの放課後児童対策を充実する
9. 障害児に対する制度を充実する
10. 妊娠期から子育て期までの相談支援を充実する
11. 母性・父性の育成を目指した体験講座を充実する
12. 妊産婦や乳幼児の健康診査の機会を充実する
13. 子ども食堂などの子どもの貧困対策を充実する
14. 児童虐待やヤングケアラー、非行・犯罪の未然防止、早期対応などの支援対策を充実する
15. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
16. 特に取り組むものはない

## 建設・整備

問11 あなたは、**公共交通機関（電車・バス）の利便性**を向上させるために、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 駅やバス停周辺の歩道の段差改善やノンステップバスの導入などのバリアフリー化を進める
2. 駅周辺に駐車場や駐輪場を増やす
3. 駅前ロータリーなどの送迎用スペースを整備する
4. バス停に、屋根、ベンチなどの待合設備の充実を進める
5. バスの運行本数を増やす
6. バス停を増やす
7. 電車とバス、バス同士の乗り継ぎをしやすいようにする
8. バスが運行する時間帯を長くする
9. 電車とバスが連携した時刻表や公共交通マップを提供する
10. 割引券などの提供や運賃の値下げにより、利用者の負担を減らす
11. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
12. 特に期待するものはない

問12 あなたは、**道路の整備**について、行政にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 幹線道路を整備する
2. 道路の側溝を整備する
3. 街路樹を整備する
4. 傷んでいる舗装をやり直す
5. 道路幅を広げる
6. 主要交差点に右折レーンを設置する
7. ガードレールやカーブミラーなどの安全施設を設ける
8. カラー舗装を設置する
9. 歩道を整備する
10. 自転車道を整備する
11. 踏切内の安全策を図る
12. 道路照明灯を設置する
13. 段差改善や視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を進める
14. 路上駐車や歩道上の占拠物をなくすように啓発する
15. 電線などの地中化を進める
16. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
17. 特に期待するものはない

問13 あなたは、**公園の整備や緑地の保全**について、行政がどのようなことに取り組みべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 身近で親しみやすい公園を整備する
2. スポーツ需要などの目的に合わせた公園を整備する
3. 防災機能を備えた公園を整備する
4. 多機能トイレの設置や園路の改修などのバリアフリー化を推進する
5. 市民参加による公園づくりや公園管理を推進する
6. 様々なイベントを開催し、公園や地域を活性化する
7. ブランコ、滑り台などの遊具を充実する
8. トイレ、水飲み場、時計塔などの便益施設を充実する
9. 照明灯、防球ネットなどの管理施設を充実する
10. ベンチなどの休憩施設を充実する
11. 遊具の保守・点検、トイレ清掃などの維持管理を徹底する
12. 市街地に残る貴重な緑地の保全を図る
13. 道路、学校などの公共施設の緑化を推進する
14. 自然観察会や課外授業など自然とふれあう活動を推進する
15. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
16. 特に取り組むものはない

問14 あなたは、**河川の整備**について、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

1. 大雨などによる洪水に対しての治水能力を向上させる
2. 水質の浄化を図る
3. 安心して河川などと親しめる水辺環境をつくる
4. 草刈りなどの維持管理を徹底する
5. 動植物が生息できる環境をつくる
6. 人工的に自然に近い河川などの整備をする
7. 周辺の景観を生かした河川などの整備をする
8. 地域活動の場として利用しやすい河川などの整備をする
9. 自然観察会や課外学習などができる場所をつくる
10. ボランティアが活動しやすい環境をつくる
11. 柵、注意看板などの安全整備を図る
12. 河川などの状況がわかる情報を公開する
13. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
14. 特に取り組むものはない

## 教育・文化

問15 学校と地域が協力して地域づくりをしていくために、「学校公開日」や「登下校の見守り活動」などを実施しています。あなたは、協力して地域づくりをするために、**学校と関わりを持っていきたい**と思いますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。

1. 積極的に、関わりを持っていきたい
2. どちらかといえば、関わりを持っていきたい
3. どちらかといえば、関わりを持ちたくない
4. できるだけ、関わりを持ちたくない
5. わからない

問16 あなたは、**生涯学習としてどのような活動**をしていますか。次の中からあてはまるものを**すべてに○印**をつけてください。

- |                                     |                            |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1. 趣味的な活動（茶道、読書、写真など）               | 8. ボランティア活動全般              |
| 2. 娯楽的な活動（囲碁、将棋、映画鑑賞など）             | 9. 名所・旧跡などへの訪問             |
| 3. 教養的な活動（歴史・文化の学習など）               | 10. 伝統文化の伝承活動（踊り、お祭りの参加など） |
| 4. 外国語・外国文化の学習                      | 11. スポーツ・運動及びそれらに関する活動     |
| 5. 文化・芸術的な活動（音楽、絵画、演劇、ダンスなどの鑑賞及び活動） | 12. 登山やキャンプなどの野外活動         |
| 6. 技能・技術の習得（パソコン、各種資格など）            | 13. その他<br>（具体的に_____）     |
| 7. 国際交流・理解に関する活動<br>_____）          | 14. 特に行っていない               |

問17 あなたは、**どの程度の頻度でスポーツや運動**をしていますか。次の中からあてはまるものを**1つだけ**選んで○印をつけてください。なお、スポーツには、ウォーキング、ハイキング、体操、ダンス、ヨガなども含まれます。

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 毎日      | 4. 月1～3日程度 |
| 2. 週3～4日程度 | 5. 年1～3日程度 |
| 3. 週1～2日程度 | 6. 全くしていない |

問18 あなたは、**文化・芸術の振興のために**、行政が今後どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを**3つまで**選んで○印をつけてください。

- |                                         |
|-----------------------------------------|
| 1. 質の高い舞台芸術や美術作品、文化財などを鑑賞する機会を増やす       |
| 2. 体験型の講座などを開催し、子どものときから文化芸術に親しむ環境を整備する |
| 3. 様々な手段で文化芸術に関する情報の収集、発信の充実を図る         |
| 4. 市独自の地域資源（場所、人、歴史など）を生かした文化芸術事業を展開する  |
| 5. ホール・ミュージアムの利用について、利便性の高いサービスを提供する    |
| 6. 図書館の蔵書やイベントを増やす                      |
| 7. 読み聞かせなど、ボランティア活動の普及に努める              |
| 8. 街路への彫刻設置やデザイン性に富んだ遊具の設置に努める          |
| 9. その他（具体的に_____）                       |
| 10. 特に取り組むものはない                         |

## 産業・雇用

問19 あなたは、多くの観光客の方に豊川市に来ていただくために、どのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んで○印をつけてください。

- |                                           |                                    |
|-------------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 市外や県外での観光キャンペーンを積極的に行う                 | 9. 観光地の駐車場やトイレ、案内看板などを整備する         |
| 2. テレビや情報誌、インターネットなどで観光情報を発信する            | 10. 気軽に散策や食べ歩きができるよう街並みを整備する       |
| 3. 市民の人たちに豊川市について知ってもらう取り組みをする            | 11. 手筒煙火や祭礼などの伝統行事の保護に努める          |
| 4. 観光客向けのイベントを開催する                        | 12. 東三河の各市町村と連携して観光客誘致に取り組む        |
| 5. ホームページなどで豊川産農畜産物のPRや農業関連イベントの開催情報を発信する | 13. 商店街や市民活動団体、企業などと連携して観光客誘致に取り組む |
| 6. 豊川いなり寿司以外の地域ブランドを確立する                  | 14. その他<br>(具体的に_____)             |
| 7. 「いなりん」などのイメージキャラクターを活用する               | 15. 特に取り組むものはない                    |
| 8. 新しい観光施設を建設する                           |                                    |

## 地域・行政

問20 あなたは、まちづくり活動（町内会・お祭りなどの地域活動、NPO活動、ボランティア・市民活動など）に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 継続的に参加している         |
| 2. 参加したことがある          |
| 3. 興味はあるが実際に参加したことがない |
| 4. 興味もないし、参加したこともない   |

問21 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- |             |
|-------------|
| 1. 同感する     |
| 2. ある程度同感する |
| 3. あまり同感しない |
| 4. 同感しない    |
| 5. わからない    |

問22 現在、豊川市には、多くの外国人市民が暮らしています。日本人と外国人が、同じ豊川市民として快適に暮らしていける多文化共生社会にするために、あなたは、どのようなことができると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んで○印をつけてください。

1. 積極的に異国の文化や言語などを学びたい
2. 困っている国籍の異なる市民がいたら、力になってあげたい
3. 身近に住む国籍の異なる市民とおつきあいを大切にしたい
4. 国籍の異なる市民とも分け隔てなく接したい
5. 特にしたいこともないし、関心もない
6. なるべく関わりたくない
7. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
8. わからない

問23 あなたは、市が配付している広報紙（毎月1日発行）や議会だより（6月・8月・11月・2月に発行。広報紙に折り込み）などをどの程度読んでいますか。次の中からそれぞれにあてはまるものを1つずつ選んで○印をつけてください。

	たいてい しっかり 読んでいる	ざっと 目を通し ている	興味のある ものだけを 読む	たまに 読むこと もある	ほとんど 読まない
広報とよかわ	1	2	3	4	5
議会だより	1	2	3	4	5
その他のお知らせ	1	2	3	4	5

問24 あなたは、インターネットをどのような端末で利用していますか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. パソコン
2. 携帯電話
3. スマートフォン
4. タブレット端末や家庭用テレビゲーム機
5. その他機器（具体的に\_\_\_\_\_）
6. 利用したことはないが、今後利用してみたい
7. 今まで利用したことがないし、今後も利用する予定はない

問25 あなたは最近、市の職員の対応についてどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 非常に親切に早く対応してくれた
2. まあまあ親切に対応してくれた
3. 以前と比べて対応がよくなった
4. いろいろな手続きや面倒な書類の記入などの説明が不親切だった
5. 対応が事務的で冷たい感じがした
6. 課をたらい回しにされ、うんざりした
7. 最近、市役所に行っていない（関わっていない）
8. その他（具体的に\_\_\_\_\_）
9. わからない

問26 今後、豊川市が少子高齢化や人口減少といった課題に対応し、持続可能で安定した市政運営を行うためには、定住する人口と、通勤・観光などの交流人口、両方を増やすことが大切です。この中で、あなたが**大切だと考える定住・交流施策を大切だと思う順に3つまで**選び、下の解答欄に番号を記入してください。

1. 災害リスクへの対策や、交通安全・防犯対策の充実
2. 自然環境、生活環境の保全
3. 市民の健康づくりや地域医療体制の充実
4. 子育て支援施策の充実
5. 高齢者や障害者に対する福祉関連施策の充実
6. 快適な住環境の整備や公共交通の充実
7. 道路や公園・緑地などインフラ整備の充実
8. 学校教育や文化、スポーツ振興の充実
9. 農業、工業、商業の活性化と雇用の安定
10. 観光振興の充実
11. 市民活動施策の充実
12. わからない

1 番	2 番	3 番

### C. あなた自身のことについておたずねします

問27 あなたの性別はどちらですか。次の中からどちらか一方に○印をつけてください。 ※選択することに違和感のある場合は回答不要です。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問28 あなたの年齢はおいくつですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。5月1日現在で、お答えください。

- |                |        |          |
|----------------|--------|----------|
| 1. 10代(18・19歳) | 4. 40代 | 7. 70歳以上 |
| 2. 20代         | 5. 50代 |          |
| 3. 30代         | 6. 60代 |          |

問29 あなたのご職業は何ですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 事務系勤労者(営業・店員を含む)          |
| 2. 労働系勤労者(保安・運転手を含む)         |
| 3. 管理職・会社経営(官公庁や会社の管理職、役員など) |
| 4. 商店・サービス業の個人経営             |
| 5. 自由業(医師・弁護士など)             |
| 6. 農林水産業                     |
| 7. 主婦(夫)                     |
| 8. パートタイマー・アルバイト             |
| 9. 学生                        |
| 10. 無職                       |
| 11. その他(具体的に_____)           |

問30 あなたのお勤め先(通学先)はどちらですか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

- |               |         |             |
|---------------|---------|-------------|
| 1. 通勤・通学していない | 5. 新城市  | 9. 左記以外の愛知県 |
| 2. 豊川市内       | 6. 田原市  | 10. 県外      |
| 3. 豊橋市        | 7. 岡崎市  |             |
| 4. 蒲郡市        | 8. 名古屋市 |             |

問31 あなたのお住まいはどちらですか。次の中からあてはまる小学校区を1つだけ選んで○印をつけてください。小学校区がわからない方は住所を記入してください。

1. 豊川小学校区	10. 牛久保小学校区	19. 一宮南部小学校区
2. 桜木小学校区	11. 天王小学校区	20. 赤坂小学校区
3. 豊小学校区	12. 国府小学校区	21. 長沢小学校区
4. 東部小学校区	13. 御油小学校区	22. 萩小学校区
5. 金屋小学校区	14. 千両小学校区	23. 御津南部小学校区
6. 三蔵子小学校区	15. 八南小学校区	24. 御津北部小学校区
7. 桜町小学校区	16. 平尾小学校区	25. 小坂井東小学校区
8. 代田小学校区	17. 一宮東部小学校区	26. 小坂井西小学校区
9. 中部小学校区	18. 一宮西部小学校区	

わからない方の住所	( _____ ) 町 ( _____ )
-----------	-----------------------

問32 あなたは、**豊川市内（旧宝飯郡を含む）**にお住まいになって何年になりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. 生まれたときからずっと
2. 転入後5年未満
3. 転入後5年以上10年未満
4. 転入後10年以上20年未満
5. 転入後20年以上30年未満
6. 転入後30年以上

問33 あなたは、**今後も豊川市にお住まい**になりますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んで○印をつけてください。

1. ずっと住み続ける
2. できればずっと住み続けたい
3. 住み続けざるを得ない
4. 住み続けたいが移らざるを得ない
5. できれば移りたい
6. わからない



### 3 図表目次

図表 1	性別（全体・年齢別）	3
図表 2	性別（全体・職業別）	3
図表 3	年齢（全体・小学校区別）	4
図表 4	職業（全体・性別・年齢・小学校区別）	5
図表 5	通勤・通学先（全体・性別・年齢・職業別）	6
図表 6	居住年数（全体・小学校区別）	7
図表 7	豊川市の住みよさ（全体・性別・年齢別）	8
図表 8	豊川市の住みよさ（全体・小学校区別）	9
図表 9	豊川市の住みよさ（経年比較）	10
図表 10	定住意向（全体・性別・年齢・居住年数別）	11
図表 11	定住意向（全体・小学校区別）	12
図表 12	定住意向（経年比較）	13
図表 13	分野別満足度平均値	14
図表 14	市政に対する満足度の評価点	15
図表 15	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	16
図表 16	「安全・安心」（全体・性別）	17
図表 17	「安全・安心」（全体・年齢別）	17
図表 18	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔1 交通安全対策〕	18
図表 19	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕	18
図表 20	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔3 防犯対策〕	19
図表 21	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕	19
図表 22	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔5 消防体制〕	20
図表 23	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔6 救急体制〕	20
図表 24	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔7 地球環境の保全〕	21
図表 25	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔8 ごみ処理対策〕	21
図表 26	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔9 生活における衛生環境〕	22
図表 27	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔10 生活排水対策〕	22
図表 28	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕	23
図表 29	「健康・福祉」（全体・性別）	24
図表 30	「健康・福祉」（全体・年齢別）	24
図表 31	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔12 健康づくり〕	25
図表 32	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔13 医療環境〕	25
図表 33	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔14 子どもを生み、育てる環境〕	26
図表 34	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔15 高齢者福祉〕	26
図表 35	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔16 障害者福祉〕	27
図表 36	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔17 ひとり親家庭支援〕	27
図表 37	小学校区×「市政に対する満足度平均値」〔18 経済的な自立支援〕	28

図表 38	「建設・整備」(全体・性別)	29
図表 39	「建設・整備」(全体・年齢別)	29
図表 40	小学校区×「市政に対する満足度平均値」 〔19 住環境の整備(区画整理・住宅対策など)〕	30
図表 41	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[20 公共交通機関の利便性] 30
図表 42	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[21 道路の整備状況] 31
図表 43	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[22 緑・自然の豊かさ] 31
図表 44	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[23 公園の状況] 32
図表 45	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[24 河川の状況] 32
図表 46	「教育・文化」(全体・性別)	33
図表 47	「教育・文化」(全体・年齢別)	33
図表 48	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[25 学校の指導や取り組み] 34
図表 49	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[26 青少年の育成・支援] 34
図表 50	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[27 生涯学習の取り組み] 35
図表 51	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[28 スポーツの振興] 35
図表 52	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[29 文化芸術の振興] 36
図表 53	「産業・雇用」(全体・性別)	37
図表 54	「産業・雇用」(全体・年齢別)	37
図表 55	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[30 農業の振興] 38
図表 56	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[31 工業の振興] 38
図表 57	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[32 商業の振興] 39
図表 58	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[33 日用品などの買い物の利便性] 39
図表 59	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[34 中心市街地の活性化] 40
図表 60	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[35 観光の振興] 40
図表 61	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[36 雇用の安定・勤労者支援] 41
図表 62	「地域・行政」(全体・性別)	42
図表 63	「地域・行政」(全体・年齢別)	42
図表 64	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[37 地域のつきあいや人間関係] 43
図表 65	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[38 男女共同参画] 43
図表 66	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[39 人権の尊重] 44
図表 67	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[40 国際交流活動・多文化共生] 44
図表 68	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[41 市からの情報提供・公表] 45
図表 69	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[42 地域の情報化] 45
図表 70	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[43 公共施設の適正配置] 46
図表 71	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[44 道路、橋などの適正な維持管理] 46
図表 72	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[45 行政サービス] 47
図表 73	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[46 職員の資質向上] 47
図表 74	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[47 職員の定員適正化] 48
図表 75	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[48 健全な財政運営] 48
図表 76	小学校区×「市政に対する満足度平均値」	[49 東三河広域連合の活用] 49

図表 77	分野別重要度平均値	50
図表 78	市政に対する重要度の評価点	51
図表 79	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	52
図表 80	「安全・安心」(全体・性別)	53
図表 81	「安全・安心」(全体・年齢別)	53
図表 82	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔1 交通安全対策〕	54
図表 83	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔2 歩行者にとっての道路の安全性〕	54
図表 84	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔3 防犯対策〕	55
図表 85	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔4 地震などに対する防災対策〕	55
図表 86	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔5 消防体制〕	56
図表 87	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔6 救急体制〕	56
図表 88	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔7 地球環境の保全〕	57
図表 89	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔8 ごみ処理対策〕	57
図表 90	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔9 生活における衛生環境〕	58
図表 91	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔10 生活排水対策〕	58
図表 92	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔11 水道水の安全・安定供給〕	59
図表 93	「健康・福祉」(全体・性別)	60
図表 94	「健康・福祉」(全体・年齢別)	60
図表 95	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔12 健康づくり〕	61
図表 96	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔13 医療環境〕	61
図表 97	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔14 子どもを生み、育てる環境〕	62
図表 98	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔15 高齢者福祉〕	62
図表 99	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔16 障害者福祉〕	63
図表 100	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔17 ひとり親家庭支援〕	63
図表 101	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔18 経済的な自立支援〕	64
図表 102	「建設・整備」(全体・性別)	65
図表 103	「建設・整備」(全体・年齢別)	65
図表 104	小学校区×「市政に対する重要度平均値」 〔19 住環境の整備(区画整理・住宅対策など)〕	66
図表 105	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔20 公共交通機関の利便性〕	66
図表 106	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔21 道路の整備状況〕	67
図表 107	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔22 緑・自然の豊かさ〕	67
図表 108	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔23 公園の状況〕	68
図表 109	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔24 河川の状況〕	68
図表 110	「教育・文化」(全体・性別)	69
図表 111	「教育・文化」(全体・年齢別)	69
図表 112	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔25 学校の指導や取り組み〕	70
図表 113	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔26 青少年の育成・支援〕	70
図表 114	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔27 生涯学習の取り組み〕	71
図表 115	小学校区×「市政に対する重要度平均値」〔28 スポーツの振興〕	71

図表 116	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[29 文化芸術の振興]	72
図表 117	「産業・雇用」(全体・性別)		73
図表 118	「産業・雇用」(全体・年齢別)		73
図表 119	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[30 農業の振興]	74
図表 120	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[31 工業の振興]	74
図表 121	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[32 商業の振興]	75
図表 122	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[33 日用品などの買い物の利便性]	75
図表 123	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[34 中心市街地の活性化]	76
図表 124	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[35 観光の振興]	76
図表 125	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[36 雇用の安定・勤労者支援]	77
図表 126	「地域・行政」(全体・性別)		78
図表 127	「地域・行政」(全体・年齢別)		78
図表 128	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[37 地域のつきあいや人間関係]	79
図表 129	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[38 男女共同参画]	79
図表 130	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[39 人権の尊重]	80
図表 131	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[40 国際交流活動・多文化共生]	80
図表 132	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[41 市からの情報提供・公表]	81
図表 133	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[42 地域の情報化]	81
図表 134	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[43 公共施設の適正配置]	82
図表 135	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[44 道路・橋などの適正な維持管理]	82
図表 136	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[45 行政サービス]	83
図表 137	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[46 職員の資質向上]	83
図表 138	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[47 職員の定員適正化]	84
図表 139	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[48 健全な財政運営]	84
図表 140	小学校区×「市政に対する重要度平均値」	[49 東三河広域連合の活用]	85
図表 141	満足・重要・優先度5項目		86
図表 142	市政に対する満足度と重要度の関係		87
図表 143	小学校区別評価 満足度上位5項目		88
図表 144	小学校区別評価 満足度下位5項目		89
図表 145	小学校区別評価 重要度上位5項目		90
図表 146	小学校区別評価 優先度上位5項目		91
図表 147	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(1)		92
図表 148	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(2)		93
図表 149	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(3)		95
図表 150	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(4)		97
図表 151	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(5)		99
図表 152	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(6)		101
図表 153	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(7)		103
図表 154	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(8)		105
図表 155	小学校区別「市政に対する満足度と重要度の関係」(9)		107

図表 156	交通安全・防犯対策等の行政への期待（全体）	110
図表 157	交通安全・防犯対策等の行政への期待 （全体・性別・小学校区・交通安全の満足度・防犯対策の満足度別）	111
図表 158	自転車の安全な利用のための心掛け（全体）	112
図表 159	自転車の安全な利用のための心掛け（全体・年齢別）	113
図表 160	日ごろの地震に備えた対策（全体）	114
図表 161	日ごろの地震に備えた対策（全体・年齢別）	115
図表 162	日ごろの地震に備えた対策（経年比較）	116
図表 163	防災対策の行政への期待（全体）	117
図表 164	防災対策の行政への期待（全体・年齢・地震などに対する防災対策の満足度別）	118
図表 165	防災対策の行政への期待（経年比較）	119
図表 166	衛生環境の行政への期待（全体）	120
図表 167	衛生環境の行政への期待 （全体・年齢・ごみ処理対策の満足度・生活における衛生環境の満足度別）	121
図表 168	衛生環境の行政への期待（経年比較）	122
図表 169	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体）	123
図表 170	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（全体・性別・年齢別）	124
図表 171	省エネや環境に負荷をかけないための心掛け（経年比較）	125
図表 172	健康の維持・増進のための心掛け（全体）	126
図表 173	健康の維持・増進のための心掛け（全体・性別・年齢・職業別）	127
図表 174	健康の維持・増進のための心掛け（経年比較）	128
図表 175	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（全体）	129
図表 176	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと （全体・性別・年齢・職業・子どもを生子、育てる環境の満足度別）	130
図表 177	子育て環境の充実のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	131
図表 178	公共交通機関の利便性の行政への期待（全体）	132
図表 179	公共交通機関の利便性の行政への期待 （全体・年齢・通勤・通学先・小学校区・公共交通機関の利便性の満足度別）	133
図表 180	公共交通機関の利便性の行政への期待（経年比較）	134
図表 181	道路の整備の行政への期待（全体）	135
図表 182	道路の整備の行政への期待 （全体・小学校区・道路の整備の状況の満足度・歩行者にとっての道路の安全性の満足度別）	136
図表 183	道路の整備の行政への期待（経年比較）	137
図表 184	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（全体）	138
図表 185	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと （全体・年齢・小学校区・緑、自然の豊かさの満足度・公園の状況の満足度別）	139
図表 186	公園の整備や緑地の保全のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	140
図表 187	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体）	141
図表 188	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・小学校区別）	142

図表 189	河川の整備のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	143
図表 190	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・性別・年齢別）	144
図表 191	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（全体・職業別）	145
図表 192	地域づくりに向けた学校と地域との関わり（経年比較）	145
図表 193	生涯学習の活動状況（全体）	146
図表 194	生涯学習の活動状況（全体・性別・年齢別）	147
図表 195	スポーツや運動の頻度（全体・性別・年齢別）	148
図表 196	スポーツや運動の頻度（経年比較）	149
図表 197	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体）	150
図表 198	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（全体・性別・年齢別）	151
図表 199	文化・芸術の振興のために行政が取り組むべきこと（経年比較）	151
図表 200	観光客増加のために取り組むべきこと（全体）	152
図表 201	観光客増加のために取り組むべきこと（全体・年齢別）	153
図表 202	観光客増加のために取り組むべきこと（経年比較）	154
図表 203	まちづくり活動への参加状況（全体・性別・年齢別）	155
図表 204	まちづくり活動への参加状況（全体・小学校区別）	156
図表 205	男女共同参画（全体・性別・年齢・職業別）	157
図表 206	男女共同参画（経年比較）	158
図表 207	外国人とのつきあい方（全体）	159
図表 208	外国人とのつきあい方（全体・年齢別）	160
図表 209	外国人とのつきあい方（経年比較）	160
図表 210	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（全体・性別・年齢別）	161
図表 211	広報紙等の閲読率「広報とよかわ」（経年比較）	162
図表 212	広報紙等の閲読率「議会だより」（全体・性別・年齢別）	163
図表 213	広報紙等の閲読率「議会だより」（経年比較）	163
図表 214	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（全体・性別・年齢別）	164
図表 215	広報紙等の閲読率「その他のお知らせ」（経年比較）	165
図表 216	インターネットの利用端末（全体）	166
図表 217	インターネットの利用端末（全体・年齢・職業別）	167
図表 218	インターネットの利用端末（経年比較）	168
図表 219	市の職員の対応への評価（全体・性別・年齢別）	169
図表 220	市の職員の対応への評価（経年比較）	170
図表 221	大切だと考える定住・交流施策（全体・年齢別）	171
図表 222	1番大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢別・小学校区別）	172
図表 223	2番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢別・小学校区別）	173
図表 224	3番目に大切だと考える定住・交流施策（全体・性別・年齢別・小学校区別）	174

第 15 回豊川市市民意識調査 【調査結果報告書】

発行年月：令和 5 年 8 月

発 行：豊川市企画部秘書課広報広聴係

豊川市諏訪 1-1

TEL：0533-89-2121

FAX：0533-89-2124